
鬼北町 まちづくりアンケート
－ 報告書 －

令和2（2020）年4月
愛媛県 鬼北町

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 職業別構成	4
4 通勤先・通学先	5
5 就職・転職希望	6
6 家族構成	7
7 居住年数	8
8 居住歴	9
9 鬼北町を選んだ理由	10
III 調査結果	11
【1】住みやすさなどについて	11
1 鬼北町での住みやすさ	11
2 鬼北町への愛着度	13
3 永住意向	15
4 住み続けたくない理由	17
5 「住み続けたい鬼北町」を実現するために必要な取組	19
【2】鬼北町の人口について	22
1 鬼北町の人口について	22
2 人口減少対策として重要な取組	23
3 U・J・I ターンを増やすために充実すべき仕事	26
【3】結婚について	28
1 婚姻状況	28
2 今後の結婚について	29
3 結婚後も鬼北町に住み続けることについて	30
4 結婚支援事業として必要な取組	31
【4】これからの町づくりについて	33
1 地域活動への参加状況	33
2 農林業振興のため力を入れるべきこと	36
3 協働のまちづくりについて	38
4 今後の行政サービスのあり方	39
5 行政運営について取り組むべきこと	41
6 鬼北町の将来像	43
【5】町づくりの満足度と重要度について	46
1 各施策の満足度と重要度	46
【6】自由記述回答集約結果	57
資料 調査票	86

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「鬼北町長期総合計画」及び「鬼北町人口ビジョン・総合戦略」の見直しに当たって、鬼北町のまちづくりに関する町民の意識や意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

18 歳以上の町民（住民基本台帳による無作為抽出）

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査時期】

令和 2（2020）年 2 月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000 件

有効回収数 ----- 1,204 件

有効回収率 ----- 60.2%

【地区別回収数】

	標本数	近永地区	好藤地区	愛治地区	三島地区	泉地区	日吉地区	無回答
構成比(%)	100.0	38.5	12.3	8.5	14.5	12.1	13.2	0.9
件数(件)	1204	464	148	102	174	146	159	11

注：問1回答結果より

【報告書の見方について】

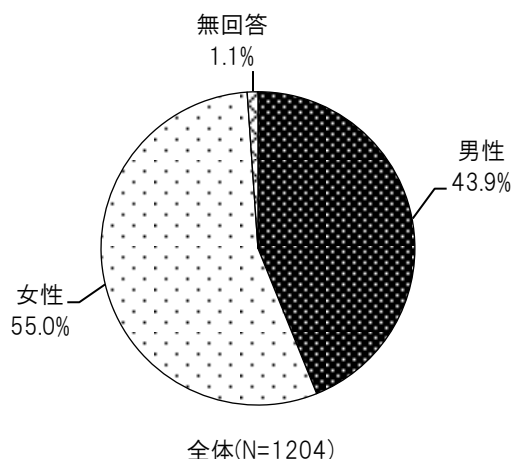
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

1 性別構成

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

回答者の性別構成比は、「男性」が43.9%、「女性」が55.0%と、女性の割合が高い。

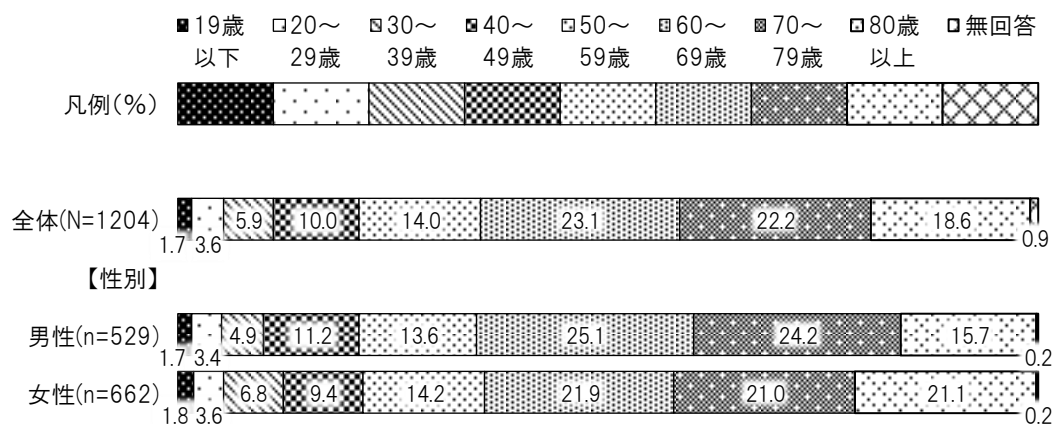


2 年齢別構成

問3 あなたの年齢をお答えください。（○は1つ）

年齢別構成は、「60～69歳」の割合が23.1%と最も高く、次いで「70～79歳」（22.2%）、「80歳以上」（18.6%）の順となっており、『60歳以上（合計）』で全体の6割以上（63.9%）を占めている。

性別では、女性は男性に比べ「80歳以上」の割合が高くなっている。

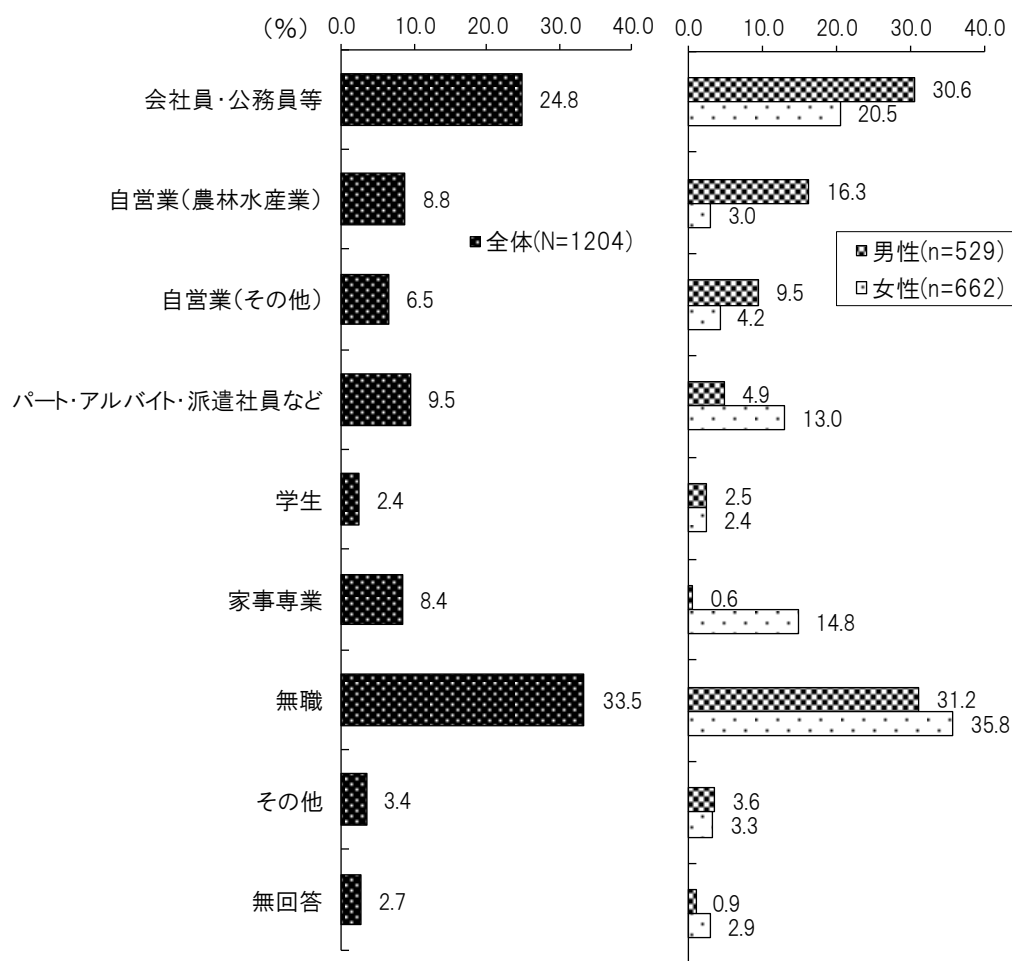


3 職業別構成

問4 あなたの主たる職業をお答えください。(○は1つ)

職業別構成は、「無職」の割合が33.5%と最も高く、次いで「会社員・公務員等」(24.8%)、「パート・アルバイト・派遣社員など」(9.5%)の順となっている。

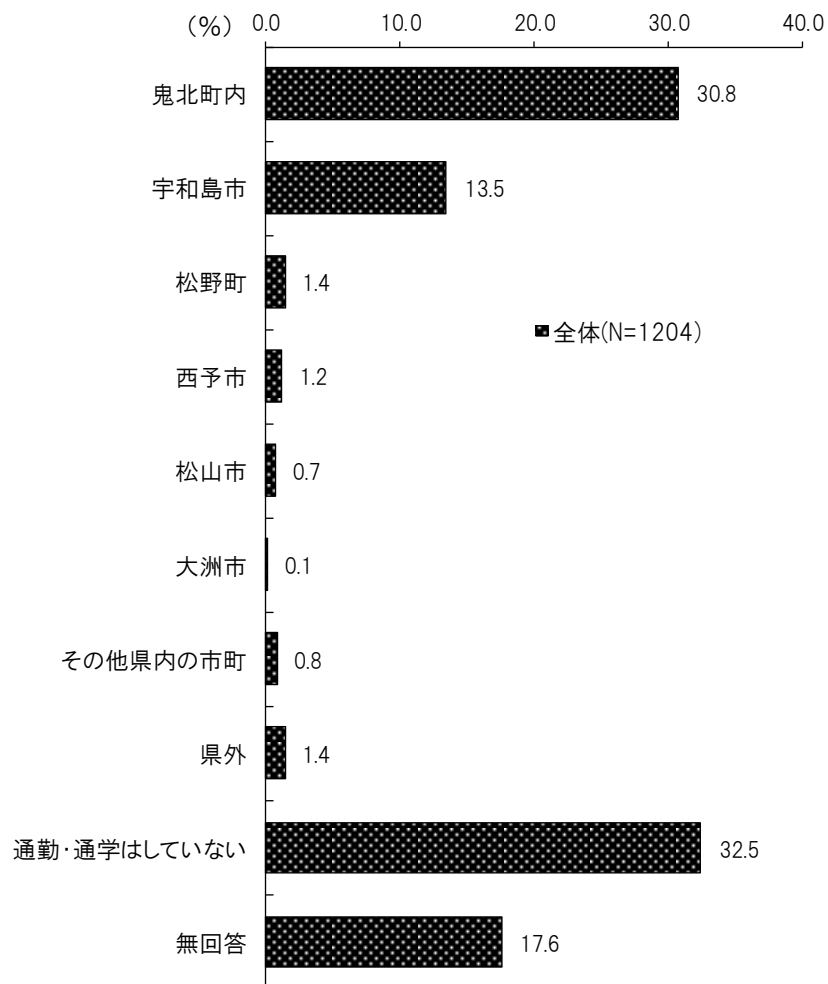
性別では、男性は「会社員・公務員等」「自営業(農林水産業)」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「パート・アルバイト・派遣社員など」「家事専業」などの割合が高くなっている。



4 通勤先・通学先

問5 あなたの通勤先または通学先はどこですか。（○は1つ）

通勤先・通学先については、「鬼北町内」の割合が30.8%と最も高く、次いで「宇和島市」（13.5%）が続き、「通勤・通学はしていない」は32.5%みられた。



5 就職・転職希望

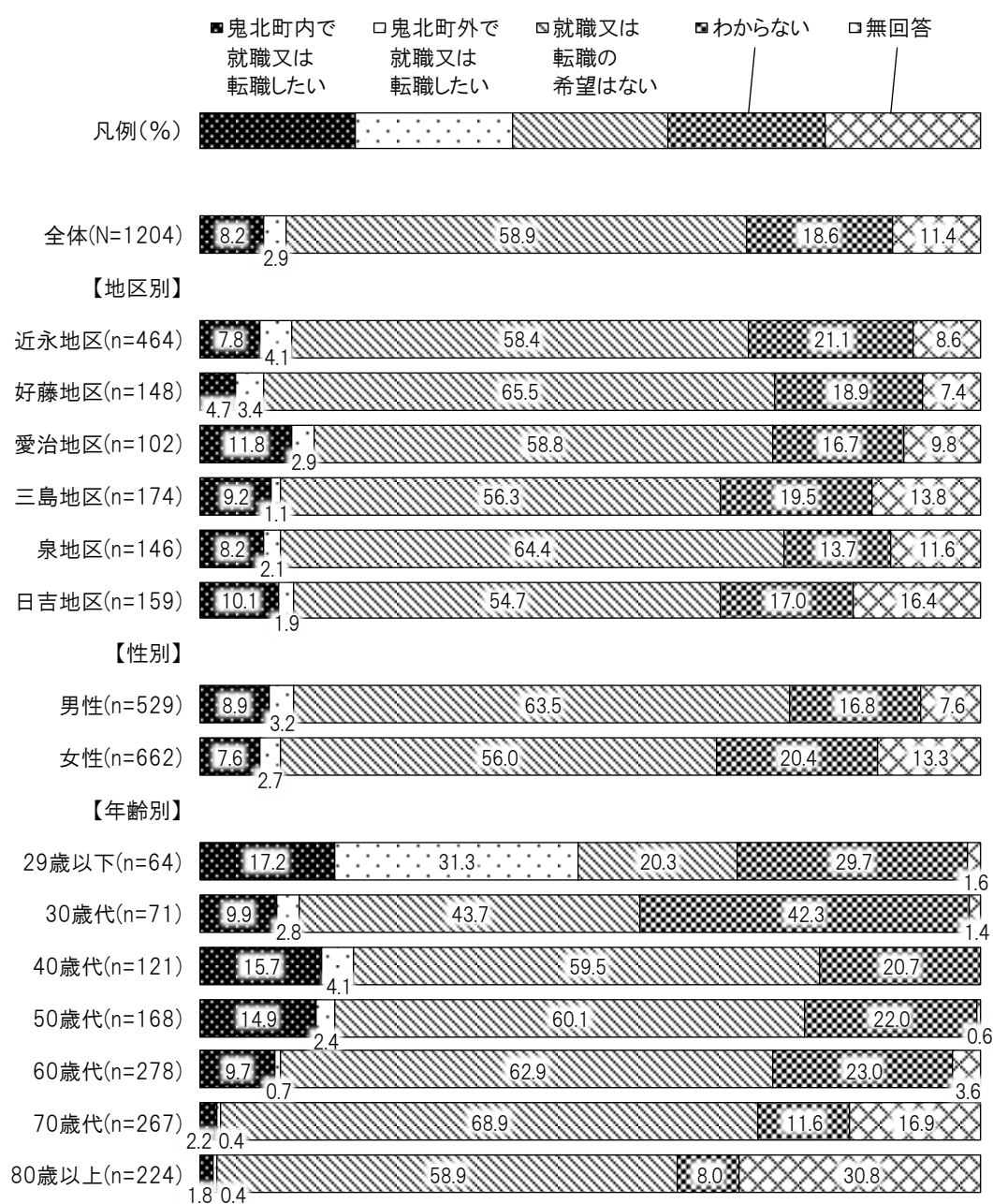
問6 あなたは、今後、新たに職に就く、又は転職の希望はありますか。(○は1つ)

就職・転職希望については、「鬼北町内で就職又は転職したい」が8.2%、「鬼北町外で就職又は転職したい」が2.9%、「就職又は転職の希望はない」が58.9%となっている。

地区別では、好藤地区や泉地区で「就職又は転職の希望はない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「就職又は転職の希望はない」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「鬼北町外で就職又は転職したい」、30歳代で「わからない」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



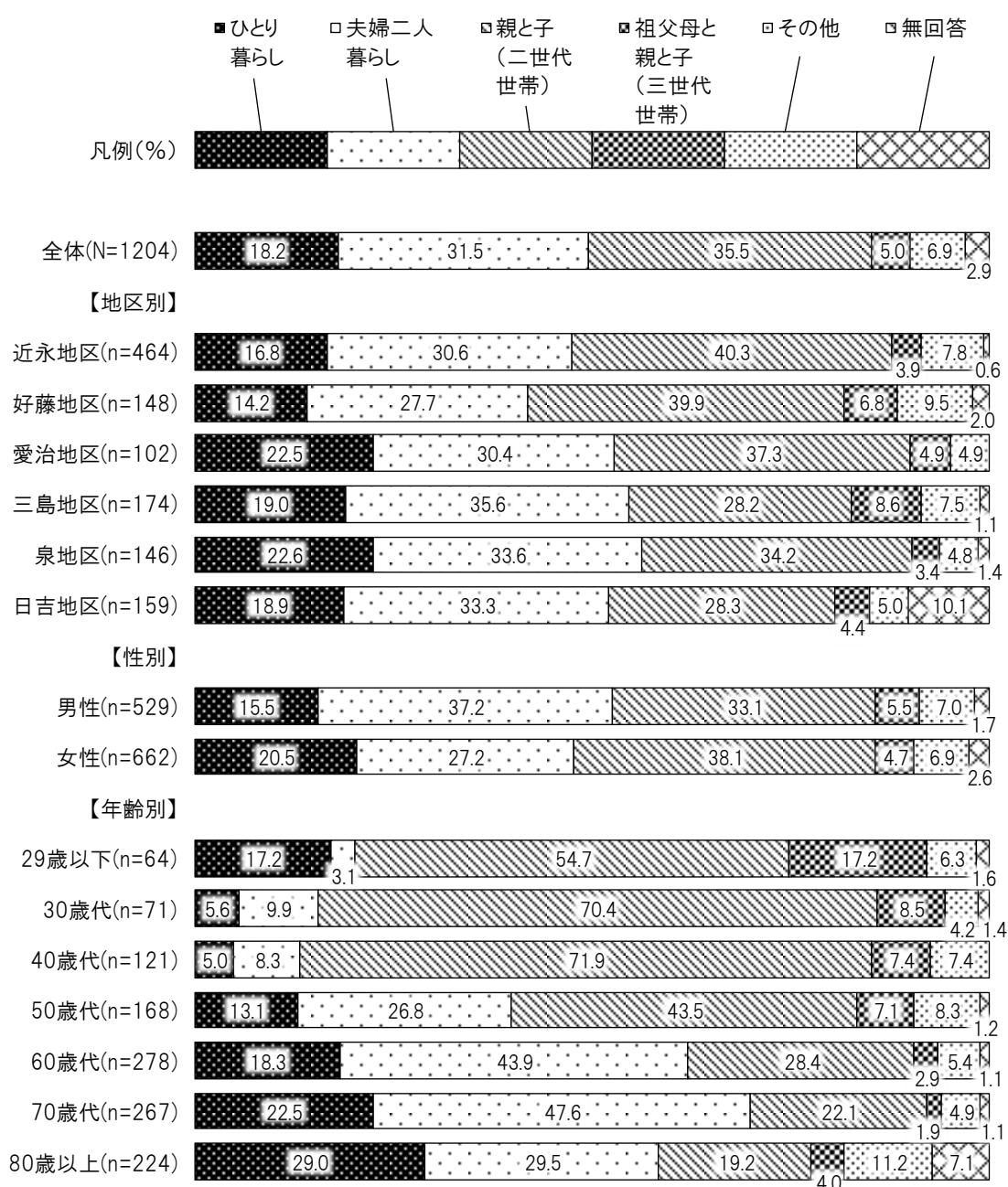
6 家族構成

問7 あなたの同居家族の構成をお答えください。(〇は1つ)

家族構成については、「親と子（二世世代世帯）」の割合が35.5%と最も高く、次いで「夫婦二人暮らし」（31.5%）、「ひとり暮らし」（18.2%）の順となっている。

地区別では大きな差はみられないが、性別では男性は「夫婦二人暮らし」の割合が女性を大きく上回っており、女性には男性に比べ「ひとり暮らし」「親と子（二世世代世帯）」の割合が高くなっている。

年齢別では29歳以下で「祖父母と親と子（三世世代世帯）」、30～40歳代で「親と子（二世世代世帯）」、60～70歳代で「夫婦二人暮らし」、80歳以上で「ひとり暮らし」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



7 居住年数

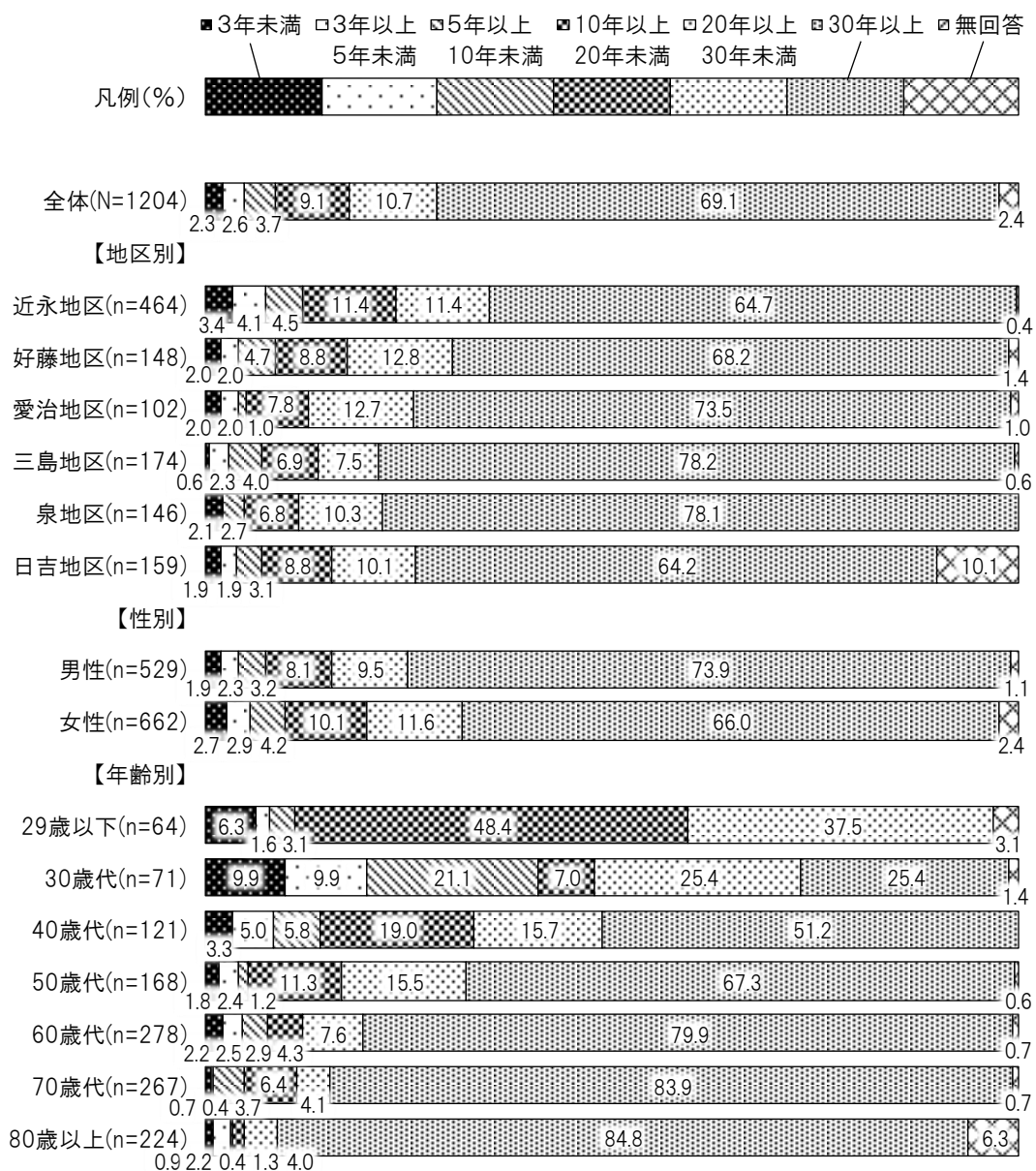
問8 あなたは、鬼北町に住んで通算何年になりますか。（○は1つ）

居住年数については、「30年以上」の割合が69.1%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」（10.7%）、「10年以上20年未満」（9.1%）の順となっており、『10年未満』の合計は8.6%となっている。

地区別では、三島地区や泉地区で「30年以上」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「30年以上」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「10年以上20年未満」の割合が他の年齢層を大きく上回っており、年齢が上がるほど「30年以上」の割合が増える傾向にある。



8 居住歴

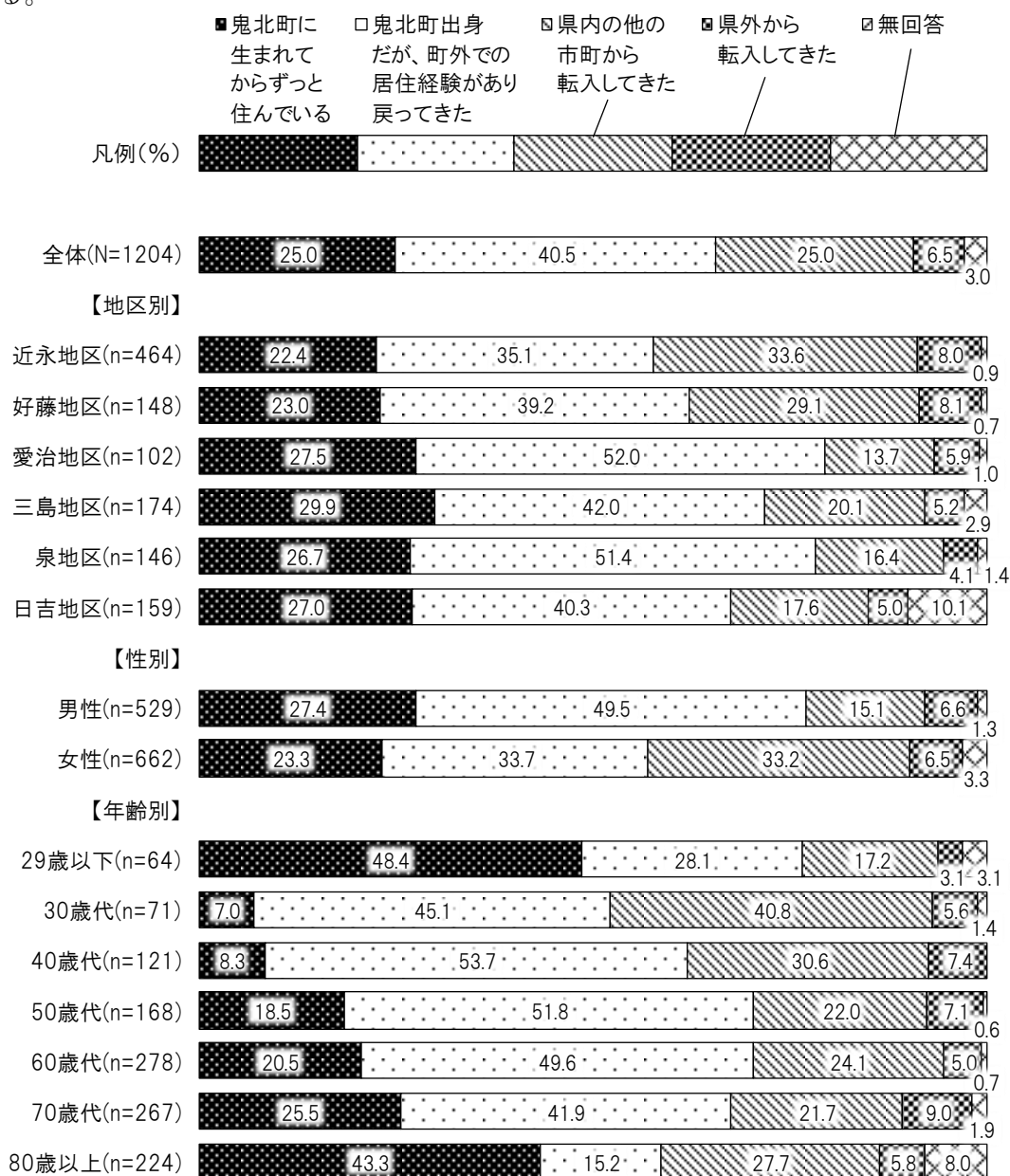
問9 あなたの居住歴をお答えください。(○は1つ)

居住歴については、「鬼北町出身だが、町外での居住経験があり戻ってきた」の割合が40.5%と最も高く、次いで「鬼北町に生まれてからずっと住んでいる」「県内の他の市町から転入してきた」(各25.0%)、「県外から転入してきた」(6.5%)となっている。

地区別では、愛治地区や泉地区で「鬼北町出身だが、町外での居住経験があり戻ってきた」、近永地区や好藤地区で「県内の他の市町から転入してきた」の割合がそれぞれ他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「鬼北町出身だが、町外での居住経験があり戻ってきた」の割合が高く、女性は「県内の他の市町から転入してきた」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下や80歳以上で「鬼北町に生まれてからずっと住んでいる」、30歳代で「県内の他の市町から転入してきた」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

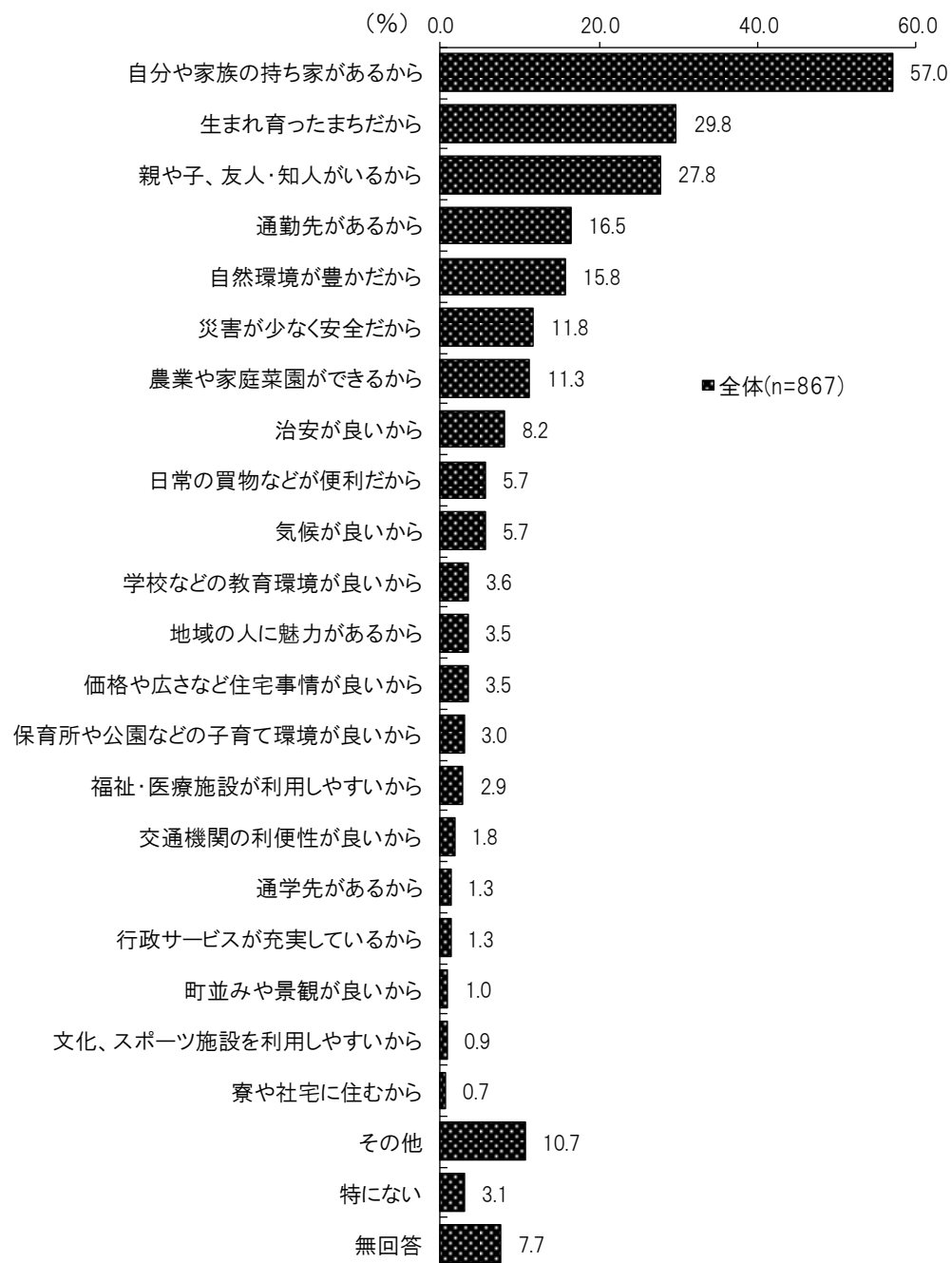


9 鬼北町を選んだ理由

【問9で「2～4」と答えた方におたずねします】

問10 鬼北町を居住先として選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

鬼北町を選んだ理由については、「自分や家族の持ち家があるから」の割合が57.0%と最も高く、次いで「生まれ育ったまちだから」(29.8%)、「親や子、友人・知人がいるから」(27.8%)、「通勤先があるから」(16.5%)、「自然環境が豊かだから」(15.8%)の順となっている。



Ⅲ 調査結果

【1】住みやすさなどについて

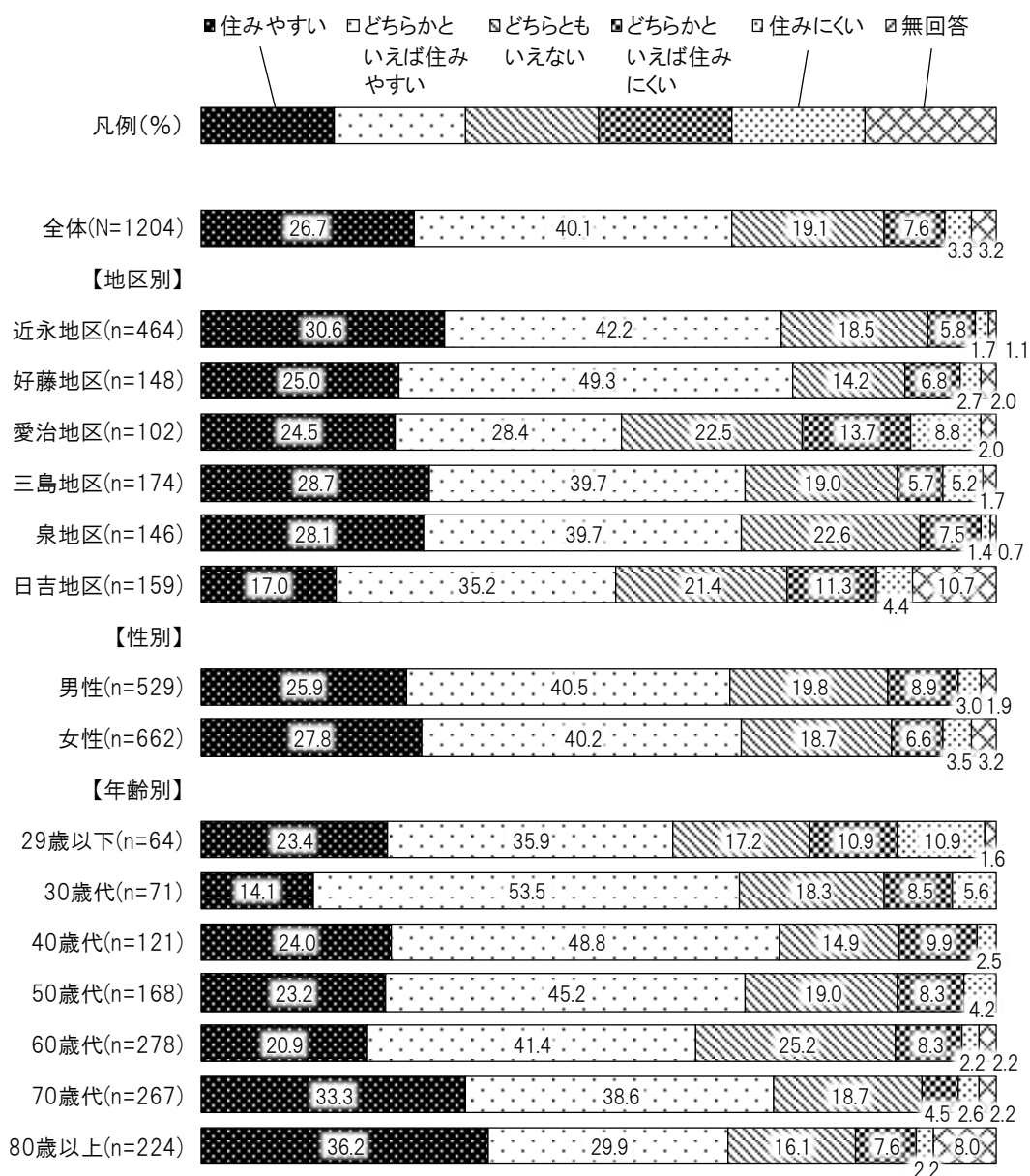
1 鬼北町での住みやすさ

問 11 あなたは、鬼北町が「住みやすいまち」だと感じますか。（○は1つ）

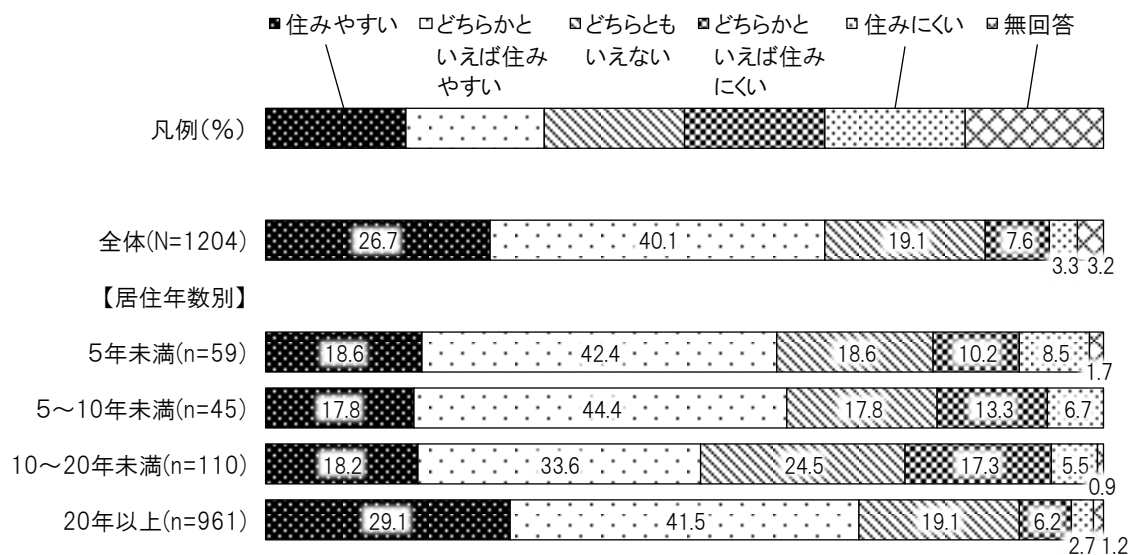
鬼北町での住みやすさについては、「住みやすい」の割合が26.7%、「どちらかといえば住みやすい」が40.1%で、合計6割以上（66.8%）が『住みやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば住みにくい」（7.6%）と「住みにくい」（3.3%）の合計は10.9%、「どちらともいえない」は19.1%となっている。

地区別では、愛治地区や日吉地区で『住みにくい（合計）』の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では70歳代以上で「住みやすい」、29歳以下で『住みにくい（合計）』の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



居住年数別（問8）では、20年以上で「住みやすい」、10～20年未満で「どちらかといえど住みにくい」の割合がそれぞれ他の居住年数に比べて高くなっている。



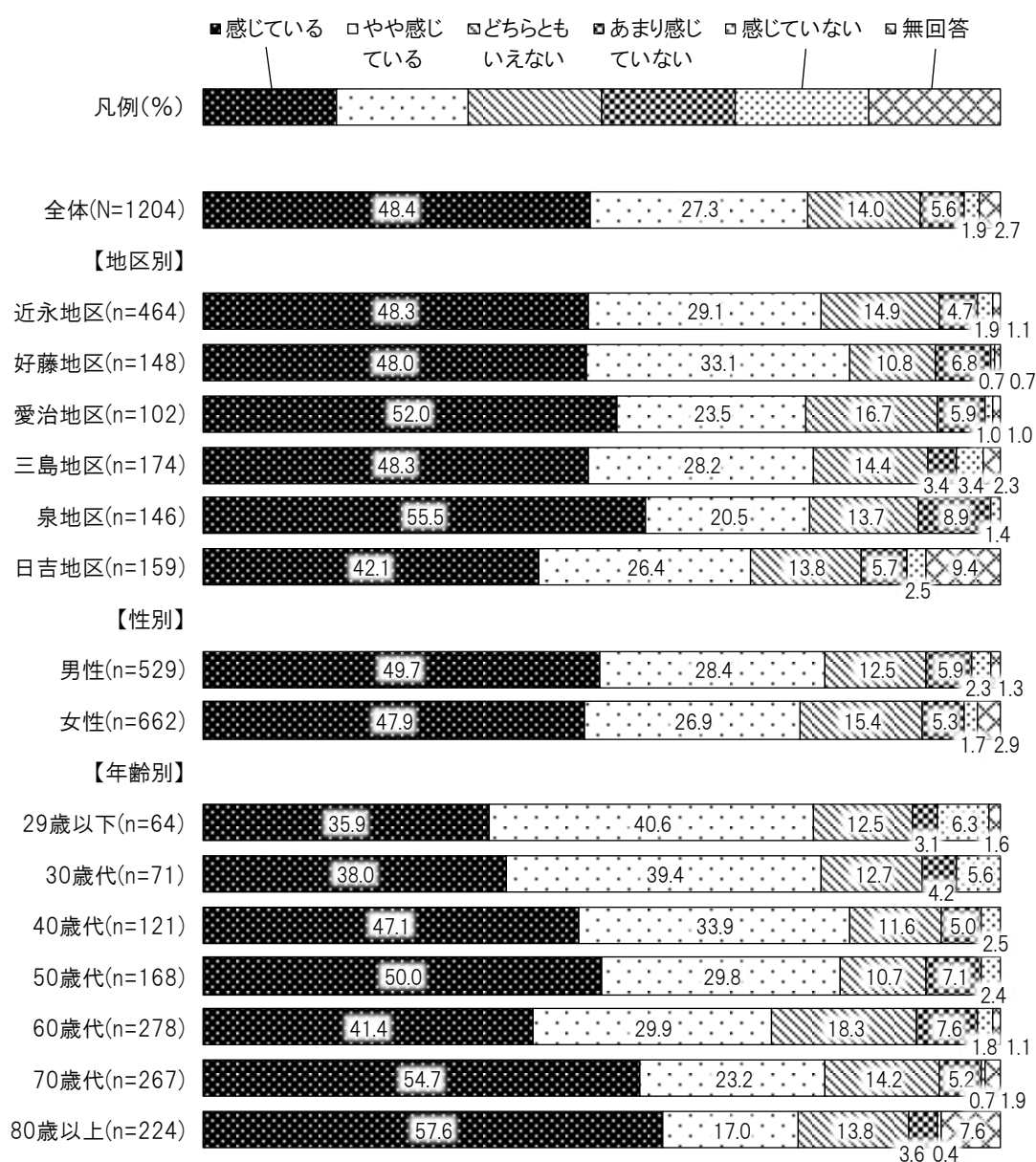
2 鬼北町への愛着度

問 12 あなたは、鬼北町に愛着を感じていますか。（○は1つ）

鬼北町への愛着度については、「感じている」の割合が 48.4%、「やや感じている」が 27.3%で、合計 7 割以上（75.7%）が『感じている』と回答している。一方、「あまり感じていない」（5.6%）と「感じていない」（1.9%）の合計は 7.5%、「どちらともいえない」は 14.0%となっている。

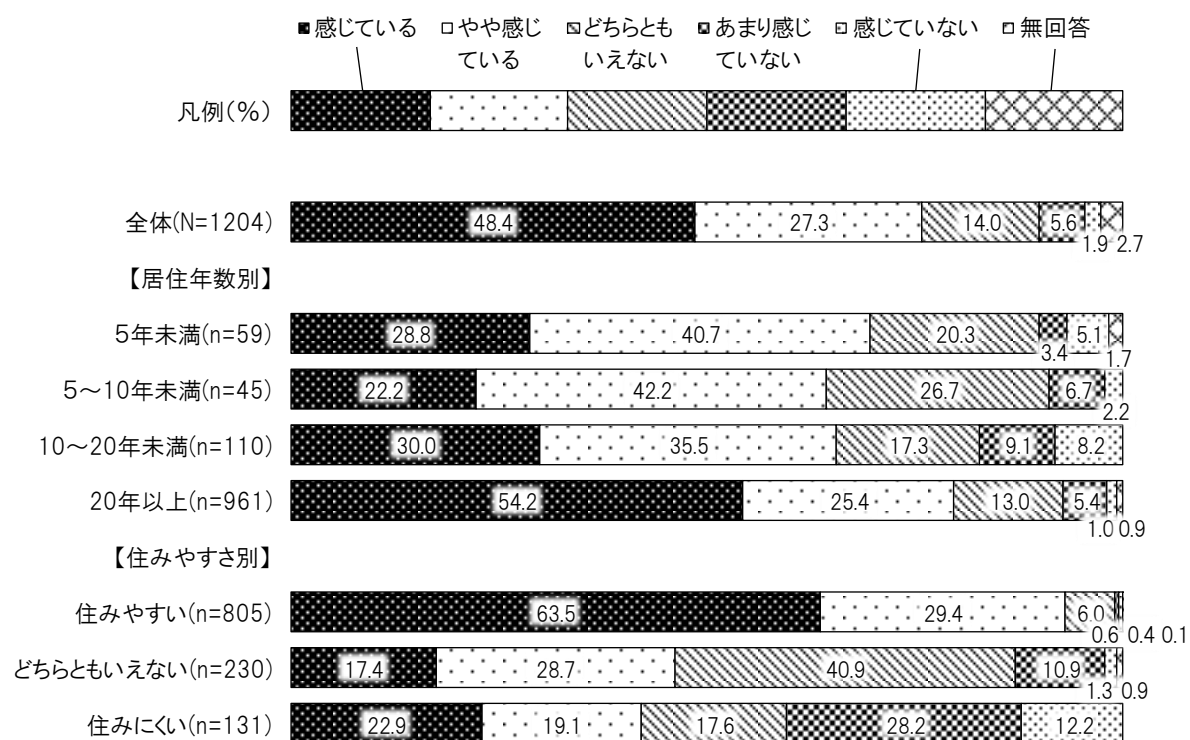
地区別では、日吉地区で「感じている」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別ではおおむね年齢が上がるほど「感じている」の割合が増える傾向にある。



居住年数別では、20年以上で「感じている」、10～20年未満で『感じていない（合計）』の割合がそれぞれ他の居住年数に比べて高くなっている。

住みやすさ別（問 11）では、住みやすいと感じている層で「感じている」、住みにくいと感じている層で『感じていない（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。



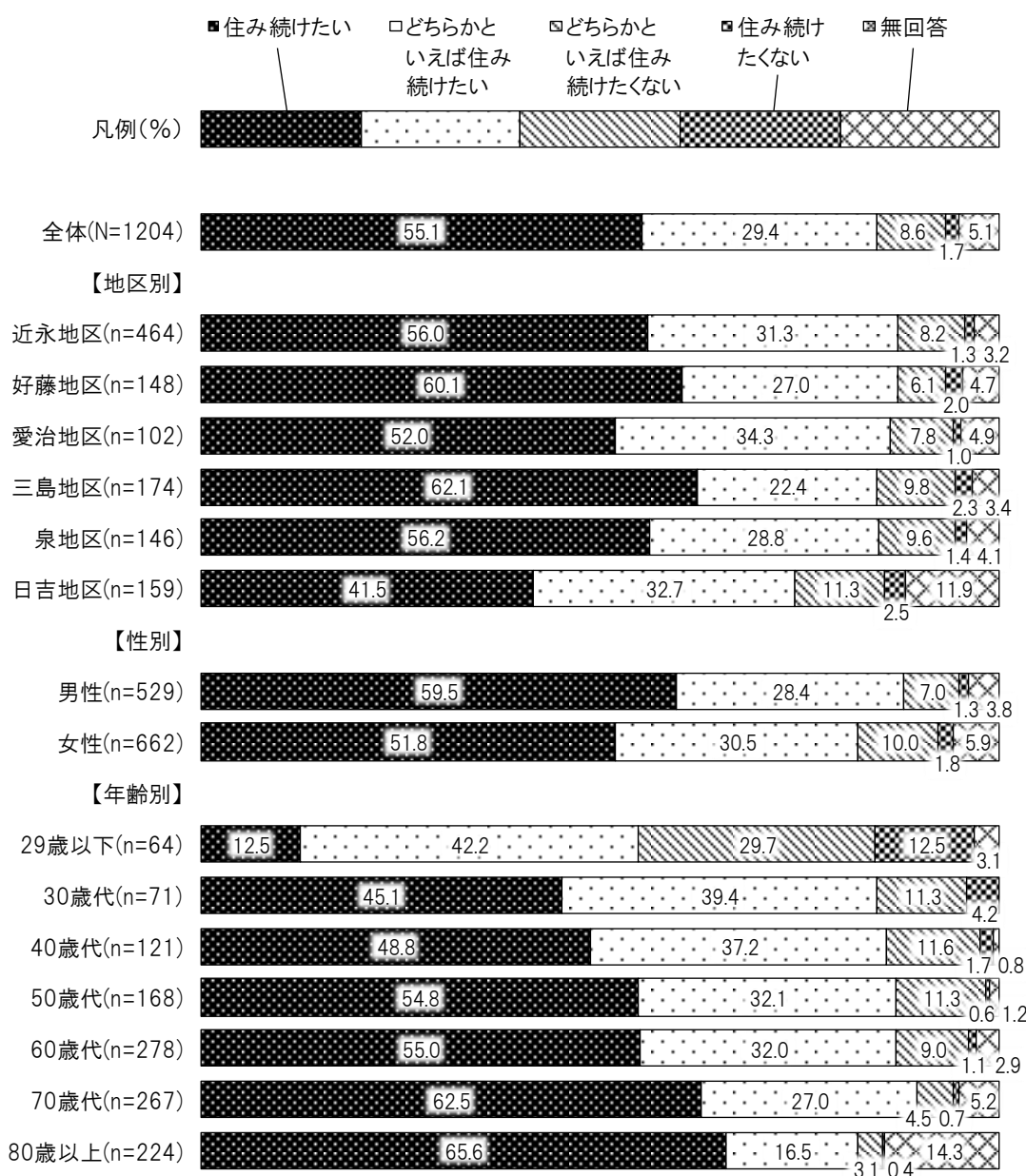
3 永住意向

問 13 あなたは、これからも鬼北町に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

永住意向については、「住み続けたい」の割合が55.1%、「どちらかといえば住み続けたい」が29.4%で、合計8割以上（84.5%）が『住み続けたい』と回答している。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」（8.6%）と「住み続けたくない」（1.7%）の合計は約1割（10.3%）となっている。

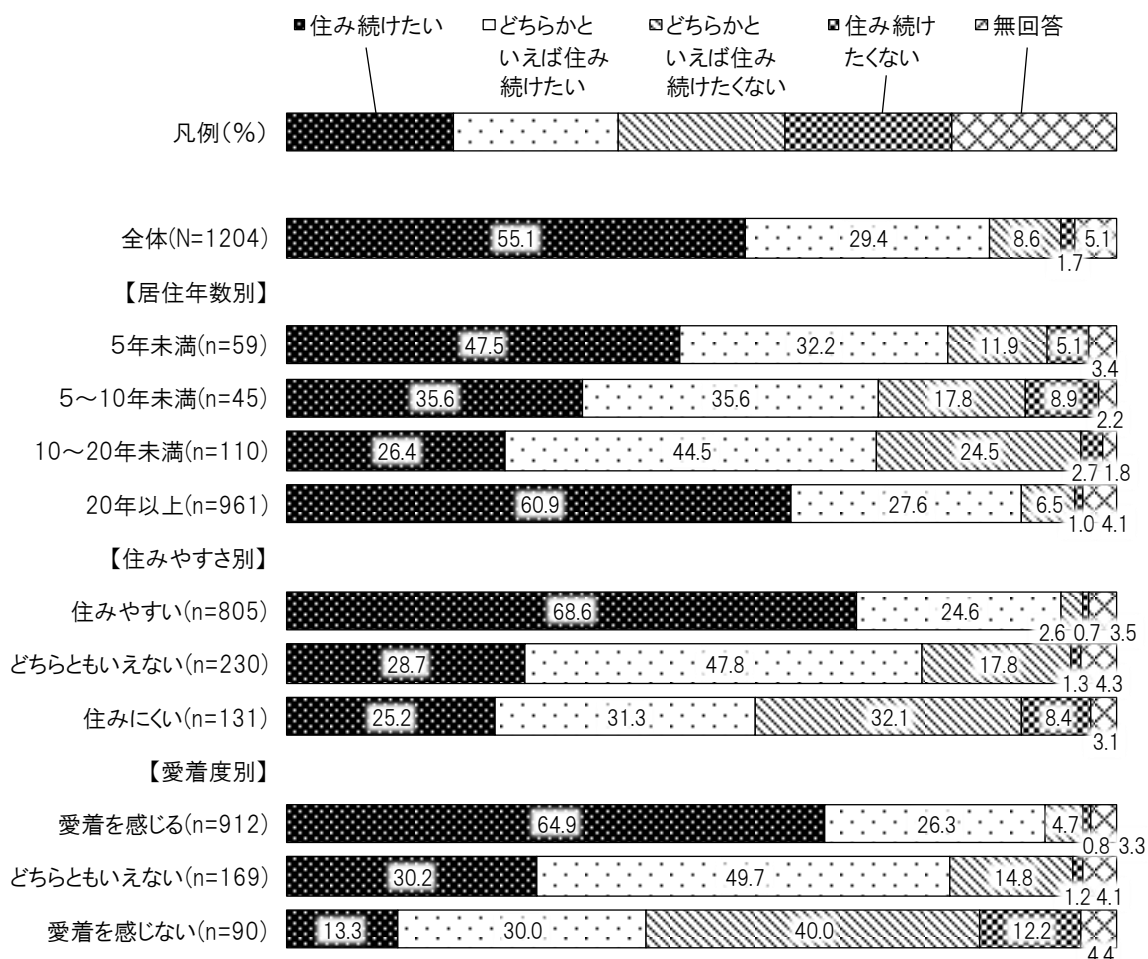
地区別では、日吉地区で「住み続けたい」の割合が他の地区に比べて低くなっている。性別では、男性は女性に比べ「住み続けたい」の割合が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で『住み続けたくない（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っており、年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合が増える傾向にある。



居住年数別では、20 年以上で「住み続けたい」、10～20 年未満で「どちらかといえば住み続けたくない」の割合がそれぞれ他の居住年数に比べて高くなっている。

住みやすさ別では住みやすいと感じている層ほど、愛着度別（問 12）では愛着を感じる層ほど、「住み続けたい」の割合が高くなっている。

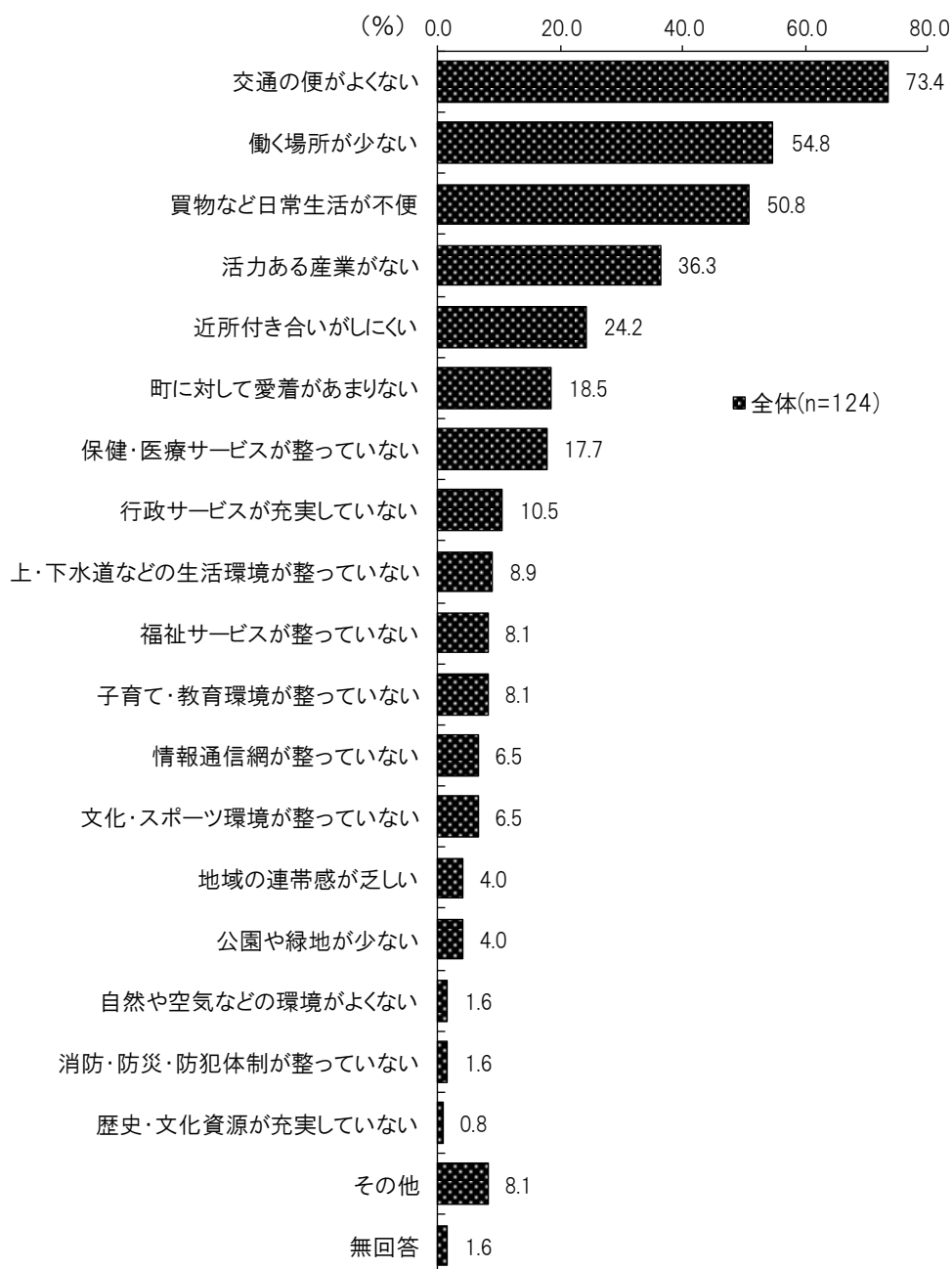


4 住み続けたくない理由

【問13で「3～4」と答えた方におたずねします】

問14 住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。（○は5つまで）

住み続けたくない理由については、「交通の便がよくない」の割合が73.4%と最も高く、次いで「働く場所が少ない」(54.8%)、「買物など日常生活が不便」(50.8%)、「活力ある産業がない」(36.3%)、「近所付き合いがしにくい」(24.2%)の順となっている。



性別では、男性は「活力ある産業がない」「近所付き合いがしにくい」「行政サービスが充実していない」などの割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「交通の便がよくない」「買物など日常生活が不便」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	交通の便がよくない	働く場所が少ない	買物など日常生活が不便	活力ある産業がない	近所付き合いがしにくい	町に対して愛着があまりない	保健・医療サービスが整っていない	行政サービスが充実していない	上・下水道などの生活環境が整っていない	福祉サービスが整っていない	子育て・教育環境が整っていない	情報通信網が整っていない	文化・スポーツ環境が整っていない
全体(n=124)	73.4	54.8	50.8	36.3	24.2	18.5	17.7	10.5	8.9	8.1	8.1	6.5	6.5
【性別】													
男性(n=44)	68.2	59.1	47.7	52.3	34.1	22.7	15.9	20.5	4.5	9.1	6.8	4.5	9.1
女性(n=78)	76.9	52.6	52.6	26.9	19.2	16.7	17.9	5.1	11.5	6.4	9.0	7.7	5.1

単位 (%)	地域の連帯感が乏しい	公園や緑地が少ない	自然や空気などの環境がよい	消防・防災・防犯体制が整っていない	歴史・文化資源が充実していない	その他
全体(n=124)	4.0	4.0	1.6	1.6	0.8	8.1
【性別】						
男性(n=44)	6.8	2.3	2.3	2.3	0.0	9.1
女性(n=78)	2.6	5.1	1.3	1.3	1.3	7.7

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（地区別・性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。

（例／年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

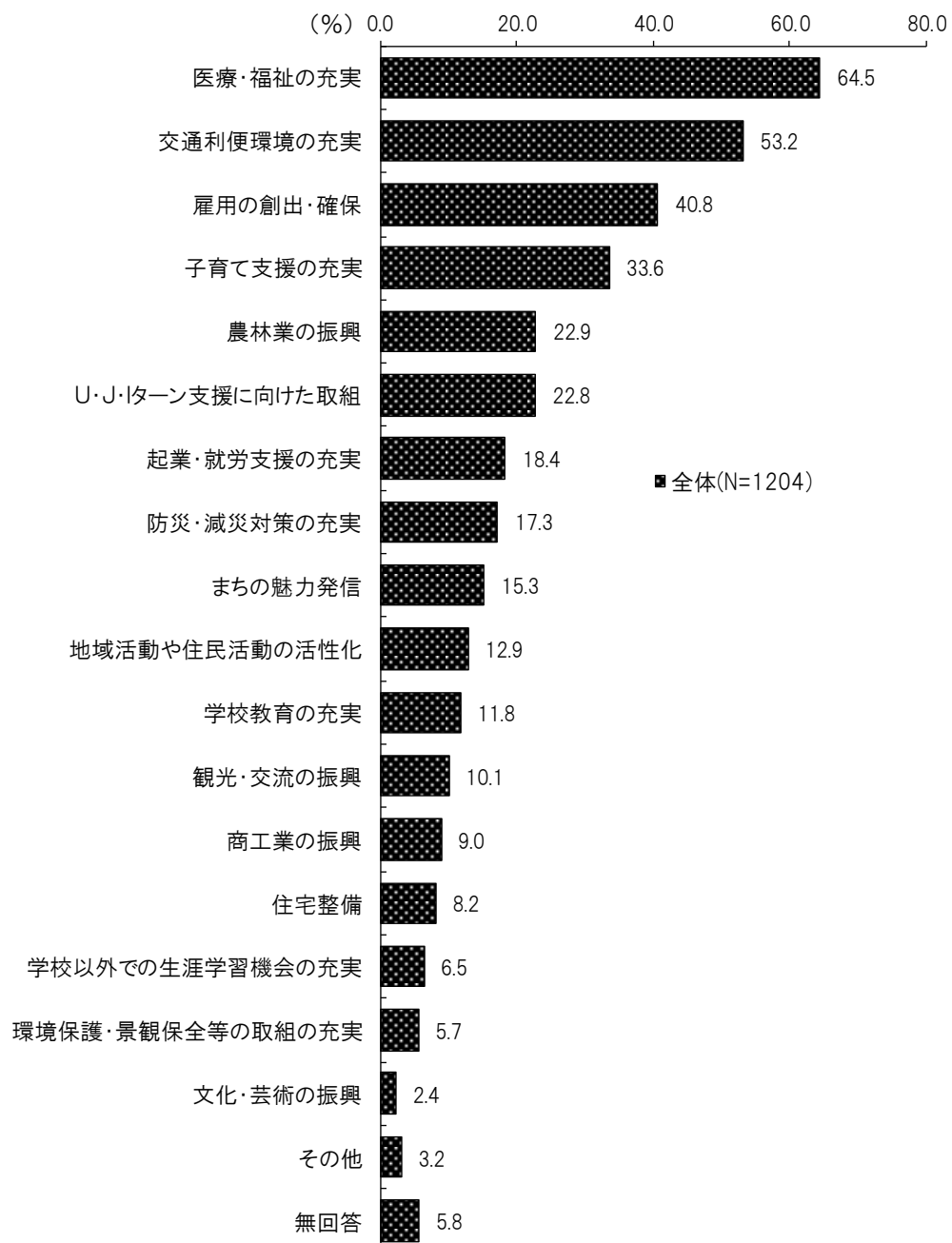
但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。

また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

5 「住み続けたい鬼北町」を実現するために必要な取組

問 15 今後、「住み続けたい鬼北町」を実現していくために、どのような取組が必要だと思いますか。（〇は5つまで）

「住み続けたい鬼北町」を実現するために必要な取組については、「医療・福祉の充実」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「交通利便環境の充実」（53.2%）、「雇用の創出・確保」（40.8%）、「子育て支援の充実」（33.6%）、「農林業の振興」（22.9%）の順となっている。



地区別では、愛治地区で「起業・就労支援の充実」、愛治地区や三島地区で「交通利便環境の充実」、三島地区や日吉地区で「農林業の振興」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「雇用の創出・確保」「農林業の振興」などの割合が高く、女性は「交通利便環境の充実」の割合が男性を大きく上回っている。

単位 (%)	医療・福祉の充実	交通利便環境の充実	雇用の創出・確保	子育て支援の充実	農林業の振興	U・J・インターン支援に向けた取組	起業・就労支援の充実	防災・減災対策の充実	まちの魅力発信	地域活動や住民活動の活性化	学校教育の充実	観光・交流の振興
全体(N=1204)	64.5	53.2	40.8	33.6	22.9	22.8	18.4	17.3	15.3	12.9	11.8	10.1
【地区別】												
近永地区(n=464)	64.0	51.7	42.2	34.7	15.3	25.0	17.7	16.6	17.2	11.4	12.9	12.9
好藤地区(n=148)	65.5	43.2	39.9	36.5	23.6	16.9	18.2	21.6	18.2	16.2	12.8	8.8
愛治地区(n=102)	59.8	62.7	41.2	32.4	24.5	29.4	32.4	13.7	7.8	13.7	9.8	5.9
三島地区(n=174)	69.5	62.6	40.8	33.3	30.5	22.4	17.2	17.8	13.2	10.9	8.0	9.8
泉地区(n=146)	69.2	57.5	37.7	32.2	25.3	19.2	15.8	19.9	15.8	15.1	9.6	11.6
日吉地区(n=159)	61.0	49.1	39.6	30.8	33.3	22.6	15.7	14.5	13.8	13.8	15.1	5.0
【性別】												
男性(n=529)	65.2	44.8	46.3	36.1	31.2	25.7	21.6	18.7	15.1	14.6	12.5	10.2
女性(n=662)	64.4	60.4	36.4	31.7	16.2	20.7	16.2	16.0	15.6	11.6	11.3	10.1

単位 (%)	商工業の振興	住宅整備	学校以外の生涯学習の機会充実	環境保護・景観保全等の取組の実	文化・芸術の振興	その他
全体(N=1204)	9.0	8.2	6.5	5.7	2.4	3.2
【地区別】						
近永地区(n=464)	12.9	9.9	6.9	4.3	3.0	4.3
好藤地区(n=148)	6.8	6.8	10.8	10.8	1.4	2.0
愛治地区(n=102)	4.9	7.8	6.9	5.9	3.9	2.0
三島地区(n=174)	6.9	6.9	4.6	8.6	1.7	3.4
泉地区(n=146)	6.8	8.2	5.5	6.2	1.4	2.7
日吉地区(n=159)	6.9	6.3	2.5	1.9	1.9	1.9
【性別】						
男性(n=529)	11.5	7.9	4.9	6.6	2.6	3.6
女性(n=662)	7.1	8.5	7.4	5.0	2.1	2.9

年齢別では、29 歳以下で「U・J・I ターン支援に向けた取組」「観光・交流の振興」、30～40 歳代で「子育て支援の充実」「学校教育の充実」、70 歳代で「地域活動や住民活動の活性化」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	医療・福祉の充実	交通利便環境の充実	雇用の創出・確保	子育て支援の充実	農林業の振興	U・J・I ターン支援に向けた取組	起業・就労支援の充実	防災・減災対策の充実	まちの魅力発信	地域活動や住民活動の活性化	学校教育の充実	観光・交流の振興
全体(N=1204)	64.5	53.2	40.8	33.6	22.9	22.8	18.4	17.3	15.3	12.9	11.8	10.1
【年齢別】												
29歳以下(n=64)	42.2	43.8	39.1	32.8	9.4	34.4	23.4	6.3	12.5	7.8	17.2	31.3
30歳代(n=71)	59.2	39.4	50.7	71.8	4.2	23.9	29.6	16.9	14.1	2.8	32.4	19.7
40歳代(n=121)	67.8	52.9	53.7	48.8	12.4	26.4	25.6	14.9	10.7	9.1	25.6	12.4
50歳代(n=168)	66.7	55.4	51.8	36.3	22.0	25.6	22.0	17.9	14.9	5.4	10.7	10.1
60歳代(n=278)	66.5	57.9	51.1	30.9	26.3	28.1	19.4	15.5	17.3	15.1	7.2	7.2
70歳代(n=267)	68.5	53.2	32.6	26.2	29.2	20.2	15.7	22.1	18.7	20.2	7.5	8.6
80歳以上(n=224)	62.9	54.9	20.1	23.7	27.7	12.5	9.4	17.4	12.9	13.8	7.6	5.4

単位 (%)	商工業の振興	住宅整備	学校以外の生涯学習機会	環境保護・景観保全等の取組の充実	文化・芸術の振興	その他
全体(N=1204)	9.0	8.2	6.5	5.7	2.4	3.2
【年齢別】						
29歳以下(n=64)	9.4	12.5	1.6	3.1	3.1	1.6
30歳代(n=71)	9.9	16.9	11.3	2.8	2.8	2.8
40歳代(n=121)	16.5	14.9	9.9	2.5	4.1	2.5
50歳代(n=168)	9.5	8.9	3.6	6.5	3.0	4.8
60歳代(n=278)	8.3	7.2	7.9	4.3	1.1	2.5
70歳代(n=267)	7.9	4.9	6.4	9.0	1.5	2.6
80歳以上(n=224)	6.7	4.9	4.5	6.3	3.1	4.5

【2】 鬼北町の人口について

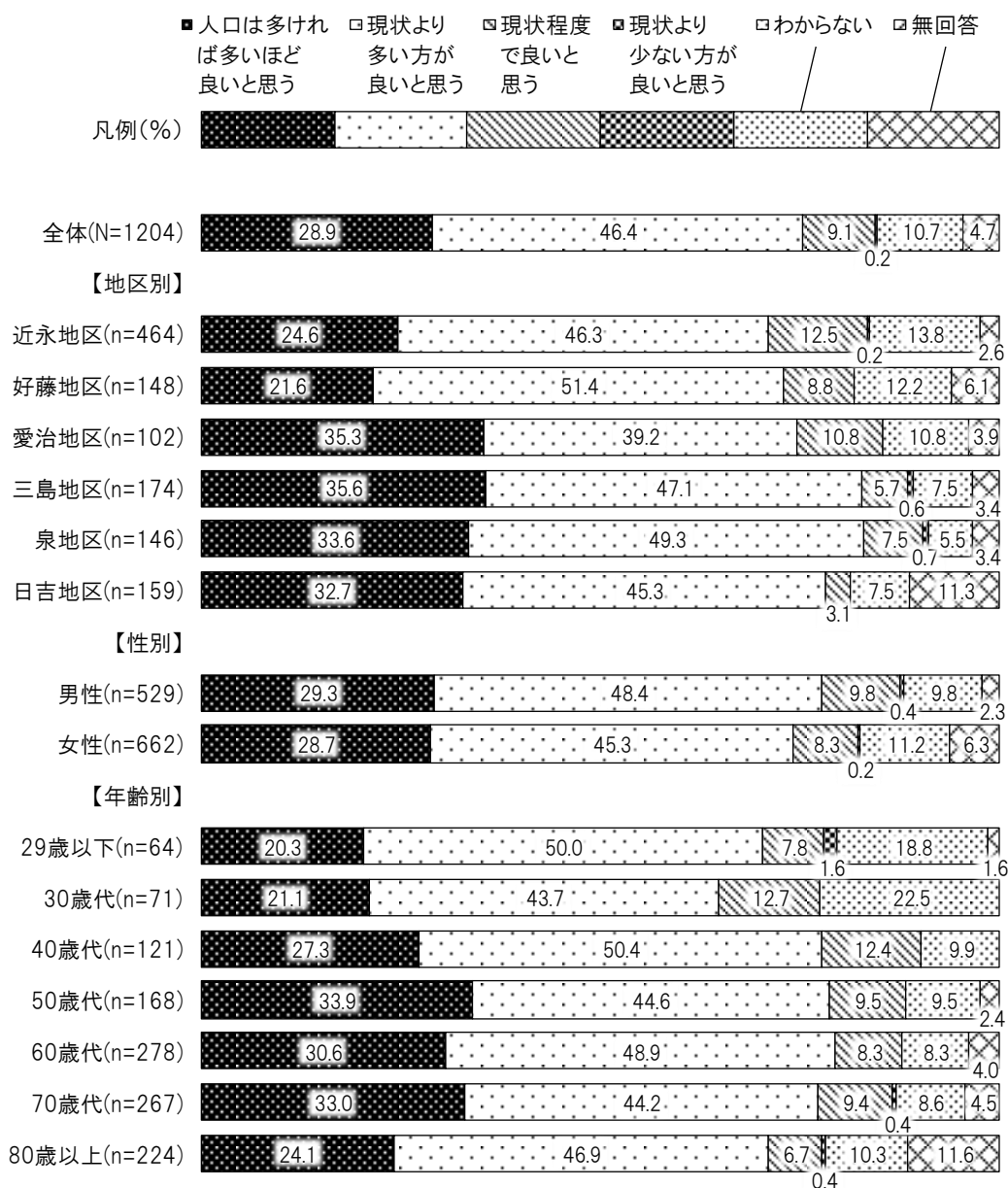
1 鬼北町の人口について

問 16 鬼北町の人口は令和元（2019）年 12 月末日時点で 10,179 人です。平成 21（2009）年 12 月末日時点の 12,025 人から 1,800 人あまり減少しています。あなたは鬼北町の人口について、どのように思いますか。（○は1つ）

鬼北町の人口については、「人口は多ければ多いほど良いと思う」が 28.9%、「現状より多い方が良いと思う」が 46.4%で、合計 75.3%が『多い方が良いと思う』と回答している。また、「現状程度で良いと思う」が 9.1%、「現状より少ない方が良いと思う」が 0.2%となっている。

地区別では、近永地区や好藤地区で「人口は多ければ多いほど良いと思う」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

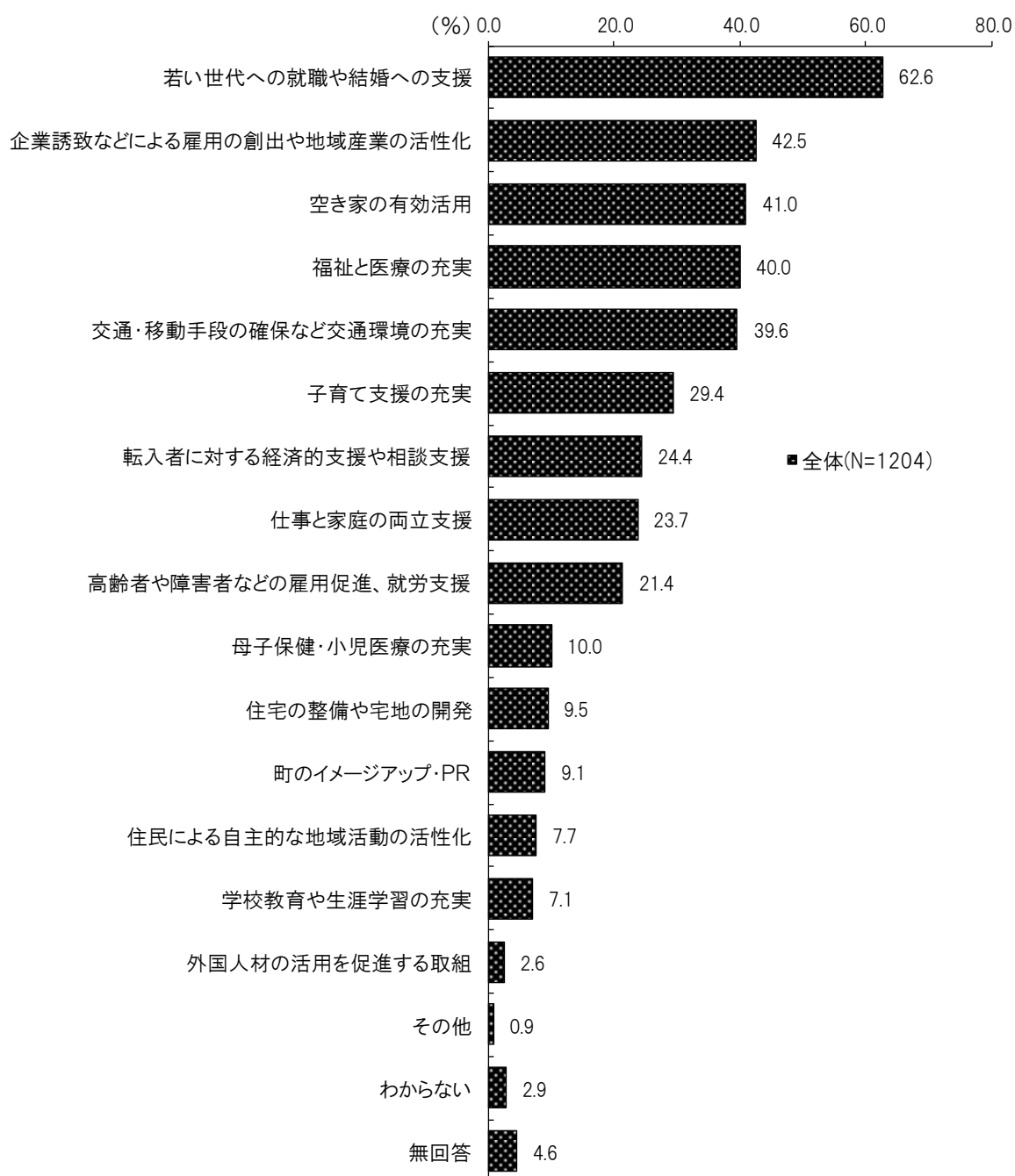
性別では大きな差はみられないが、年齢別では 30 歳代以下で「わからない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



2 人口減少対策として重要な取組

問 17 鬼北町は、今後、人口減少対策としてどのようなことに取り組むことが重要だと思いますか。（〇は5つまで）

人口減少対策として重要な取組については、「若い世代への就職や結婚への支援」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「企業誘致などによる雇用の創出や地域産業の活性化」（42.5%）、「空き家の有効活用」（41.0%）、「福祉と医療の充実」（40.0%）、「交通・移動手段の確保など交通環境の充実」（39.6%）の順となっている。



地区別では、近永地区で「仕事と家庭の両立支援」「母子保健・小児医療の充実」、愛治地区や三島地区で「交通・移動手段の確保など交通環境の充実」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は「若い世代への就職や結婚への支援」「企業誘致などによる雇用の創出や地域産業の活性化」「転入者に対する経済的支援や相談支援」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「空き家の有効活用」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	若い世代への就職や結婚への支援	活用性の創出や地域産業の雇	企業誘致などの有効活用	空き家の有効活用	福祉と医療の充実	交通・移動手段の確保	子育て支援の充実	転入者に対する経済的支援や相談支援	仕事と家庭の両立支援	雇用促進や障害者などの	高年齢者や障	母子保健・小児医療の充実	住宅の整備や宅地の開
全体(N=1204)	62.6	42.5	41.0	40.0	39.6	29.4	24.4	23.7	21.4	10.0	9.5		
【地区別】													
近永地区(n=464)	60.8	38.8	43.1	40.1	34.9	31.9	24.6	29.3	21.3	15.3	10.1		
好藤地区(n=148)	64.2	46.6	43.9	43.2	41.2	29.1	19.6	21.6	20.9	9.5	10.8		
愛治地区(n=102)	69.6	48.0	26.5	39.2	52.9	28.4	22.5	17.6	27.5	5.9	9.8		
三島地区(n=174)	67.8	50.0	43.7	38.5	50.0	29.9	26.4	23.0	23.6	6.9	6.9		
泉地区(n=146)	58.9	41.8	37.0	43.8	37.0	24.0	24.7	23.3	20.5	6.8	10.3		
日吉地区(n=159)	61.0	40.9	43.4	37.7	36.5	26.4	28.3	15.1	15.7	3.1	7.5		
【性別】													
男性(n=529)	67.9	49.5	36.9	40.3	37.2	32.5	29.5	24.0	21.7	9.1	10.6		
女性(n=662)	58.5	37.8	44.3	40.2	42.0	26.9	20.7	23.6	21.3	10.6	8.5		

単位 (%)	P町のイメージアップ	域住民による活性化	充学校教育や生涯学習の	す外国材の活用を促進	その他	わからない
全体(N=1204)	9.1	7.7	7.1	2.6	0.9	2.9
【地区別】						
近永地区(n=464)	9.7	7.3	8.0	1.5	1.3	3.7
好藤地区(n=148)	8.8	8.1	10.8	1.4	1.4	2.0
愛治地区(n=102)	5.9	6.9	6.9	5.9	1.0	1.0
三島地区(n=174)	8.0	10.9	5.7	2.9	1.1	1.7
泉地区(n=146)	13.7	5.5	5.5	2.7	0.0	2.7
日吉地区(n=159)	7.5	6.9	5.0	3.8	0.0	3.8
【性別】						
男性(n=529)	8.1	8.5	7.0	3.0	1.5	3.4
女性(n=662)	10.1	6.9	7.4	2.1	0.5	2.4

年齢別では、29歳以下で「転入者に対する経済的支援や相談支援」、30歳代で「子育て支援の充実」「母子保健・小児医療の充実」「学校教育や生涯学習の充実」、30歳代以下で「仕事と家庭の両立支援」「住宅の整備や宅地の開発」、70歳代で「福祉と医療の充実」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	若い世代への就職や結婚の支援	企業の創造や地域産業の活性化	空き家の有効活用	福祉と医療の充実	交通・移動手段の確保	子育て支援の充実	転入者に対する経済的支援や相談支援	仕事と家庭の両立支援	高齢者や障害者などの雇用促進、就労支援	母子保健・小児医療の充実	住宅の整備や宅地の開発
全体(N=1204)	62.6	42.5	41.0	40.0	39.6	29.4	24.4	23.7	21.4	10.0	9.5
【年齢別】											
29歳以下(n=64)	68.8	18.8	35.9	31.3	35.9	29.7	32.8	42.2	14.1	14.1	20.3
30歳代(n=71)	62.0	28.2	47.9	32.4	25.4	57.7	23.9	40.8	12.7	29.6	22.5
40歳代(n=121)	62.8	49.6	38.8	33.1	36.4	40.5	24.0	35.5	19.8	17.4	14.0
50歳代(n=168)	64.9	44.0	47.0	39.9	44.0	29.8	25.0	23.8	19.6	11.3	10.1
60歳代(n=278)	64.0	53.6	42.8	39.9	42.1	30.2	26.6	19.4	25.2	8.6	4.7
70歳代(n=267)	67.0	46.8	40.4	47.6	47.6	23.2	22.8	18.4	21.3	4.5	7.9
80歳以上(n=224)	53.1	32.1	35.3	41.1	32.6	20.1	22.3	17.9	24.1	4.9	6.7

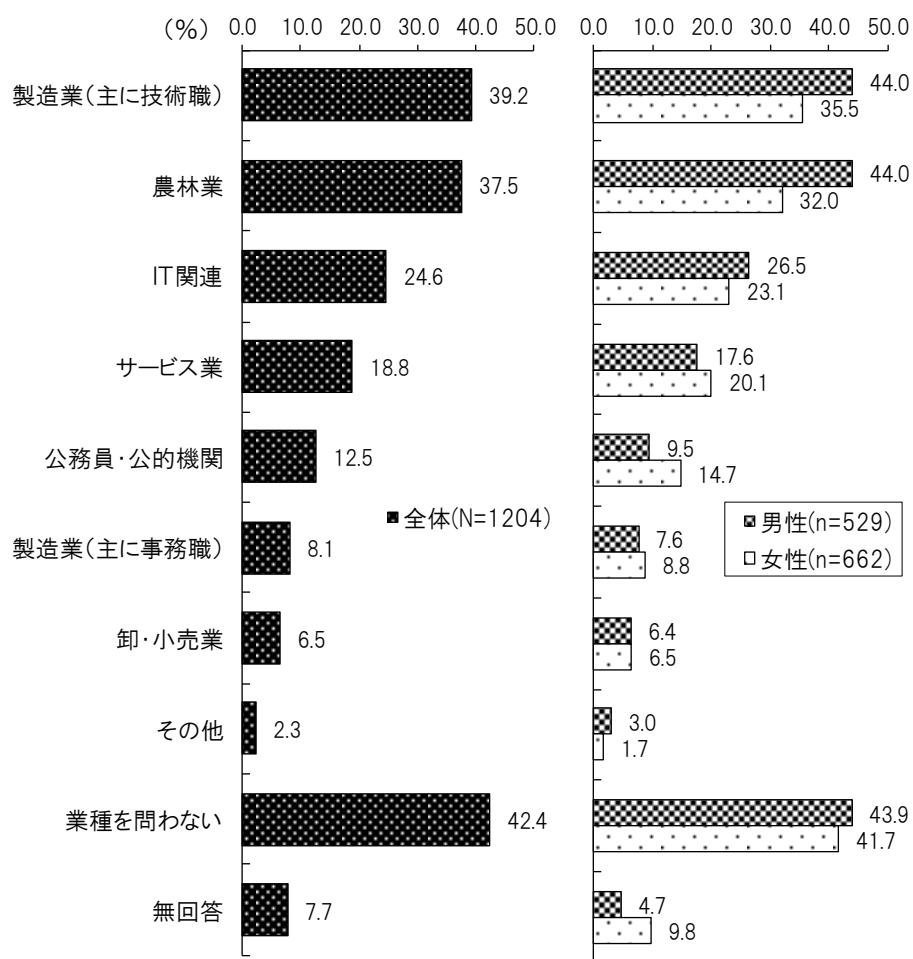
単位 (%)	P町のイメージアップ	住民による自主的な地域活動の活性化	学校教育や生涯学習の充実	外国人材の活用を促進する取組	その他	わからない
全体(N=1204)	9.1	7.7	7.1	2.6	0.9	2.9
【年齢別】						
29歳以下(n=64)	12.5	1.6	9.4	9.4	1.6	4.7
30歳代(n=71)	8.5	5.6	19.7	5.6	1.4	1.4
40歳代(n=121)	9.9	4.1	11.6	4.1	0.8	0.8
50歳代(n=168)	9.5	4.2	7.1	3.6	2.4	2.4
60歳代(n=278)	8.3	7.2	4.7	1.4	0.4	2.2
70歳代(n=267)	7.9	12.0	6.4	0.7	0.4	2.2
80歳以上(n=224)	10.7	9.8	4.0	1.3	0.9	5.8

3 U・J・Iターンを増やすために充実すべき仕事

問 18 若い世代のU・J・Iターンを増やすためには、鬼北町内にどのような仕事
が充実すればよいと思いますか。（○は3つまで）

U・J・Iターンを増やすために充実すべき仕事については、「製造業（主に技術職）」の割合が39.2%と最も高く、次いで「農林業」（37.5%）、「I T関連」（24.6%）、「サービス業」（18.8%）、「公務員・公的機関」（12.5%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「製造業（主に技術職）」「農林業」などの割合が高く、女性は「公務員・公的機関」などの割合が男性を上回っている。



地区別では、愛治地区や三島地区で「製造業（主に技術職）」、好藤地区や三島地区で「農林業」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30歳代で「サービス業」、60歳代以上で「農林業」、70歳代で「製造業（主に技術職）」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位（％）	製造業（主に技術職）	農林業	ＩＴ関連	サービス業	公務員・公的機関	製造業（主に事務職）	卸・小売業	その他	業種を問わない
全体(N=1204)	39.2	37.5	24.6	18.8	12.5	8.1	6.5	2.3	42.4
【地区別】									
近永地区(n=464)	38.8	33.6	27.8	21.8	12.3	8.0	8.2	1.9	43.3
好藤地区(n=148)	39.9	43.9	21.6	18.9	8.8	6.1	3.4	1.4	42.6
愛治地区(n=102)	44.1	37.3	24.5	17.6	14.7	12.7	6.9	0.0	40.2
三島地区(n=174)	43.7	44.8	28.2	16.7	16.1	9.8	5.7	3.4	40.2
泉地区(n=146)	36.3	33.6	24.0	18.5	7.5	6.2	6.8	2.7	45.9
日吉地区(n=159)	34.6	38.4	15.7	13.8	15.7	8.2	4.4	4.4	40.9
【年齢別】									
29歳以下(n=64)	37.5	20.3	31.3	29.7	20.3	12.5	10.9	3.1	32.8
30歳代(n=71)	35.2	23.9	31.0	42.3	18.3	15.5	8.5	0.0	35.2
40歳代(n=121)	35.5	31.4	33.1	31.4	10.7	11.6	9.9	0.8	35.5
50歳代(n=168)	38.7	30.4	29.8	19.0	11.3	8.3	8.9	3.6	48.2
60歳代(n=278)	39.2	44.2	27.3	18.7	9.7	5.8	6.1	1.1	47.1
70歳代(n=267)	45.3	41.9	21.0	11.6	9.4	7.9	3.4	2.2	47.2
80歳以上(n=224)	36.6	42.0	13.8	10.7	17.0	6.3	4.9	4.5	35.7

【3】結婚について

1 婚姻状況

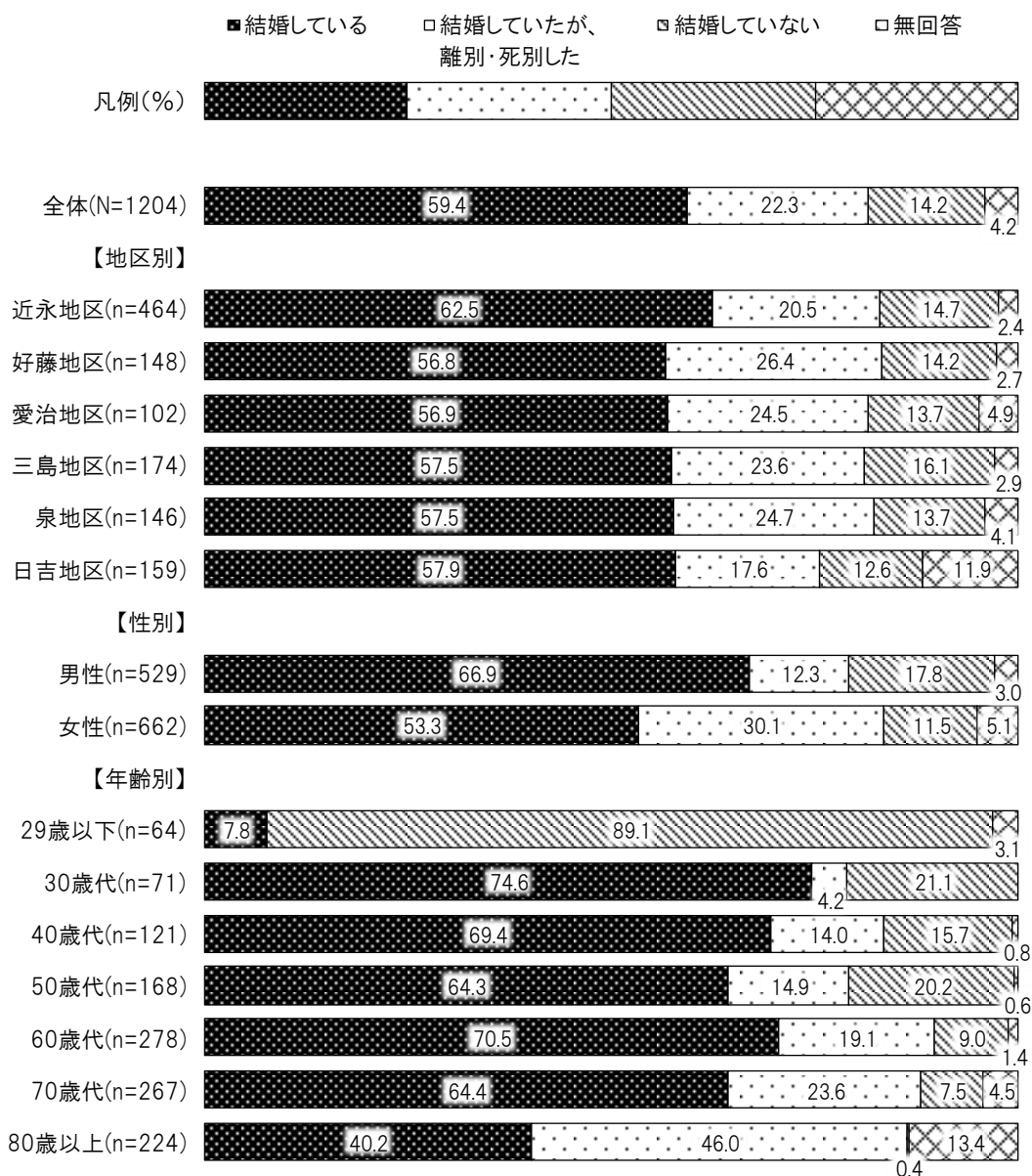
問 19 あなたは結婚をしていますか（事実婚・パートナーを含む）。（○は1つ）

婚姻状況については、「結婚している」の割合が59.4%、「結婚していない」が14.2%、「結婚していたが、離別・死別した」が22.3%となっている。

地区別では、近永地区で「結婚している」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「結婚している」「結婚していない」の割合が高く、女性は「結婚していたが、離別・死別した」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「結婚していない」、80歳以上で「結婚していたが、離別・死別した」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



2 今後の結婚について

【問 19 で「2～3」と答えた方におたずねします】

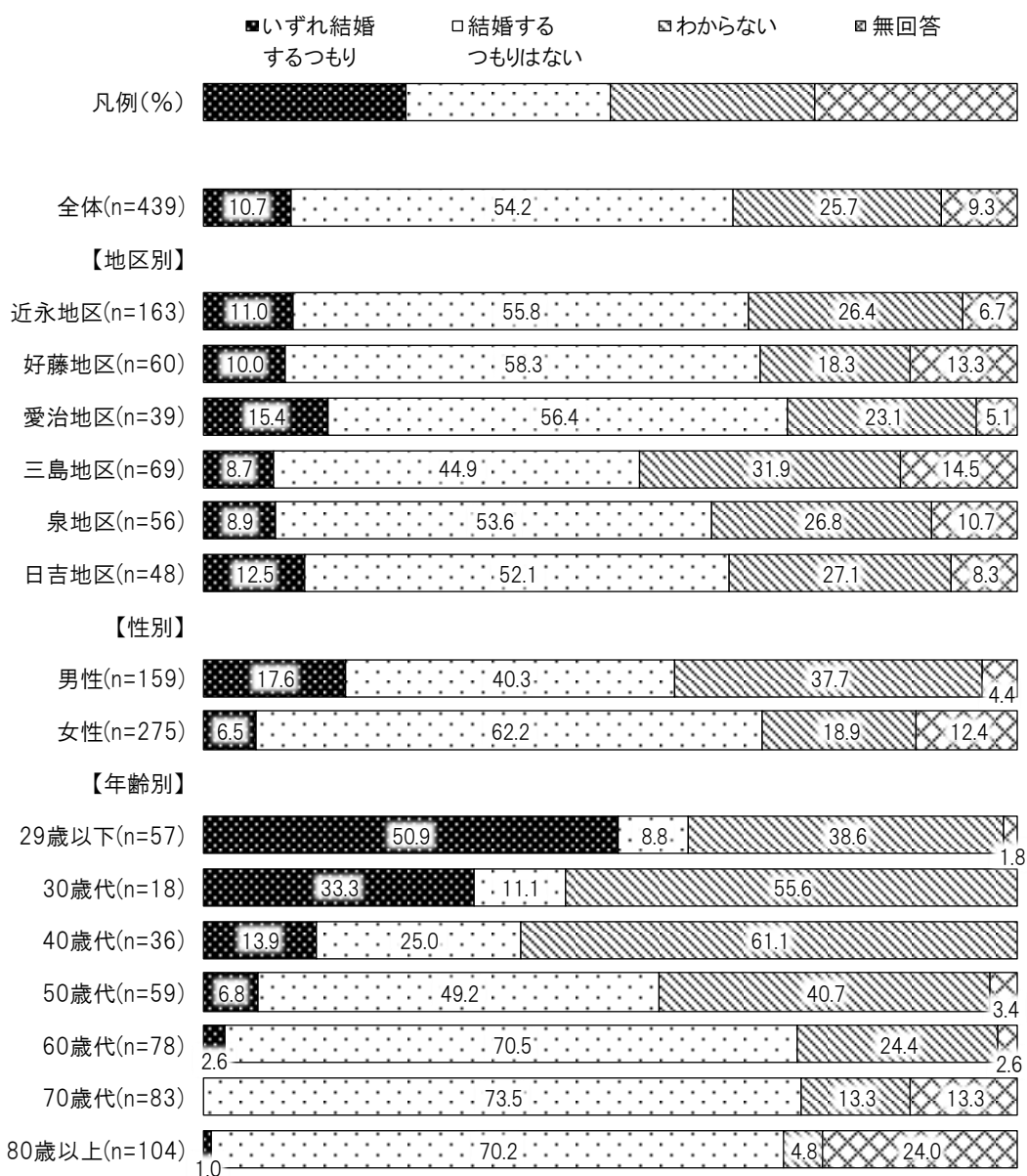
問 20 今後の結婚について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

今後の結婚については、「いずれ結婚するつもり」の割合が 10.7%、「結婚するつもりはない」が 54.2%、「わからない」が 25.7%となっている。

地区別では、愛治地区で「いずれ結婚するつもり」、三島地区で「わからない」の割合がそれぞれ他の地区に比べてやや高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「いずれ結婚するつもり」「わからない」の割合が高く、女性は「結婚するつもりはない」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど「いずれ結婚するつもり」の割合が増える傾向にあり、30～40 歳代で「わからない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



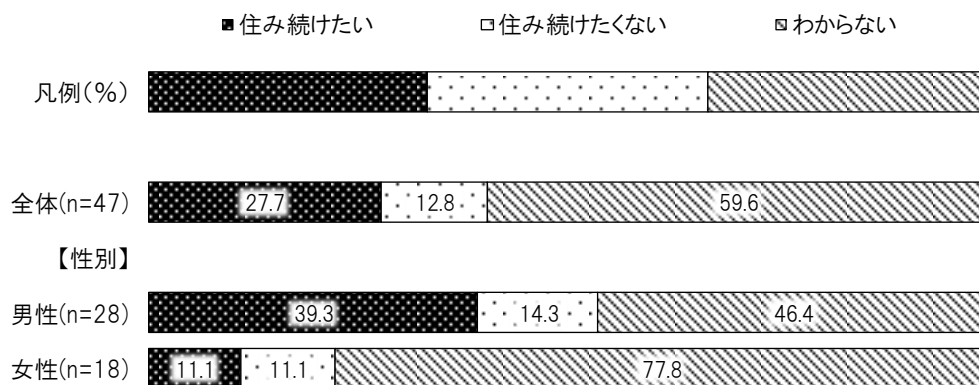
3 結婚後も鬼北町に住み続けることについて

【問 20 で「1」と答えた方におたずねします】

問 21 あなたは、結婚した後も鬼北町に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

結婚後も鬼北町に住み続けることについては、「住み続けたい」の割合が 27.7%、「住み続けたくない」が 12.8%、「わからない」が 59.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「住み続けたい」の割合が高く、女性は「わからない」の割合が男性を大きく上回っている。

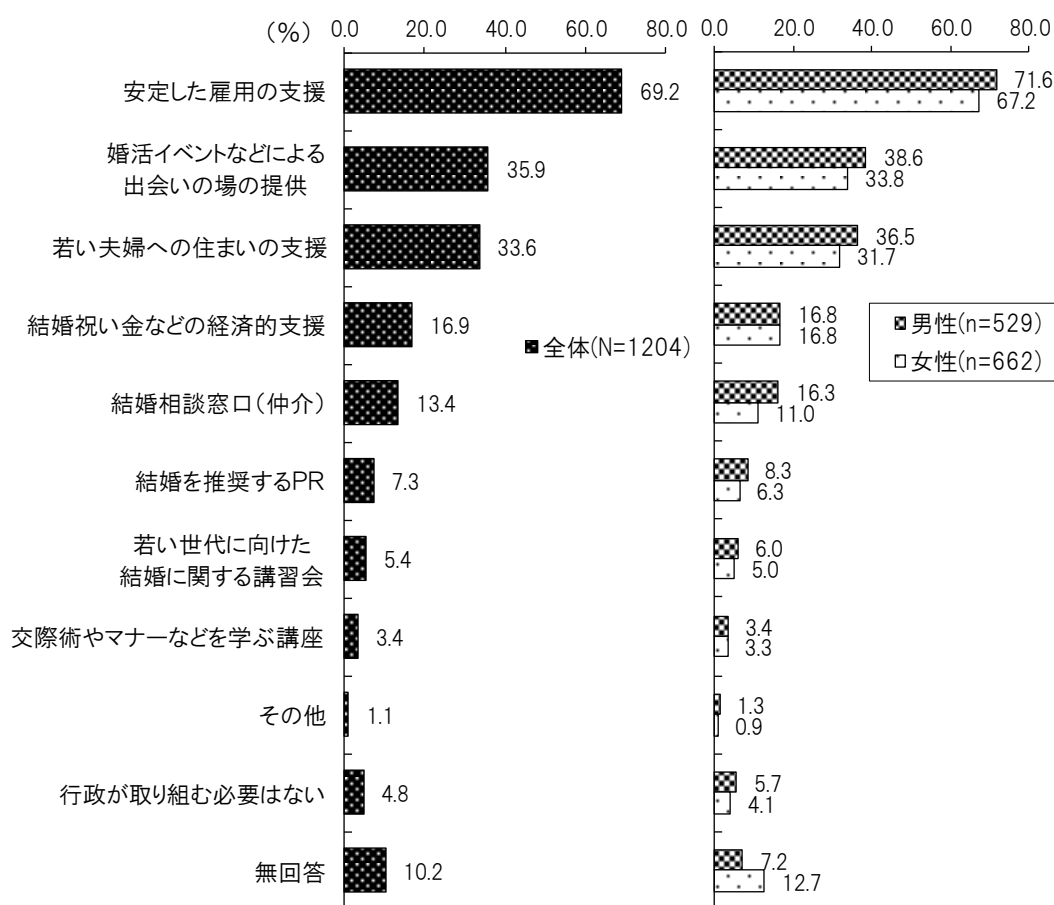


4 結婚支援事業として必要な取組

問 22 未婚者への結婚支援事業として、鬼北町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

結婚支援事業として必要な取組については、「安定した雇用の支援」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」（35.9%）、「若い夫婦への住まいの支援」（33.6%）、「結婚祝い金などの経済的支援」（16.9%）、「結婚相談窓口（仲介）」（13.4%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」「若い夫婦への住まいの支援」などの割合がやや高くなっている。



年齢別では、30 歳代で「若い夫婦への住まいの支援」「結婚祝い金などの経済的支援」、60 歳代で「安定した雇用の支援」、70 歳代で「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	安定した雇用の支援	婚活イベントなどによる出会いの場の提供	若い夫婦への住まいの支援	結婚祝い金などの経済的支援	結婚相談窓口（仲介）	結婚を推奨するPR	若い世代に向けた結婚に関する講習会	交際術やマナーなどを学ぶ講座	その他	行政が取り組む必要はない
全体(N=1204)	69.2	35.9	33.6	16.9	13.4	7.3	5.4	3.4	1.1	4.8
【年齢別】										
29歳以下(n=64)	67.2	25.0	43.8	28.1	9.4	1.6	6.3	3.1	0.0	4.7
30歳代(n=71)	73.2	28.2	54.9	39.4	5.6	2.8	0.0	1.4	1.4	7.0
40歳代(n=121)	69.4	34.7	40.5	27.3	7.4	4.1	3.3	4.1	0.8	6.6
50歳代(n=168)	70.8	32.1	38.1	17.3	11.3	6.0	4.2	2.4	1.8	8.3
60歳代(n=278)	77.0	38.5	34.5	15.5	13.7	7.9	4.0	5.0	0.4	4.3
70歳代(n=267)	68.9	43.1	27.0	9.4	18.4	10.9	7.1	2.2	0.7	4.1
80歳以上(n=224)	58.0	33.5	24.6	11.2	15.6	8.0	8.9	3.6	2.2	1.8

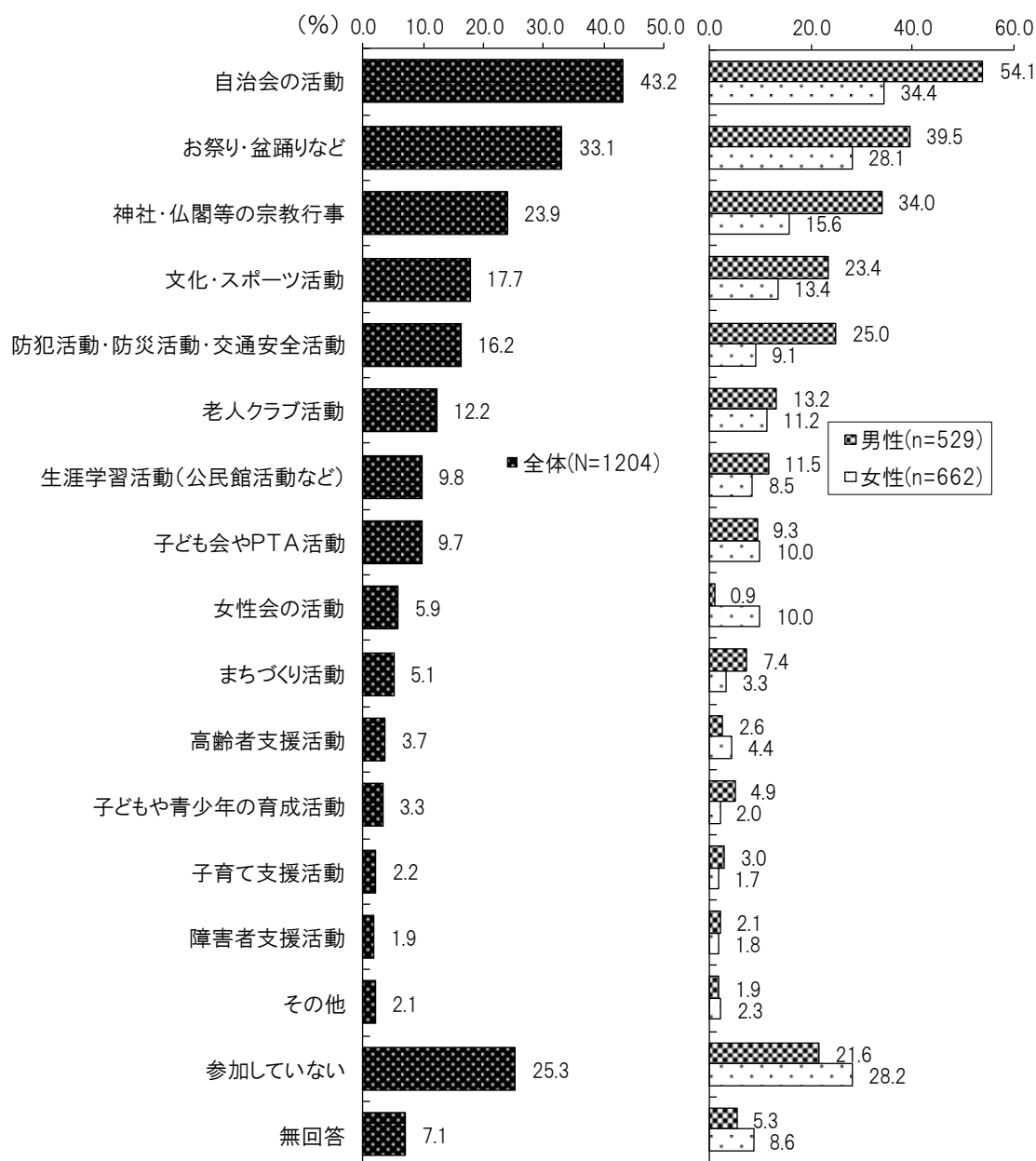
【４】これからの町づくりについて

1 地域活動への参加状況

問 23 あなたは、地域での活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

地域活動への参加状況については、「自治会の活動」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「お祭り・盆踊りなど」(33.1%)、「神社・仏閣等の宗教行事」(23.9%)、「文化・スポーツ活動」(17.7%)、「防犯活動・防災活動・交通安全活動」(16.2%)の順となっている。

性別では、男性は「自治会の活動」「神社・仏閣等の宗教行事」「防犯活動・防災活動・交通安全活動」などの割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「女性会の活動」「参加していない」の割合が高くなっている。



地区別では、愛治地区で「お祭り・盆踊りなど」「生涯学習活動（公民館活動など）」、三島地区で「老人クラブ活動」、泉地区で「自治会の活動」の割合がそれぞれ他の地区に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	自治会の活動	お祭り・盆踊りなど	神社・仏閣等の宗教行事	文化・スポーツ活動	防犯活動・防災活動・交通安全活動	老人クラブ活動	生涯学習活動（公民館活動など）	子ども会やPTA活動	女性会の活動	まちづくり活動	高齢者支援活動
全体(N=1204)	43.2	33.1	23.9	17.7	16.2	12.2	9.8	9.7	5.9	5.1	3.7
【地区別】											
近永地区(n=464)	39.0	27.2	14.4	15.9	12.5	7.8	6.5	11.4	3.7	5.4	3.9
好藤地区(n=148)	50.7	23.6	27.0	18.2	18.9	14.2	12.8	8.8	6.8	1.4	2.0
愛治地区(n=102)	47.1	44.1	30.4	17.6	22.5	20.6	18.6	12.7	6.9	8.8	2.9
三島地区(n=174)	40.8	42.5	32.2	22.4	18.4	24.1	10.3	7.5	7.5	4.6	2.3
泉地区(n=146)	53.4	38.4	24.7	15.1	20.5	8.2	7.5	6.2	6.2	6.2	5.5
日吉地区(n=159)	39.6	37.7	33.3	20.1	13.2	7.5	12.6	8.8	9.4	4.4	4.4

単位 (%)	子どもや青少年の育成活動	子育て支援活動	障害者支援活動	その他	参加していない
全体(N=1204)	3.3	2.2	1.9	2.1	25.3
【地区別】					
近永地区(n=464)	3.7	2.2	2.8	2.4	31.3
好藤地区(n=148)	2.7	2.0	1.4	1.4	23.0
愛治地区(n=102)	6.9	4.9	2.0	2.0	20.6
三島地区(n=174)	1.1	0.6	1.1	2.9	20.7
泉地区(n=146)	1.4	4.1	2.7	2.1	23.3
日吉地区(n=159)	4.4	1.3	0.0	1.3	19.5

年齢別では、29歳以下で「参加していない」、30～40歳代で「子ども会やPTA活動」、40歳代で「文化・スポーツ活動」、60～70歳代で「神社・仏閣等の宗教行事」、70歳代以上で「老人クラブ活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	自治会の活動	お祭り・盆踊りなど	神社・仏閣等の宗教行事	文化・スポーツ活動	防犯活動・防災活動・交通安全活動	老人クラブ活動	生涯学習活動（公民館活動など）	子ども会やPTA活動	女性会の活動	まちづくり活動	高齢者支援活動
全体(N=1204)	43.2	33.1	23.9	17.7	16.2	12.2	9.8	9.7	5.9	5.1	3.7
【年齢別】											
29歳以下(n=64)	14.1	28.1	10.9	10.9	9.4	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
30歳代(n=71)	36.6	49.3	11.3	18.3	12.7	0.0	5.6	26.8	0.0	2.8	1.4
40歳代(n=121)	51.2	52.9	13.2	33.1	21.5	0.8	9.1	45.5	2.5	7.4	0.0
50歳代(n=168)	53.0	44.6	22.0	19.0	20.8	0.6	8.9	9.5	8.9	4.8	0.6
60歳代(n=278)	57.6	37.8	31.7	20.1	21.9	4.7	10.8	2.5	6.5	3.6	2.5
70歳代(n=267)	48.7	30.0	34.1	17.6	17.2	25.8	13.9	3.7	9.0	8.6	6.7
80歳以上(n=224)	18.3	8.5	16.5	7.6	4.5	26.8	8.9	2.7	4.9	4.0	7.1

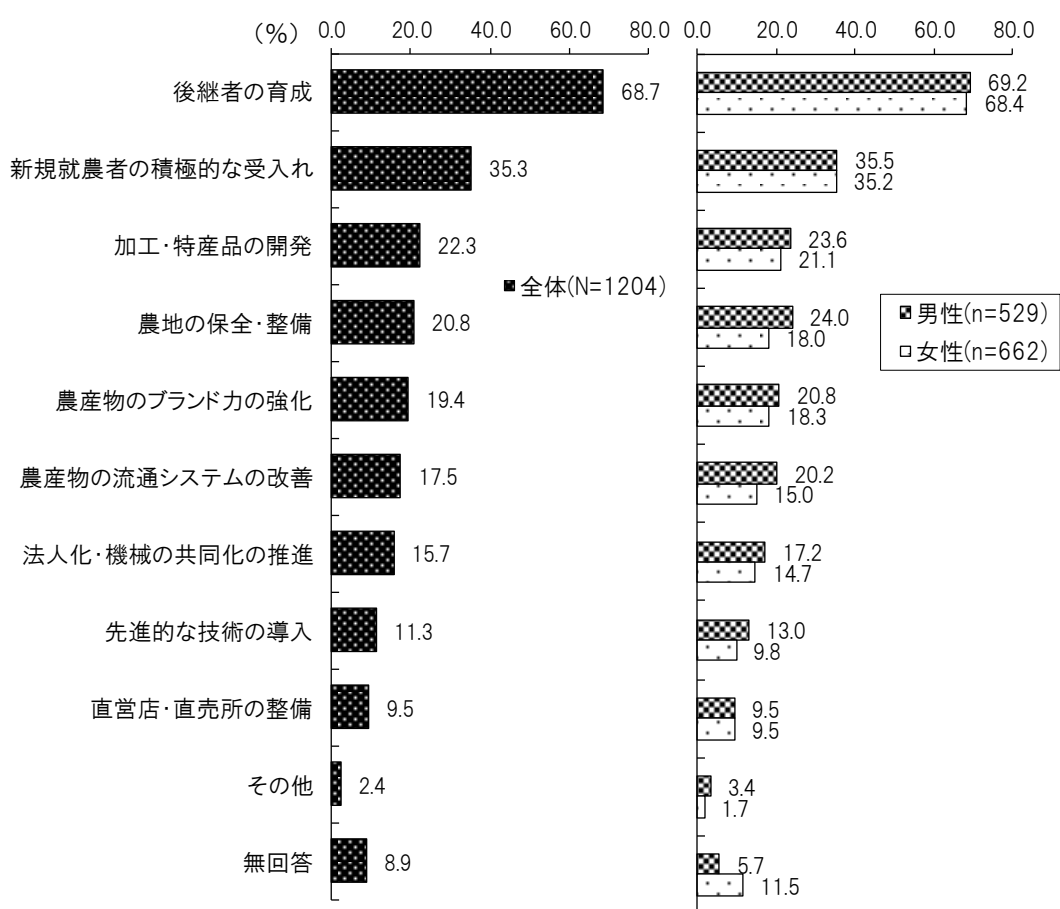
単位 (%)	子どもや青少年の育成活動	子育て支援活動	障害者支援活動	その他	参加していない
全体(N=1204)	3.3	2.2	1.9	2.1	25.3
【年齢別】					
29歳以下(n=64)	0.0	0.0	0.0	0.0	51.6
30歳代(n=71)	0.0	2.8	2.8	0.0	21.1
40歳代(n=121)	8.3	3.3	0.0	2.5	15.7
50歳代(n=168)	1.8	1.2	2.4	1.8	20.2
60歳代(n=278)	3.2	2.2	1.4	2.2	21.2
70歳代(n=267)	4.5	3.4	4.1	2.2	21.0
80歳以上(n=224)	2.2	1.8	0.9	3.1	37.5

2 農林業振興のため力を入れるべきこと

問 24 あなたは、鬼北町の農林業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

農林業振興のため力を入れるべきことについては、「後継者の育成」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「新規就農者の積極的な受入れ」(35.3%)、「加工・特産品の開発」(22.3%)、「農地の保全・整備」(20.8%)、「農産物のブランド力の強化」(19.4%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「農地の保全・整備」「農産物の流通システムの改善」などの割合が高くなっている。



地区別では、三島地区で「後継者の育成」「新規就農者の積極的な受入れ」などの割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30 歳代以下で「後継者の育成」、40 歳代で「先進的な技術の導入」、60～70 歳代で「農地の保全・整備」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高く、若い年齢層ほど「農産物のブランド力の強化」の割合が増える傾向にある。

単位 (%)	後継者の育成	新規就農者の積極的な受入れ	加工・特産品の開発	農地の保全・整備	農産物のブランド力の強化	農産物の流通システムの改善	法人化・機械の共同化の推進	先進的な技術の導入	直営店・直売所の整備	その他
全体(N=1204)	68.7	35.3	22.3	20.8	19.4	17.5	15.7	11.3	9.5	2.4
【地区別】										
近永地区(n=464)	68.3	35.1	23.3	18.5	21.3	15.9	15.9	11.2	9.9	4.1
好藤地区(n=148)	66.2	37.8	18.2	22.3	21.6	20.9	20.9	12.2	12.2	0.7
愛治地区(n=102)	68.6	30.4	16.7	23.5	20.6	21.6	9.8	13.7	7.8	2.9
三島地区(n=174)	75.3	44.8	27.6	23.0	16.1	15.5	14.9	8.6	7.5	2.3
泉地区(n=146)	67.1	34.2	17.8	22.6	18.5	15.8	16.4	11.6	10.3	0.7
日吉地区(n=159)	67.3	28.9	24.5	19.5	15.1	19.5	14.5	11.3	8.2	0.0
【年齢別】										
29歳以下(n=64)	76.6	29.7	18.8	18.8	32.8	18.8	7.8	14.1	4.7	0.0
30歳代(n=71)	76.1	40.8	22.5	8.5	31.0	21.1	9.9	14.1	15.5	4.2
40歳代(n=121)	71.9	38.8	24.8	9.9	26.4	18.2	19.0	21.5	9.9	2.5
50歳代(n=168)	67.9	39.3	25.0	17.9	23.8	14.3	20.8	9.5	6.5	3.0
60歳代(n=278)	68.3	37.8	26.3	24.8	18.0	22.3	18.0	9.4	9.4	1.4
70歳代(n=267)	66.7	40.4	21.3	27.7	14.2	17.2	16.5	8.2	10.9	1.1
80歳以上(n=224)	66.1	22.3	16.1	19.2	12.9	11.6	10.3	10.7	9.4	4.9

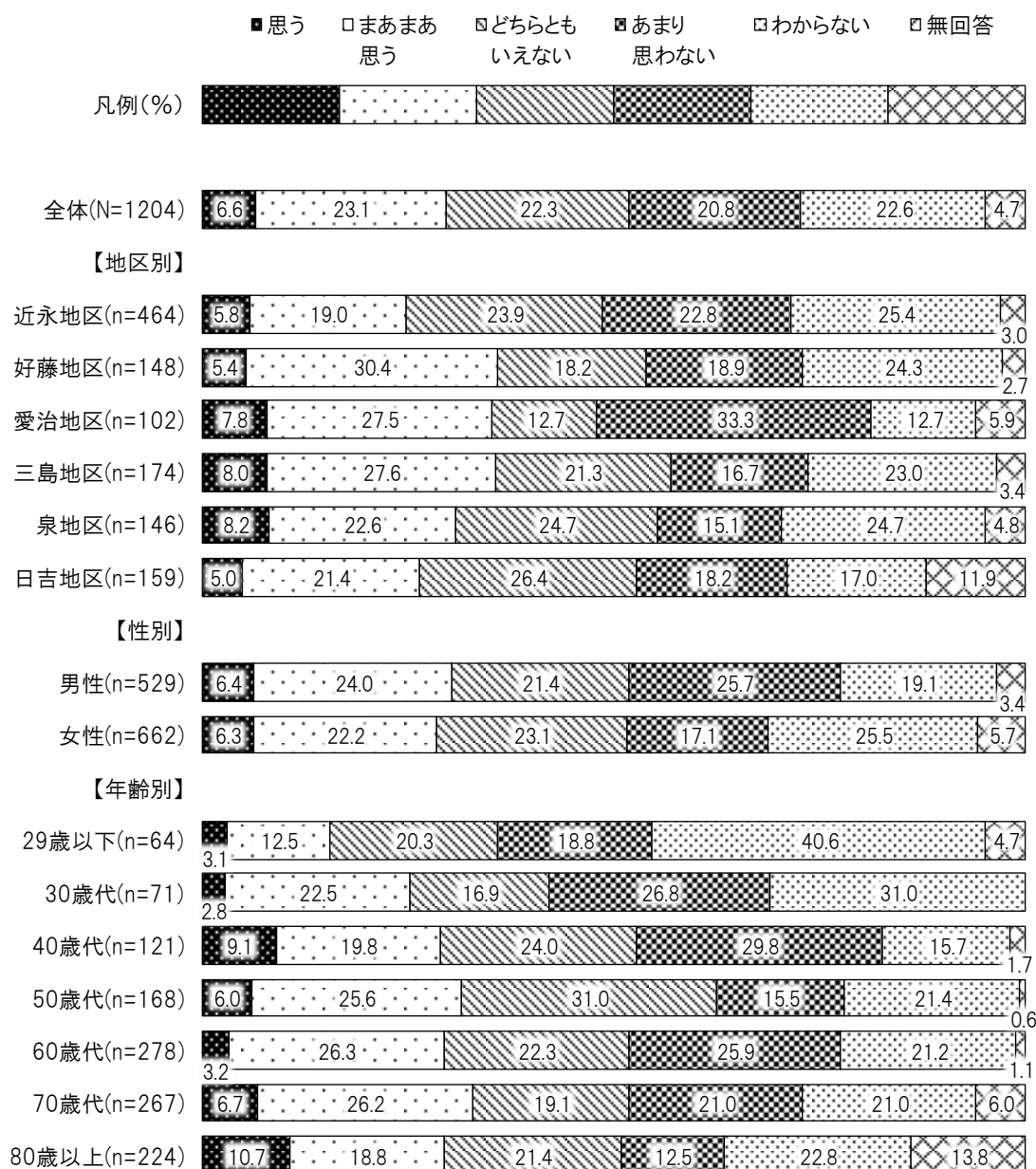
3 協働のまちづくりについて

問 25 鬼北町では、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。（○は1つ）

協働のまちづくりについては、取り組んでいると「思う」が6.6%、「まあまあ思う」が23.1%で、合計約3割（29.7%）が『思う』と回答している。一方、「あまり思わない」が20.8%、「どちらともいえない」が22.3%となっている。

地区別では、愛治地区で「あまり思わない」の割合が他の地区を大きく上回っている。性別では、男性は女性に比べ「あまり思わない」の割合が高く、女性は「わからない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30歳代以下で「わからない」、50歳代で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

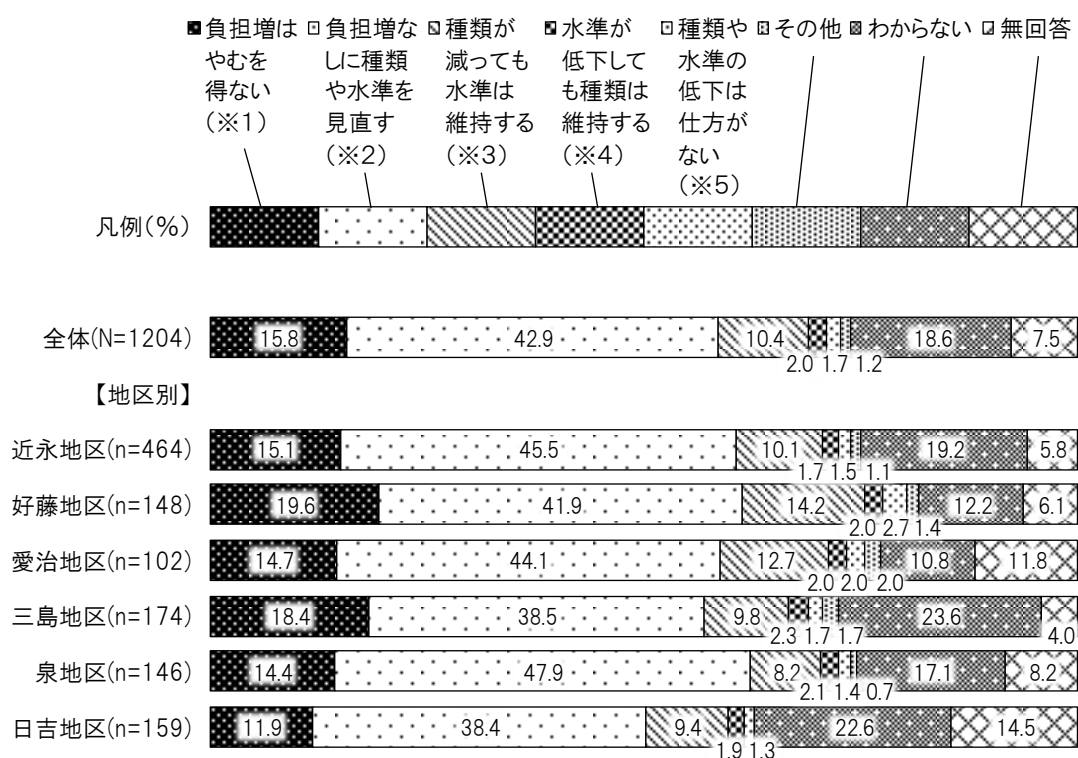


4 今後の行政サービスのあり方

問 26 これからの町づくりは、限られた財源をより効果的に配分し活用していくことが求められています。鬼北町においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。
(○は1つ)

今後の行政サービスのあり方については、「利用者の負担を増やすことなく、サービスの重点化を図り、種類や水準を見直す」の割合が42.9%と最も高く、次いで「サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない」(15.8%)、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持する」(10.4%)の順となっている。

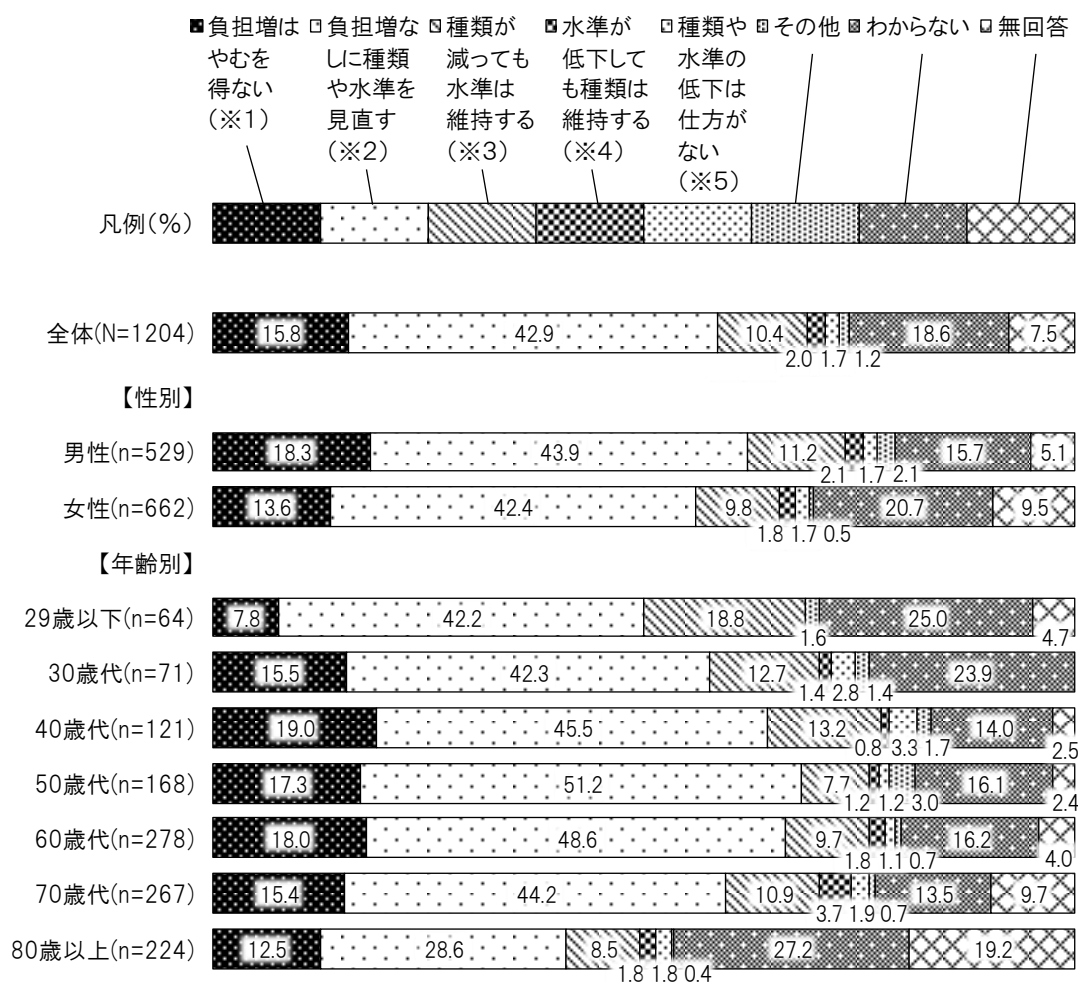
地区別では、好藤地区や三島地区で「サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。



※1: サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない
 ※2: 利用者の負担を増やすことなく、サービスの重点化を図り、種類や水準を見直す
 ※3: サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持する
 ※4: サービスの水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持する
 ※5: サービスの種類が減り、水準も低下するのは仕方ない

性別では、男性は女性に比べ「サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない」の割合がやや高く、女性は「わからない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下で「サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない」の割合が他の年齢層に比べて低く、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持する」の割合が高くなっている。



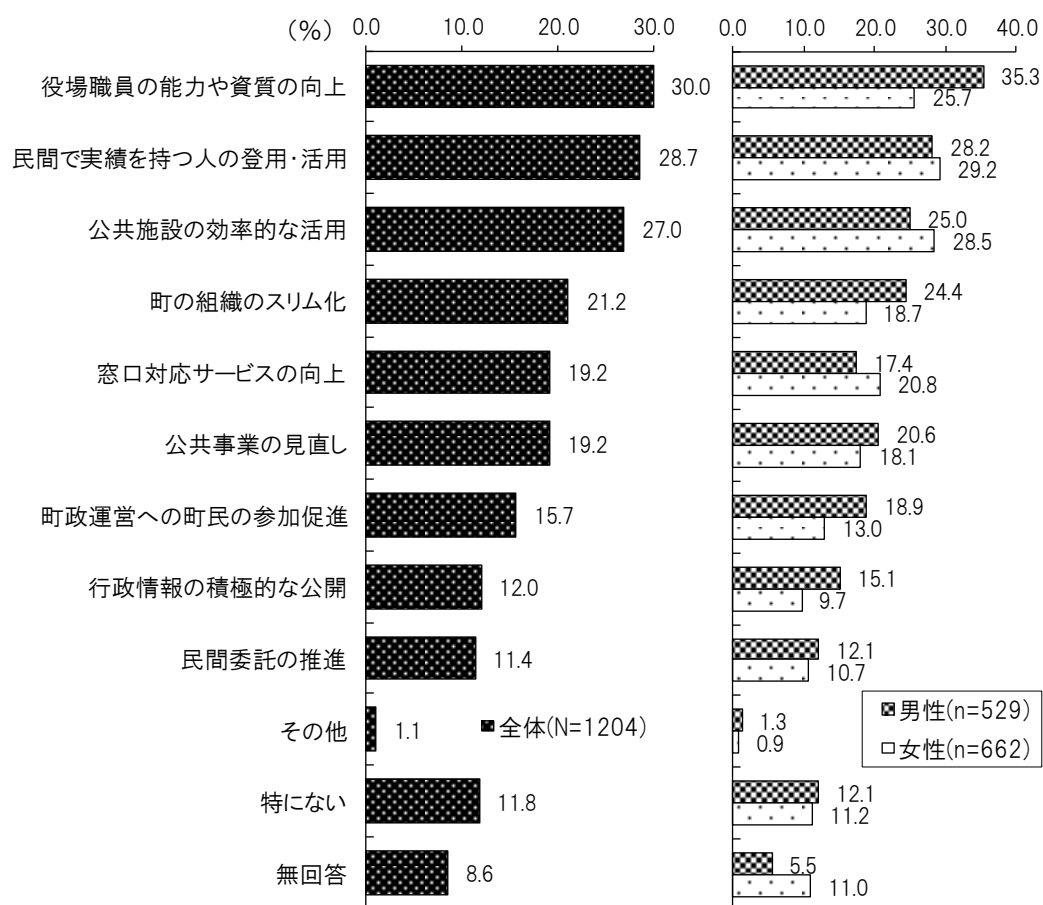
- ※1：サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない
 ※2：利用者の負担を増やすことなく、サービスの重点化を図り、種類や水準を見直す
 ※3：サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持する
 ※4：サービスの水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持する
 ※5：サービスの種類が減り、水準も低下するのは仕方ない

5 行政運営について取り組むべきこと

問 27 あなたは、鬼北町の行政運営について、今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（〇は3つまで）

行政運営について取り組むべきことについては、「役場職員の能力や資質の向上」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「民間で実績を持つ人の登用・活用」(28.7%)、「公共施設の効率的な活用」(27.0%)、「町の組織のスリム化」(21.2%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「役場職員の能力や資質の向上」「町の組織のスリム化」「町政運営への町民の参加促進」などの割合が高くなっている。



地区別では、泉地区で「役場職員の能力や資質の向上」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29 歳以下で「窓口対応サービスの向上」「特にない」、40 歳代で「民間で実績を持つ人の登用・活用」「民間委託の推進」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

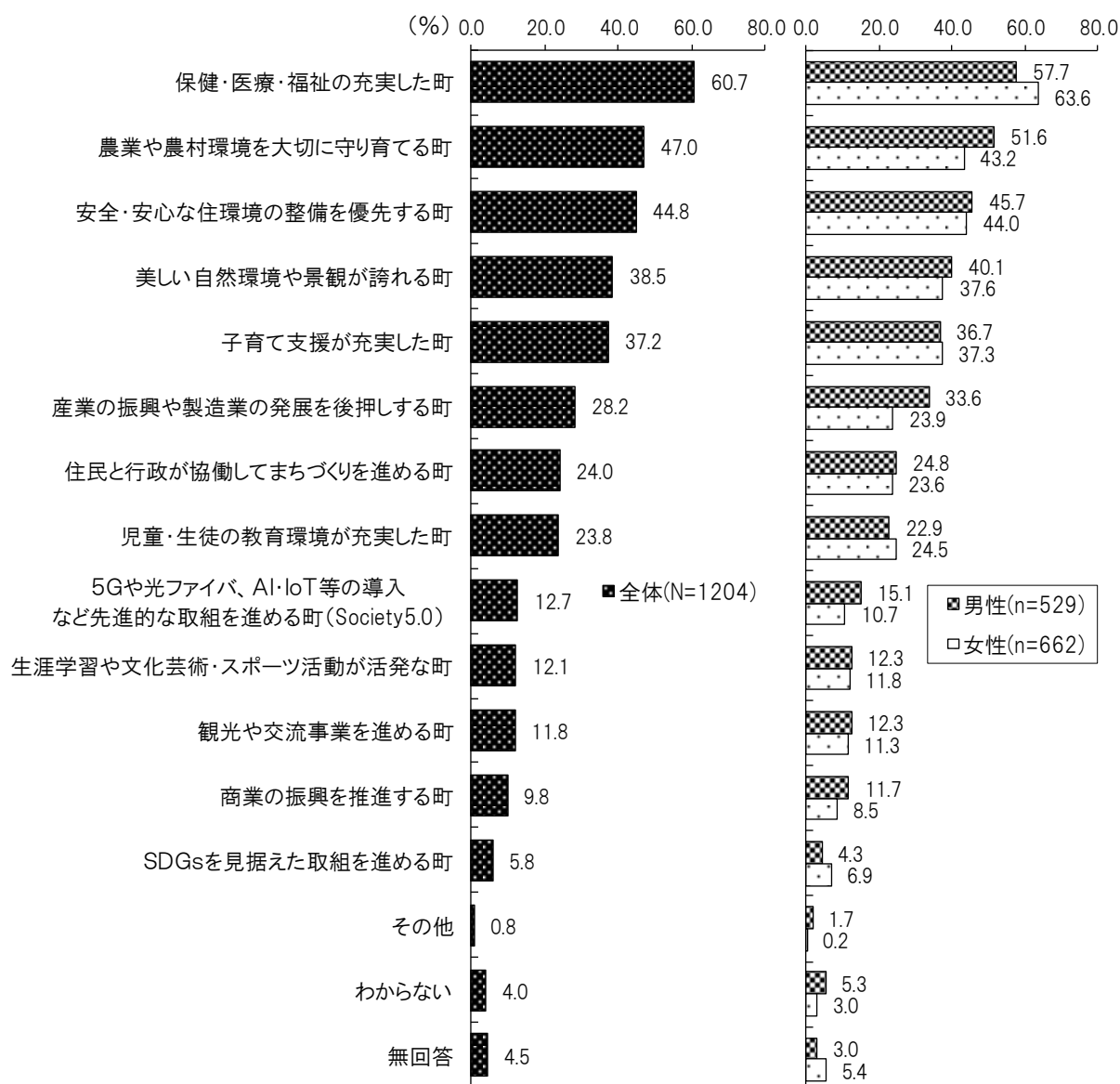
単位 (%)	役場職員の能力や資質の向上	民間で実績を持つ人の登用・活用	公共施設の効率的な活用	町の組織のスリム化	窓口対応サービスの向上	公共事業の見直し	町政運営への町民の参加促進	行政情報の積極的な公開	民間委託の推進	その他	特にない
全体(N=1204)	30.0	28.7	27.0	21.2	19.2	19.2	15.7	12.0	11.4	1.1	11.8
【地区別】											
近永地区(n=464)	28.4	28.7	27.4	22.8	20.0	19.8	15.3	12.3	12.1	0.6	13.1
好藤地区(n=148)	30.4	32.4	24.3	25.7	14.9	17.6	18.2	11.5	12.8	2.7	11.5
愛治地区(n=102)	31.4	23.5	27.5	16.7	18.6	13.7	17.6	11.8	12.7	0.0	9.8
三島地区(n=174)	26.4	29.3	29.9	22.4	23.0	23.0	14.9	12.1	12.1	1.1	10.3
泉地区(n=146)	37.0	28.1	26.7	19.9	22.6	19.9	13.7	14.4	5.5	2.1	8.9
日吉地区(n=159)	30.8	28.3	25.2	16.4	14.5	17.6	14.5	9.4	11.9	0.6	12.6
【年齢別】											
29歳以下(n=64)	15.6	20.3	26.6	18.8	32.8	17.2	4.7	12.5	10.9	0.0	21.9
30歳代(n=71)	33.8	23.9	32.4	25.4	18.3	21.1	19.7	4.2	8.5	4.2	12.7
40歳代(n=121)	33.1	35.5	30.6	26.4	17.4	23.1	12.4	7.4	19.0	0.8	11.6
50歳代(n=168)	30.4	30.4	29.8	19.6	19.6	22.0	15.5	8.3	14.3	1.2	11.3
60歳代(n=278)	35.6	32.4	28.8	23.4	18.7	15.8	16.9	16.2	11.9	0.7	9.0
70歳代(n=267)	32.6	28.8	27.0	22.8	16.1	19.9	16.5	14.6	7.9	0.7	10.1
80歳以上(n=224)	21.4	23.2	19.2	14.7	20.1	18.8	16.5	11.6	9.4	1.3	13.8

6 鬼北町の将来像

問 28 あなたは、今後、鬼北町はどのような町づくりに取り組むべきだと思いますか。（〇は5つまで）

鬼北町の将来像については、「保健・医療・福祉の充実した町」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「農業や農村環境を大切に守り育てる町」（47.0%）、「安全・安心な住環境の整備を優先する町」（44.8%）、「美しい自然環境や景観が誇れる町」（38.5%）、「子育て支援が充実した町」（37.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「農業や農村環境を大切に守り育てる町」「産業の振興や製造業の発展を後押しする町」などの割合が高く、女性は「保健・医療・福祉の充実した町」の割合が男性を上回っている。



地区別では、近永地区や愛治地区で「子育て支援が充実した町」、愛治地区や三島地区で「住民と行政が協働してまちづくりを進める町」、三島地区で「産業の振興や製造業の発展を後押しする町」、近永地区で「商業の振興を推進する町」の割合がそれぞれ他の地区に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	た保健・医療・福祉の充実した町	り農業や農村環境を大切に守る町	を安全・安心な住環境の整備を優先する町	れる美しい自然環境や景観が誇れる町	子育て支援が充実した町	を産業の振興や製造業の発展を後押しする町	づ住民と行政が協働してまちづくりを進める町	実児童・生徒の教育環境が充実した町	(S o c i e t y 5 . 0) な取組を進める町	5 G や光ファイバ、AI 的・IoT 等の導入など先進的・	ポ生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な町
全体(N=1204)	60.7	47.0	44.8	38.5	37.2	28.2	24.0	23.8		12.7	12.1
【地区別】											
近永地区(n=464)	58.8	43.3	44.8	39.4	41.6	28.2	22.6	25.2		14.9	9.9
好藤地区(n=148)	60.1	52.0	45.3	39.9	31.8	28.4	20.9	23.0		8.8	17.6
愛治地区(n=102)	61.8	49.0	47.1	36.3	41.2	31.4	30.4	24.5		17.6	11.8
三島地区(n=174)	63.8	51.1	48.9	37.9	37.9	35.1	28.2	19.0		15.5	13.2
泉地区(n=146)	63.7	43.2	51.4	37.7	30.1	23.3	22.6	21.2		11.0	15.1
日吉地区(n=159)	62.3	50.3	33.3	38.4	30.8	23.9	23.9	27.7		5.0	9.4

単位 (%)	観光や交流事業を進める町	商業の振興を推進する町	進める町 S D G s を見据えた取組を	その他	わからない
全体(N=1204)	11.8	9.8	5.8	0.8	4.0
【地区別】					
近永地区(n=464)	12.7	13.8	6.0	0.6	5.6
好藤地区(n=148)	9.5	4.1	9.5	2.0	2.0
愛治地区(n=102)	11.8	7.8	4.9	0.0	2.9
三島地区(n=174)	13.2	7.5	6.3	0.6	2.3
泉地区(n=146)	13.7	7.5	5.5	1.4	2.7
日吉地区(n=159)	7.5	9.4	2.5	0.0	5.0

年齢別では、29歳以下で「観光や交流事業を進める町」、30～40歳代で「子育て支援が充実した町」「児童・生徒の教育環境が充実した町」、40歳代で「5Gや光ファイバ、AI・IoT等の導入など先進的な取組を進める町（Society5.0）」、60歳代で「産業の振興や製造業の発展を後押しする町」、70歳代で「農業や農村環境を大切に守り育てる町」「住民と行政が協働してまちづくりを進める町」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	保健・医療・福祉の充実した町	農業や農村環境を大切に守り育てる町	安全・安心な住環境の整備を優先する町	美しい自然環境や景観が誇れる町	子育て支援が充実した町	産業の振興や製造業の発展を後押しする町	住民と行政が協働してまちづくりを進める町	児童・生徒の教育環境が充実した町	5Gや光ファイバ、AI・IoT等の導入など先進的な取組を進める町 (Society 5.0)	生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な町
全体(N=1204)	60.7	47.0	44.8	38.5	37.2	28.2	24.0	23.8	12.7	12.1
【年齢別】										
29歳以下(n=64)	45.3	34.4	45.3	48.4	34.4	18.8	12.5	25.0	25.0	20.3
30歳代(n=71)	53.5	33.8	50.7	39.4	67.6	23.9	14.1	39.4	22.5	19.7
40歳代(n=121)	53.7	38.8	38.0	45.5	47.1	22.3	17.4	34.7	32.2	11.6
50歳代(n=168)	61.9	45.8	46.4	35.7	39.3	26.8	22.6	22.6	13.7	7.7
60歳代(n=278)	64.0	46.8	45.7	34.5	38.5	35.3	26.3	20.9	10.8	11.2
70歳代(n=267)	65.5	56.9	48.3	40.4	30.0	30.3	32.2	21.0	6.0	12.4
80歳以上(n=224)	61.6	48.7	40.2	36.2	27.7	25.9	22.8	20.1	5.4	11.6

単位 (%)	観光や交流事業を進める町	商業の振興を推進する町	S D G sを見据えた取組を進める町	その他	わからない
全体(N=1204)	11.8	9.8	5.8	0.8	4.0
【年齢別】					
29歳以下(n=64)	29.7	17.2	7.8	0.0	4.7
30歳代(n=71)	19.7	18.3	2.8	0.0	0.0
40歳代(n=121)	18.2	16.5	9.1	1.7	1.7
50歳代(n=168)	14.3	10.1	7.1	3.6	3.6
60歳代(n=278)	7.2	7.2	7.6	0.7	4.3
70歳代(n=267)	9.4	8.6	5.6	0.0	3.4
80歳以上(n=224)	7.1	6.3	1.8	0.0	7.1

【5】町づくりの満足度と重要度について

1 各施策の満足度と重要度

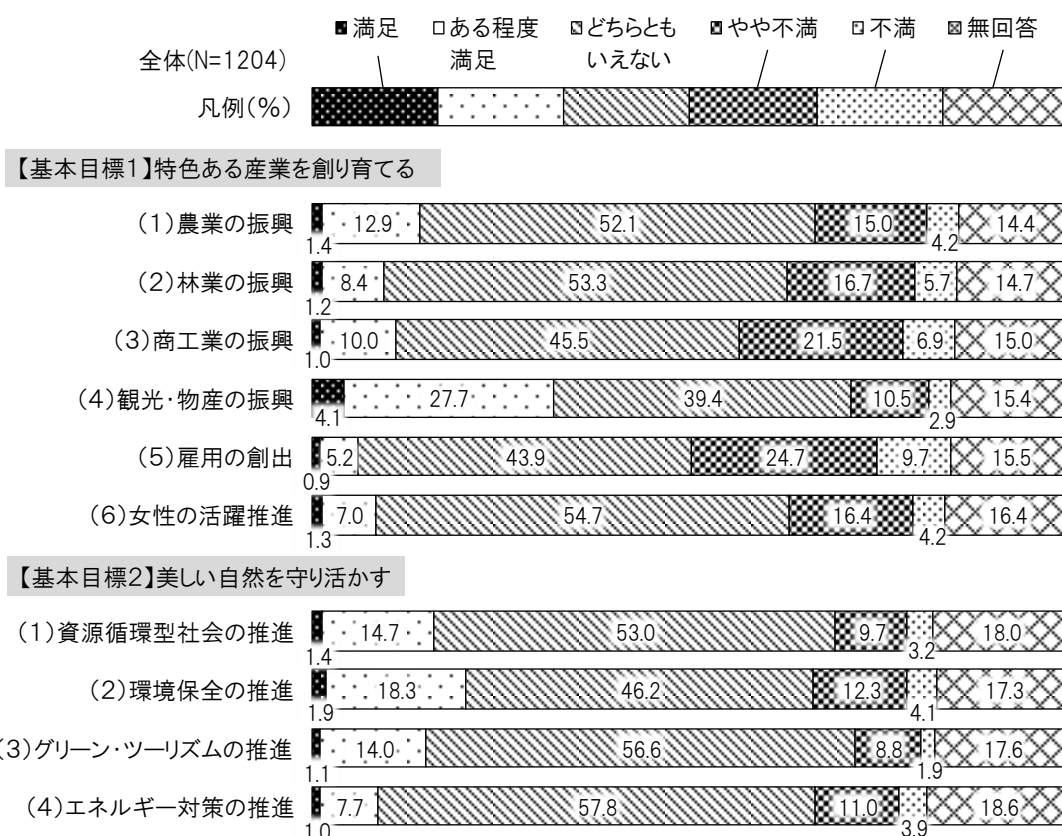
問 29 次にあげる鬼北町の各施策についておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思えますか。（○はそれぞれ1つずつ）

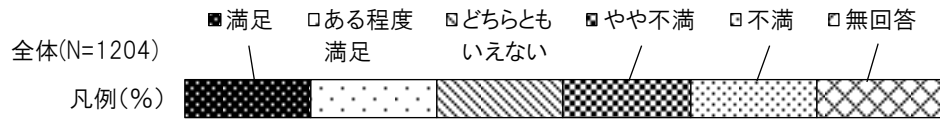
（1）満足度

各施策 30 項目について、現在の満足度を5段階評価で質問したところ、「満足」「ある程度満足」の合計割合が最も高かったのは「【4】（1）防災・減災対策」（36.8%）で、以下「【4】（7）上下水道の整備・保守」（34.7%）、「【3】（1）地域保健・医療体制の充実」（33.8%）、「【3】（3）高齢者福祉の充実」（32.2%）、「【1】（4）観光・物産の振興」（31.8%）、「【4】（8）交通安全・防犯対策」（29.4%）、「【3】（2）子育て支援策の充実」（27.8%）、「【5】（1）学校教育の充実」（26.9%）の順となっている。

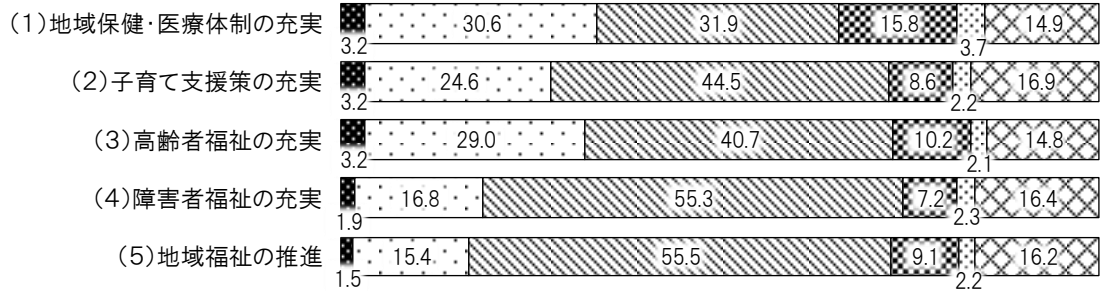
一方、「不満」「やや不満」の合計割合が最も高かったのは、「【1】（5）雇用の創出」（34.4%）であり、次いで「【4】（4）交通環境の充実」（32.5%）、「【1】（3）商工業の振興」（28.4%）、「【4】（5）空き家対策」（26.9%）、「【1】（2）林業の振興」（22.4%）、「【1】（6）女性の活躍推進」（20.6%）、「【3】（1）地域保健・医療体制の充実」（19.5%）、「【1】（1）農業の振興」（19.2%）の順となっている。

「【3】（1）地域保健・医療体制の充実」は、満足度が高い一方で、不満も比較的高くなっている。

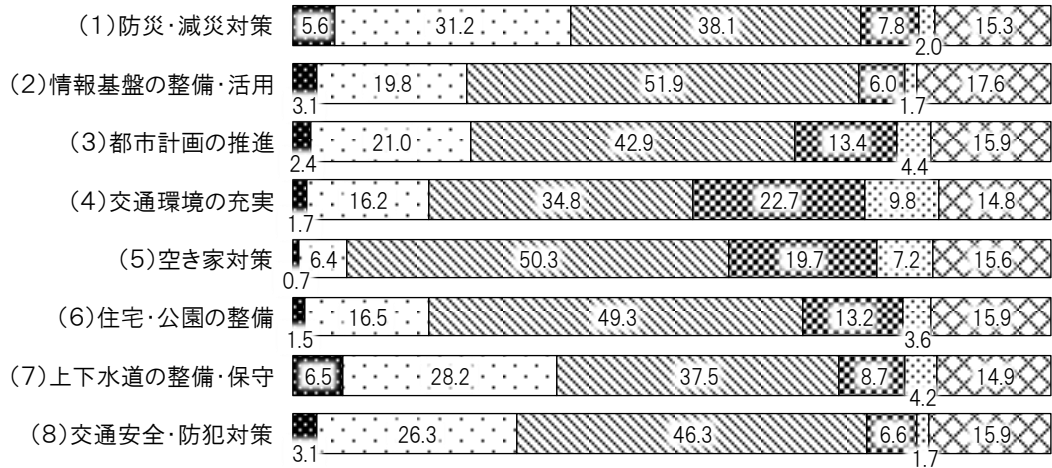




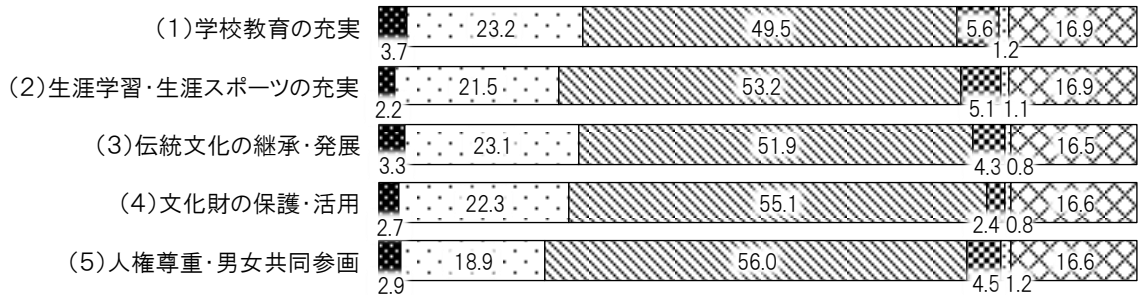
【基本目標3】福祉の充実で安心生活を確保する



【基本目標4】整った生活インフラで快適生活を守る



【基本目標5】充実した教育環境で心豊かな人を育む



【基本目標6】人々のつながりを深め、ともに行動する



【満足度／平均評定値による集計】

満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「満足度」については「満足」「ある程度満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「満足」に＋10点、「ある程度満足」に＋5点、「やや不満」に－5点、「不満」に－10点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

$$\frac{【（「満足」の回答件数）\times 10（点）+（「ある程度満足」の回答件数）\times 5（点）+（「やや不満」の回答件数）\times -5（点）+（「不満」の回答件数）\times -10（点）+（「どちらともいえない」の回答件数）\times 0（点）】}{【回答者件数 - 無回答件数】}$$

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、満足度評価が最も高い施策は「【4】（1）防災・減災対策」（1.80）で、以下「【5】（3）伝統文化の継承・発展」「【5】（4）文化財の保護・活用」（各1.42）、「【4】（7）上下水道の整備・保守」（1.40）、「【5】（1）学校教育の充実」（1.37）の順となっている。

一方、相対的に満足度評価が低い施策としては、「【1】（5）雇用の創出」（-2.19）、「【4】（5）空き家対策」（-1.56）、「【1】（3）商工業の振興」（-1.37）、「【4】（4）交通環境の充実」（-1.33）、「【1】（2）林業の振興」（-1.02）などがあげられる。

30項目中で平均評定値がプラス評価だったのは21項目、マイナス評価だったのは9項目となっている。

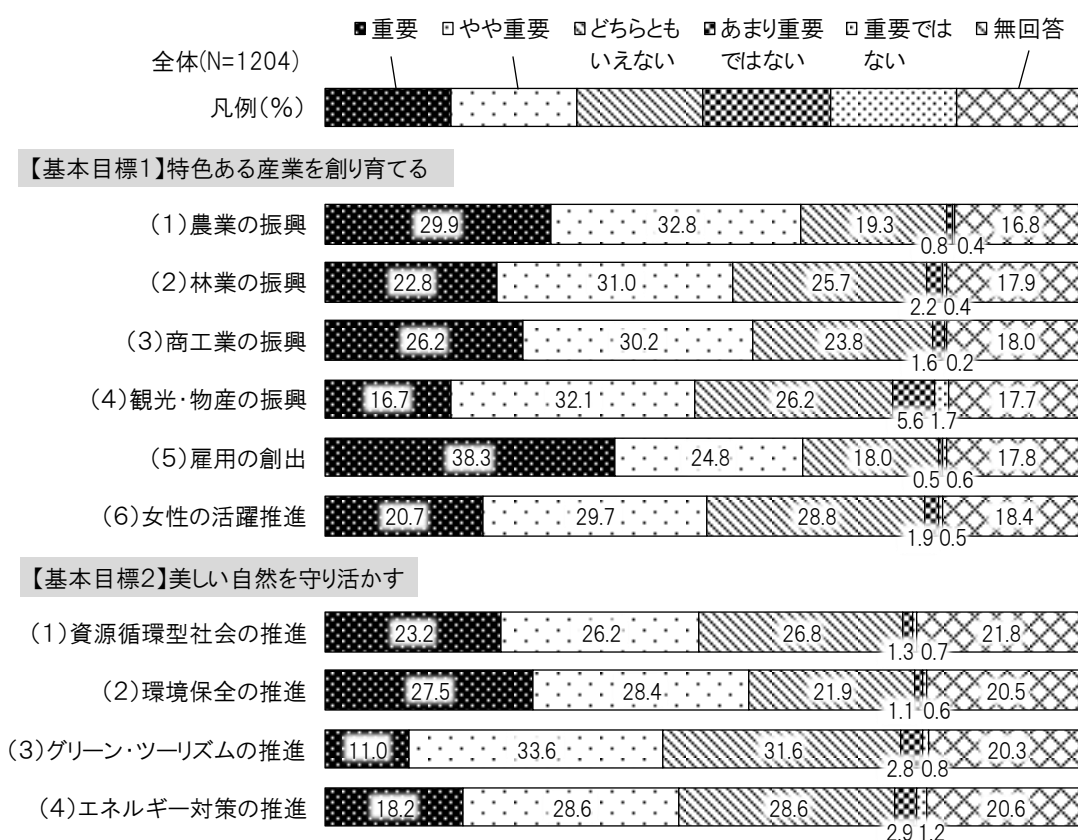
低い ←————→ 高い

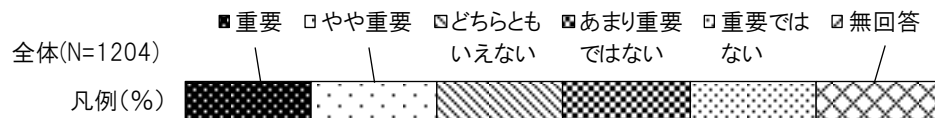


(2) 重要度

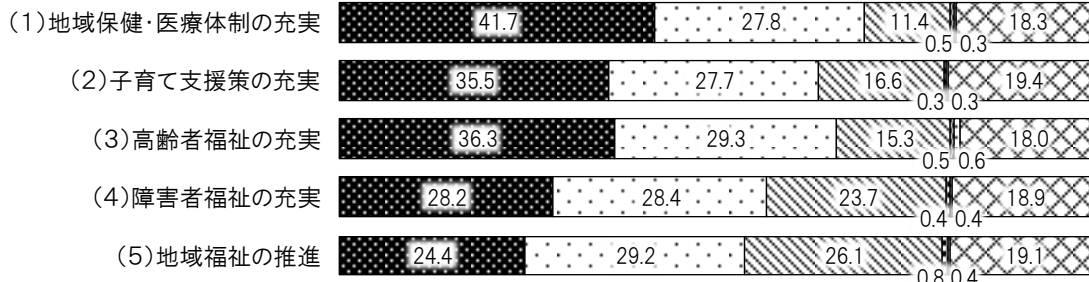
各施策 30 項目について、現在の重要度を 5 段階評価で質問したところ、「重要」「やや重要」の合計割合が最も高かったのは「【3】(1) 地域保健・医療体制の充実」(69.5%)で、以下「【4】(1) 防災・減災対策」(66.2%)、「【3】(3) 高齢者福祉の充実」(65.6%)、「【4】(4) 交通環境の充実」(64.2%)、「【3】(2) 子育て支援策の充実」(63.2%)、「【1】(5) 雇用の創出」(63.1%)、「【1】(1) 農業の振興」(62.7%)、「【4】(7) 上下水道の整備・保守」(61.7%)、「【4】(8) 交通安全・防犯対策」(57.9%)、「【5】(1) 学校教育の充実」(57.0%) の順となっている。

一方、「重要ではない」「あまり重要ではない」の合計割合が最も高かったのは、「【1】(4) 観光・物産の振興」(7.3%)であり、次いで「【4】(3) 都市計画の推進」(5.5%)、「【2】(4) エネルギー対策の推進」(4.1%)、「【2】(3) グリーン・ツーリズムの推進」(3.6%)、「【4】(6) 住宅・公園の整備」(3.5%) の順となっている。

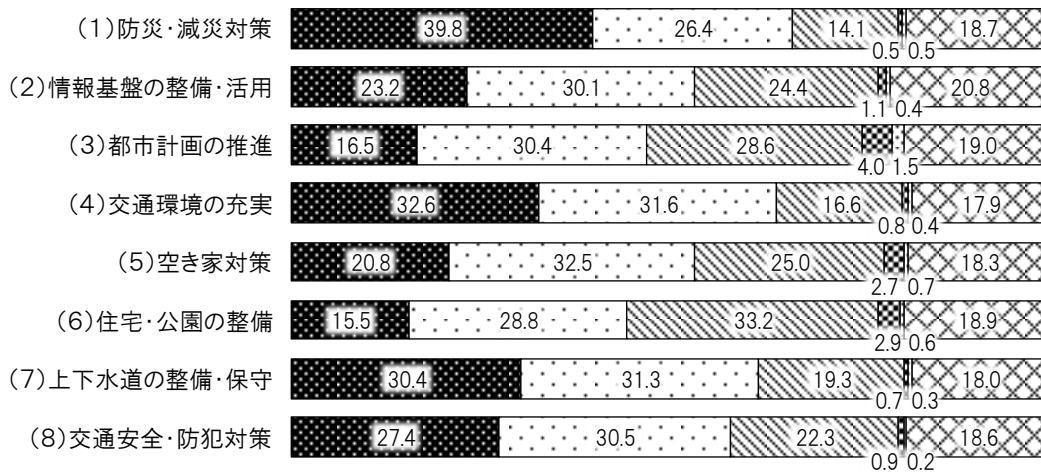




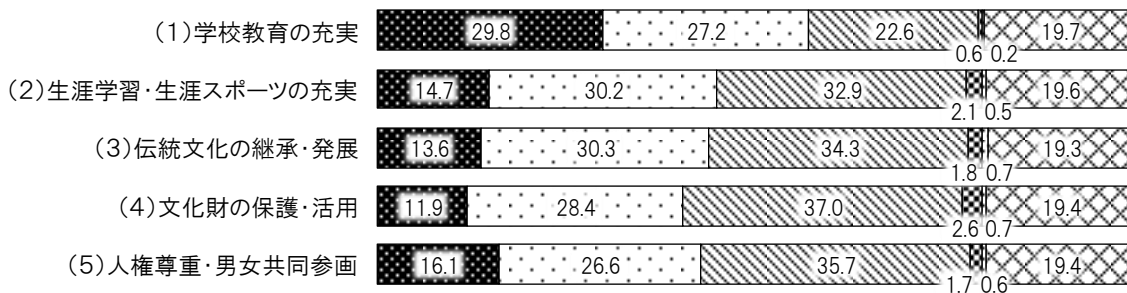
【基本目標3】福祉の充実で安心生活を確保する



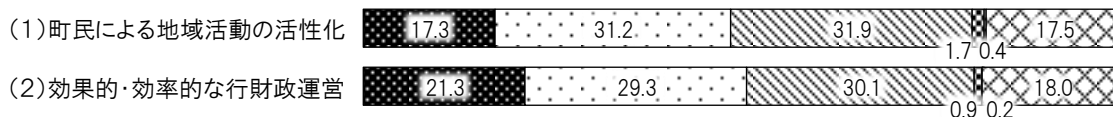
【基本目標4】整った生活インフラで快適生活を守る



【基本目標5】充実した教育環境で心豊かな人を育む



【基本目標6】人々のつながりを深め、ともに行動する



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「重要度」については「重要」「やや重要」への回答とともに、「あまり重要ではない」「重要ではない」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をよりの確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「重要」に＋10点、「やや重要」に＋5点、「あまり重要ではない」に－5点、「重要ではない」に－10点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、

【(「重要」の回答件数)×10(点)+(「やや重要」の回答件数)×5(点)+(「あまり重要ではない」の回答件数)×－5(点)+(「重要ではない」の回答件数)×－10(点)+(「どちらともいえない」の回答件数)×0(点)]÷【回答者件数－無回答件数】

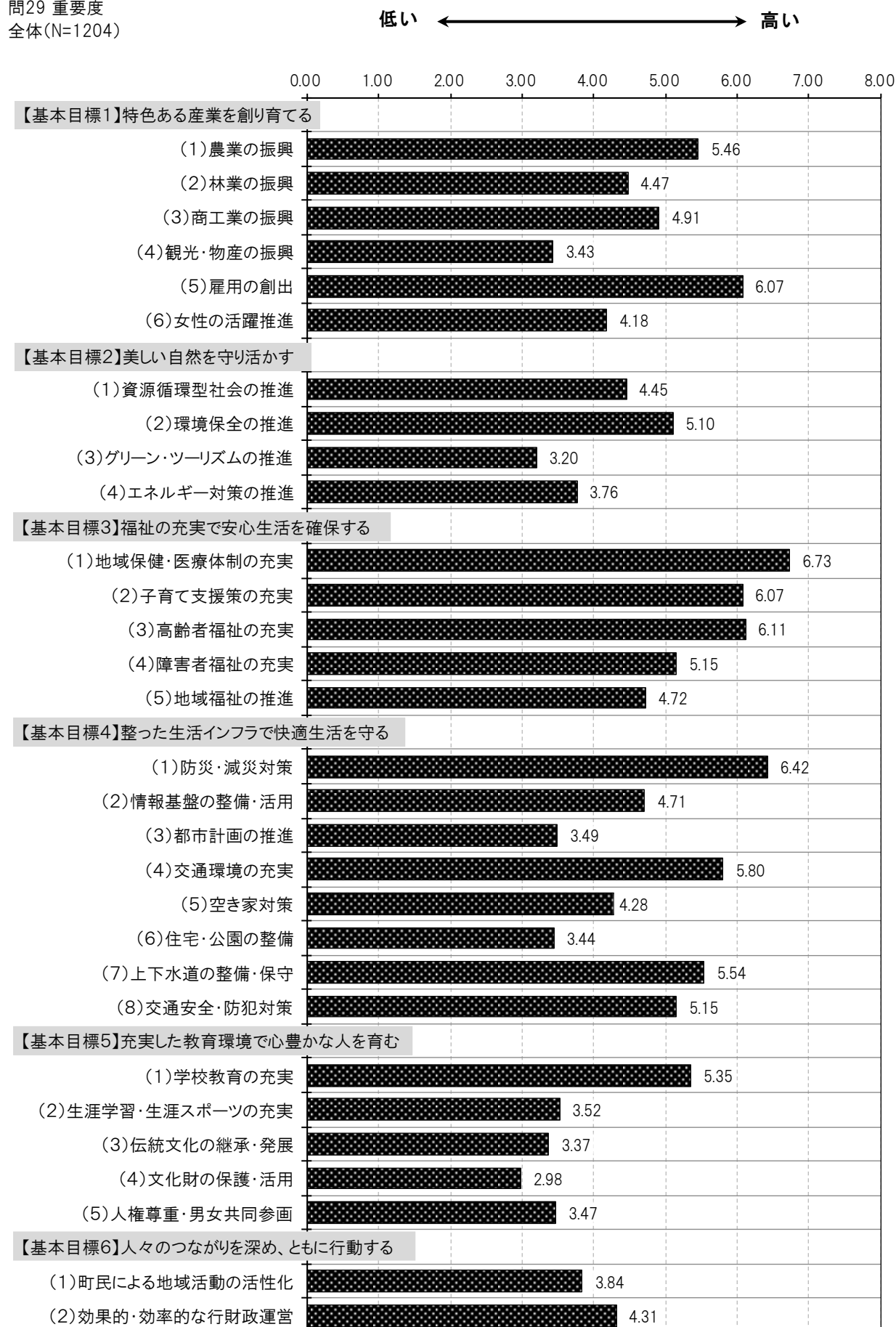
の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い施策は「【3】(1) 地域保健・医療体制の充実」(6.73)で、以下「【4】(1) 防災・減災対策」(6.42)、「【3】(3) 高齢者福祉の充実」(6.11)、「【1】(5) 雇用の創出」「【3】(2) 子育て支援策の充実」(各6.07)の順となっている。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、「【5】(4) 文化財の保護・活用」(2.98)、「【2】(3) グリーン・ツーリズムの推進」(3.20)、「【5】(3) 伝統文化の継承・発展」(3.37)、「【1】(4) 観光・物産の振興」(3.43)、「【4】(6) 住宅・公園の整備」(3.44)などがあげられる。

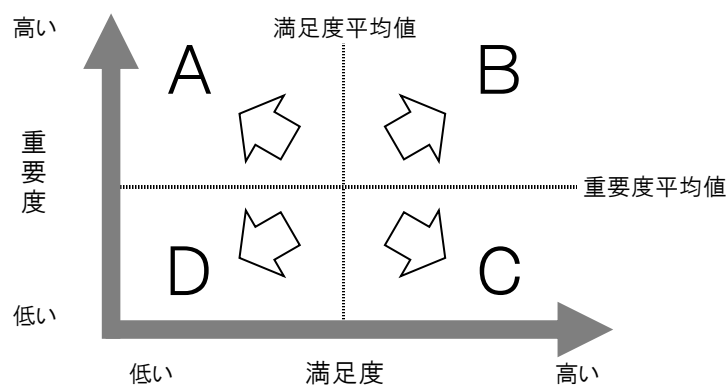
問29 重要度
全体(N=1204)



（３）各施策の満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、30の施策を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。

【A 重点化・見直し領域】

A重点化・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【1】(1)農業の振興	-0.46	5.46
【1】(3)商工業の振興	-1.37	4.91
【1】(5)雇用の創出	-2.19	6.07
【2】(2)環境保全の推進	0.10	5.10
【3】(5)地域福祉の推進	0.29	4.72
【4】(4)交通環境の充実	-1.33	5.80

【B 現状維持領域】

B現状維持領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【3】(1)地域保健・医療体制の充実	0.80	6.73
【3】(2)子育て支援策の充実	1.08	6.07
【3】(3)高齢者福祉の充実	1.24	6.11
【3】(4)障害者福祉の充実	0.52	5.15
【4】(1)防災・減災対策	1.80	6.42
【4】(2)情報基盤の整備・活用	1.01	4.71
【4】(7)上下水道の整備・保守	1.40	5.54
【4】(8)交通安全・防犯対策	1.34	5.15
【5】(1)学校教育の充実	1.37	5.35

【C 現状維持・見直し領域】

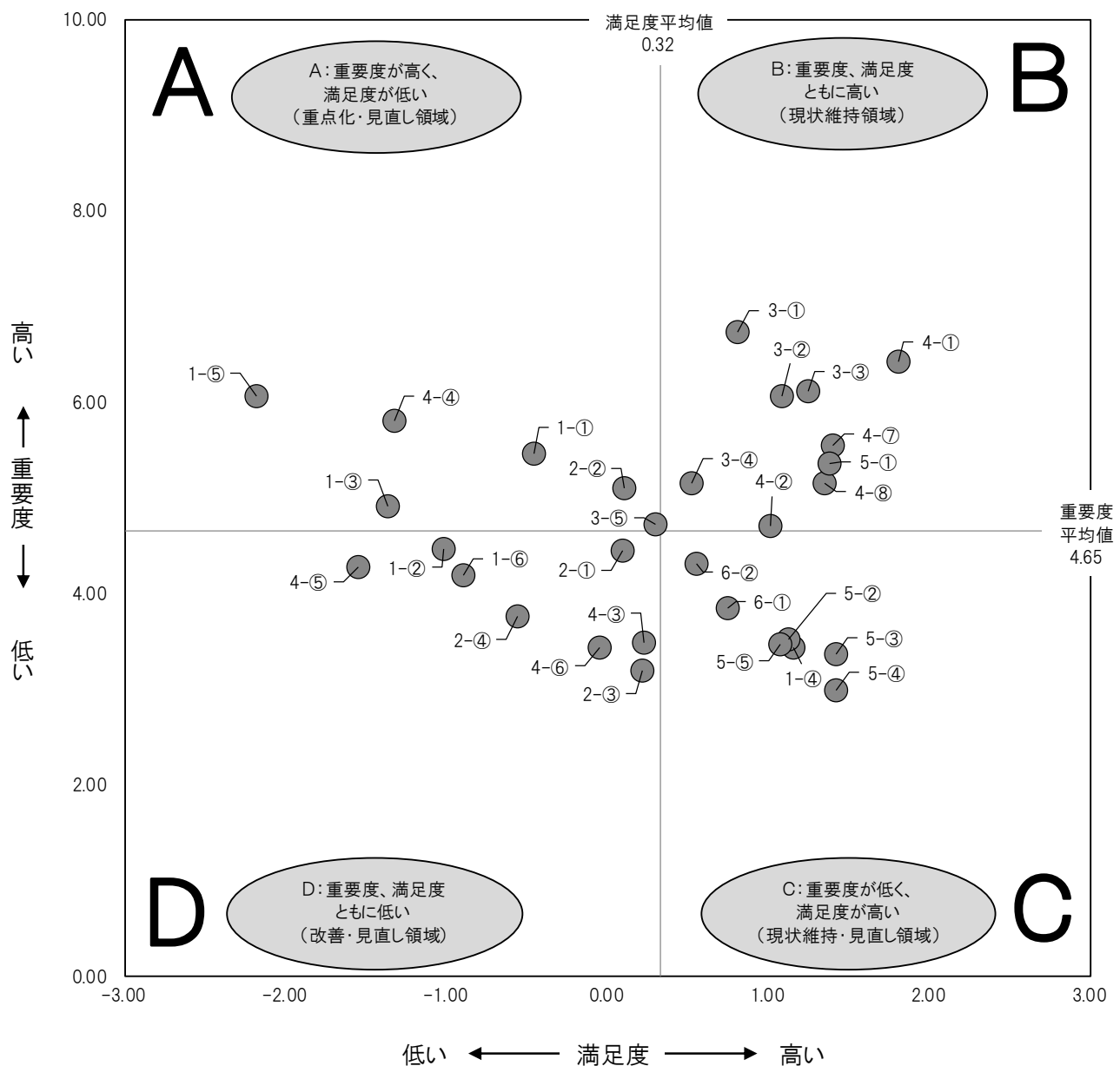
C現状維持・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【1】(4)観光・物産の振興	1.15	3.43
【5】(2)生涯学習・生涯スポーツの充実	1.12	3.52
【5】(3)伝統文化の継承・発展	1.42	3.37
【5】(4)文化財の保護・活用	1.42	2.98
【5】(5)人権尊重・男女共同参画	1.07	3.47
【6】(1)町民による地域活動の活性化	0.74	3.84
【6】(2)効果的・効率的な行財政運営	0.55	4.31

【D 改善・見直し領域】

D改善・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【1】(2)林業の振興	-1.02	4.47
【1】(6)女性の活躍推進	-0.90	4.18
【2】(1)資源循環型社会の推進	0.09	4.45
【2】(3)グリーン・ツーリズムの推進	0.21	3.20
【2】(4)エネルギー対策の推進	-0.56	3.76
【4】(3)都市計画の推進	0.22	3.49
【4】(5)空き家対策	-1.56	4.28
【4】(6)住宅・公園の整備	-0.05	3.44



【1】特色ある産業を創り育てる	領域
1-①農業の振興	A
1-②林業の振興	D
1-③商工業の振興	A
1-④観光・物産の振興	C
1-⑤雇用の創出	A
1-⑥女性の活躍推進	D
【2】美しい自然を守り活かす	領域
2-①資源循環型社会の推進	D
2-②環境保全の推進	A
2-③グリーン・ツーリズムの推進	D
2-④エネルギー対策の推進	D
【3】福祉の充実で安心生活を確保する	領域
3-①地域保健・医療体制の充実	B
3-②子育て支援策の充実	B
3-③高齢者福祉の充実	B
3-④障害者福祉の充実	B
3-⑤地域福祉の推進	A

【4】整った生活インフラで快適生活を守る	領域
4-①防災・減災対策	B
4-②情報基盤の整備・活用	B
4-③都市計画の推進	D
4-④交通環境の充実	A
4-⑤空き家対策	D
4-⑥住宅・公園の整備	D
4-⑦上下水道の整備・保守	B
4-⑧交通安全・防犯対策	B
【5】充実した教育環境で心豊かな人を育む	領域
5-①学校教育の充実	B
5-②生涯学習・生涯スポーツの充実	C
5-③伝統文化の継承・発展	C
5-④文化財の保護・活用	C
5-⑤人権尊重・男女共同参画	C
【6】人々のつながりを深め、ともに行動する	領域
6-①町民による地域活動の活性化	C
6-②効果的・効率的な行財政運営	C

【6】自由記述回答集約結果

問 30 あなたが将来に向けて鬼北町の行政に望むことや、町づくりに関するご意見、ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

注：回答は、問 29 の分野別に分類し、一人が複数の分野にわたる回答をしている場合は、それぞれの分野に振り分けている。

1 「特色ある産業を創り育てる」に関する意見

- ・企業誘致をすべき。（男性 19 歳以下・近永地区）
- ・私は、もっと鬼北町に若者が来るように、スポーツ行事などを増やすべきだと思います。例えば、サッカー大会を開き、県外から呼んだりするなど、また、若者が就職できるような場所を増やすことです。（男性 19 歳以下・近永地区）
- ・若者が遊ぶ施設。若者が働く場所。（女性 19 歳以下・近永地区）
- ・若者が働く場が少なく宇和島がメインとなっている。（女性 19 歳以下・近永地区）
- ・お店をもっと増やしてほしい。（女性 19 歳以下・三島地区）
- ・私が思う鬼北町の将来は、人口がこれから増加し、若者に対する就職場所の確保及び商業施設の新設をすることにより、鬼北町に活気があふれると思います。（男性 20 歳代・近永地区）
- ・近永にも、お店がほしい。食べ物屋さんの……。近くにあった方が便利だから。（女性 20 歳代・近永地区）
- ・「鬼北に住みたい、残りたいけど、働く場所がない」という声をよく聞きます。鬼北の魅力を知ってもらえるようなイベントを「でちこんか」や「いもたき」の他に小規模でもいいので河川敷で開催してみてもどうでしょうか。（女性 20 歳代・好藤地区）
- ・鬼にちなんだ観光や P R をされてて良いと思うけれど、鬼だけでは、少し物足りない感じがする。（女性 20 歳代・三島地区）
- ・鬼のモニュメントがあるからか、鬼にこだわりすぎ。鬼でなくても、米は高い標高で、日夜の温度差で鬼が城山系の綺麗な水で、まじめな人が作っている等々、農産物を売り出す方法を考えてほしい。少々高くても良い物は売れる時代になっている。鬼北町に来て、鬼だからと買う人は少ないのではないかな？ 買ったとしても、一度きりではないのか？ もっと、売るべきものがあるはずですよ。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・サービス業、観光事業の活性化。（女性 30 歳代・好藤地区）
- ・人が集まる場所づくり。起業支援の充実。雇用の創出。（女性 30 歳代・好藤地区）
- ・若い人たちが、楽しめる場所、店などが無く魅力が無い。そういった場が増えたら良いと思う。（女性 30 歳代・三島地区）
- ・若い人向けのスポットをつくったり、農業もどんどん若い人が興味を持つようなことを広げていったらいいのかなと思います。（女性 30 歳代・三島地区）
- ・雇用対策。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・山林の整備を町をあげて行い、山を豊かにすることで鬼北も豊かになるのではないかな。山にはスギ、ヒノキばかりで手入れができない山ばかり。松林の整備をして松茸で町おこしなどできないものかな。（男性 40 歳代・近永地区）

- ・専門的な分野（農・林業、他にもあるが）において、行政はもっと現実を見るべきだ。夢のような考えでは、いつまでたっても変わらない。というか、本気で取り組んでいるようには思えない。言っても無駄なのは分かっているから悲しいですけど。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・中予や東予の人にも、鬼北町出身と言ったら「鬼王丸、椿鬼媛を見に行った」とか、「見に行きたい」と、よく言われます。これからも“鬼”推しで、魅力の発信をお願いします。（役場と直接関係はないのですが…。節分の日が今年は月曜で、三角ぼうしが通常通り定休日だったのは、残念で勿体なく思いました。）（男性 40 歳代・近永地区）
- ・良い人材を確保するためには、それなりの出費が必要。財源確保するためにも、人口を増やす必要があると思う（若い人口）。林業、農業、商業を問わないが、町が発展するためには職場が必要。無駄を削減し、必要な場所につかってほしい。いい町になっていくことを願っています。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・若い子たちの就職先の確保をしないと町の活性はありえない。質のいい就職先がなさすぎる。このままだと人口は減少するだけ。宇和島に専門学校はあるが、評判が悪すぎるので、みんな高校を卒業したら、県外に出て行く。専門学校、大学、就職先のレールが無いと、このままでは本当にやばい。今は、共働きが多いし、鬼北町だけではなく、宇和島市でも給料の相場が安いので、もっと稼げて安定して生活できる職場などつくらない限り、安心して子どもを産めない。一般町民がどんな生活をしているか、もっと考えるべき。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・しっかりとした雇用対策をしないと町民流出は止まらない。（男性 40 歳代・地区不明）
- ・働く所が無い。空き家などを貸店舗として店を出してみたい人への支援をしてみてもどうでしょうか。（町内外の人の募集などをする。）（女性 40 歳代・三島地区）
- ・若者が就労できる町づくりが出来れば、子どもは増えます。婚活事業より先に就労事業に取り組むべきだと思います。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・高齢者の収入をつくるためのサポート。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・定年後、鬼北町内で働いていけるような事業の紹介や相談、講習会。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・町づくりに関して、近隣町市では市町を取り上げてのアピールで観光客が多く来ている様な感じがあります。昔 J R のイベント等や、道の駅等のイベントでは他町市の人たちが来る様ですが、もう少し地域を生かした個別地域でもイベントを考えてみてはどうですか？ 若者が住んで、住みやすい環境に取組をしないと町外に転出しての生活に変えて行く様な気がする。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・若者が町に残って働ける場所があるように。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・雇用促進。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・人口を増やす事が将来の鬼北町に必要な事だと思います。そのために、働く場所などが望まれます。若い人が集まる町にしてほしいです。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・企業誘致など、職場の確保。（男性 50 歳代・泉地区）
- ・鬼北町が一番自慢していい所は、町の東部の地区（泉、愛治、三島、日吉）を“日本最後の清流”四万十川の愛媛県側の源流である広見川が貫流していること。これを生かさない手はないと思います。

“日本最後の清流” 四万十川の源流広見川の景観美と里山の大自然を全面的にアピールしたイベントPR活動を行うといいのでは。例えば5月の中旬頃の新緑が美しい時期に日吉を出発して広見川沿いを下って行く。サイクリングイベント（ツール・ド・広見川、決してタイムを競うレースではなく、親子連れや友人などが楽しく、新緑が目まばゆい広見川沿いを自転車で下っていくイベント）などを行うのも、町の活性化につながるのではないかと思います。途中の休憩ポイントには鬼北町の特産品（ゆずジュースや、ゆずゼリーなど）を置いて参加者を接待するのも良いでしょう。（男性 50 歳代・泉地区）

- ・進学時に広見町から転出し、退職後戻った者の立場からの意見として、同じ様な農村地帯の地方都市でありながら雇用先の有無で各家庭の所得水準、人口、生活物資入手し易さに歴然として差が生じる事を実感しました。高卒で実家に住みながら生涯賃金3億円レベルの企業に就職できる町ならば人口や財政が深刻な問題にならないと予想されますし、そこに生まれた人々も先祖代々の土地で豊かに暮らして行ける事と思います。農業のみで年収1,000万は難しいと思います。町内でなくても車で通勤できる範囲に安定した雇用先がどれだけあるかで盛衰が決まると思います。結論としては、食っていける町にする事が第一と考えます。（男性 50 歳代・泉地区）
- ・大学進学などで、一度、町外に出ても、就労先が安定していてUターンができればと、目標、理想はありますが、人、財源など具体的にどのように工夫すべきか分かりません。（女性 50 歳代・近永地区）
- ・働く所もなく、友達や親戚が来ても見せる所、行く所もない鬼北町！ 若い人も年をとっても働かなければ生活できない。山、畑、田んぼを使用したり、野菜、果物等で、できる事はないのか。鬼北町で育った〇〇ってあったら、今なら年をとった人に育て方を教えてもらえるが、教えてもらう人も年をとり、そんな人もいなくなる！ 企業が来てくれたら良いけど、なかなか無いだろうから。今あまっている、使用されていない山、畑、田、使用して何かを……。働く所があると、若い人も県外に行かないかもしれません。若い人がいなくなると、人口も増えないと思う。（女性 50 歳代・近永地区）
- ・IT会社の誘致。チェーン店の誘致。（女性 50 歳代・好藤地区）
- ・田舎の良さをアピールしてもらいたい。（女性 50 歳代・好藤地区）
- ・日本の避難所は世界の中でも低レベルで行きたくない人が多いらしいので、何事かあった時は、結局、農業が強いと思うので、農業に力を入れて農業で生計を立てられる方が増えるようにしてもらいたい。（女性 50 歳代・好藤地区）
- ・高齢化に伴い、農業等の知識、技術などの継承が難しくなっている気がして、もったいないと思ってしまいます。若者に継承していく場を行政につくっていただけたらと思います。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・仕事をする場が少ないので企業を誘致してほしい。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・食料の地産地消の推進。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・山や田畑が荒れ、空き家も目立つ。「田舎ならではの魅力、鬼北ならではの魅力」を掘り起こせたらいいと思う。（鬼のアピールだけでは限界がある。）（女性 50 歳代・三島地区）
- ・若い人が鬼北町に住みたいと思う町になったらと思う。働く所があれば、若い人にも魅力があるのではと思う。（女性 50 歳代・三島地区）

- ・日ごろからお世話になっております。私が鬼北町へ住んで、現在感じていることを書かせていただきます。近年、近永まで行くと、スーパーやコンビニなどができ、宇和島まで行かなくても買物が出来るようになり、便利になりました。でも、近永、小松などのお店がなくなり不便さと寂しさを感じます。（女性 50 歳代・泉地区）
- ・どこの市町も高校を卒業し、大学等へ進学してそのまま県外、町外で就職し人口減少となっています。魅力的な職場があれば、帰ってくると思います。（女性 50 歳代・日吉地区）
- ・若者の安定した雇用の支援。（性別不明 50 歳代・近永地区）
- ・会社が少ない。仕事を増やす事。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・約 45 年、宇和島で仕事をしてきましたが、宇和島市合併時（宇和島・津島・吉田）92,000 人が 10 年後 82,000 人と、10,000 人、人口が減少しています。これは、鬼北町人口が流出してしまったことになります。人口流出問題をどうするかが問われます。雇用拡大のための企業誘致、農林業の法人化など、思うところを書いてみました。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・早期の企業誘致をし、雇用確保での人口増加を考えます。（男性 60 歳代・愛治地区）
- ・鬼関連にこだわることなく、土地の有効活用を行い、企業誘致、商業施設拡充に努めてほしい。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・大企業の会社を受け入れ、製品製造の工場を計画してほしい。（男性 60 歳代・日吉地区）
- ・空き家や、耕作放棄地が増えてきたように思います。我が家も、個人に委託して畑を活用してもらっています。グループや法人を募り、農業に従事してもらう人材を増やし、新しい農作物の取組などに発展すれば、空き家や放棄地の減少になるのではないかと思います。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・秋のでちこんか、とても良いと思います。特に、川沿いという、あの場所がとても良い。これは、是非続けていってほしいです。（あまり参考にならなくて申し訳ありません。）（女性 60 歳代・好藤地区）
- ・商業、工業の誘致が出来る環境が整い、若者の移住が増える町。そのために交通の利便さ、住みやすい環境、子育てしやすい（働きながら子育てできる）、また次世代も住みたくなる町。（女性 60 歳代・好藤地区）
- ・農業を大規模会社組織にして、複数で取り組み、休暇や休息等の他、災害にも組織として取り組めるようにする。また、自然変化にも強い科学力のある方法を取り入れて若者が夢を持って農業ができるようにする。（女性 60 歳代・好藤地区）
- ・荒地地になっている田畑があります。農業のみで生計を立てるのは難しいと思われますが（あちこちに散らばっている）もったいないと思います。有効利用の策はないものか……。働く場をつくると、生産年齢層の人口が増え、子どもも増えるのではないかと思います。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・高齢者ばかりの町になり、若い人が働ける場が少ない。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・鬼北町を盛り上げるためには若い力が必要です。そのためにも行政に雇用の創出をお願いしたいと思います。また、若い人の賃金の低さが結婚を思い止めている所があるように思います。（女性 60 歳代・泉地区）

- ・過疎化を食い止める工夫をしてほしい（特に近永区域以外）。若い人が働ける場の確保。
鬼北に戻ってきて、働く（多様な）場所がないので生活できないと耳にします。近永に集中しないで分散させる。（地域で特色ある事物があれば）（女性 60 歳代・日吉地区）
- ・若い人たちのために、もっと働く所があってほしい。（女性 60 歳代・日吉地区）
- ・観光立町を目指そう！提言！①高月温泉。サウナ・露天風呂を増設して集客効果を上げる。②等妙寺遺跡を「遺跡公園」としてトイレや展望台をつくり、バイキングや花見ができるようにする。③近永駅の駅舎を拡大建て替え、2階を土産物売り場、作品の展示物、憩いの家として集客する。④鬼王丸⑤鬼媛イベントを多く実施し、集客を行い観光立町を目指す。随時町営バスの運行をする。①から⑤を巡回し、ポイントを付けてご褒美を選べる。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・商店街の活性化と整備をしてお客様を少しでも、呼んで元気な鬼北町にしてほしいです。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・林業の将来を町としてどう考えているのか、よく分からない。町としての林業のビジョンを示してはどうでしょうか。（単に森林の維持・育成だけでなく、木材を活用する産業とどう関わっていくのか、森林をどう活用するのかなど。）（男性 70 歳代・近永地区）
- ・若い世代が働ける環境づくりをしてほしい。後継者が戻って来られる様な仕事の創出等、お願いしたい。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・若い世代の人たちが町内や宇和島圏域で安心して働ける環境が一番大事だと思います。ただ人口の増減に一喜一憂するのではなくバランス（子ども、青壮年、高齢者）のとれた人口構成が大切なように思います。働く場が限られて若い世代が少なくなり、子育て世代がほとんど見られません。親が高齢になったので、地元に戻りたいと思っても働く場がないので帰るに帰れないのが現状である様に思います。鬼北町内はもとより、宇和島圏域とも連携し、それらを少しでも解決していくことが今一番の課題であると思います。これからの財源確保のためにも働く若い世代が増えることが望ましいと思います。限られた財源で多くのことを望むことはできませんが、時には斬新な発想で思い切ったことをやっていただきたいと思っているのは、私だけではないように思います。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・高齢者及び家族に対し労働力、意欲、生活環境等々を調査し、自らの収入促進のため、支援指導を行い町の活性化への一端とする。（男性 70 歳代・愛治地区）
- ・農林業の振興について、農林家と行政、北宇和高校が一体となって対応する。行政の役割を検討し、実施。産直等を利用。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・若い者の働く所。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・鬼北町で仮装特区（聖地）を利用した町づくりをする。例えば年に1回（2～3日）、鬼北町の一部を仮装特区とし、あらゆるメディア等を駆使して全国に宣伝し、全国から仮装する人、したい人、興味のある人を集める。現在、世界的に映画や漫画の主人公などに仮装したり、ハロウィンなどでも仮装する人が増えているが、行政などが場所や時期を決めて継続的に行っている所はない。鬼北町で、行政や民間団体・町民が主体となり、集まれる場所や時期などの環境を整えれば、全国から（国外からも）興味のある人たちが集まると思う。

仮装は、映画・漫画・歴史上の人物・おとぎ話などの主人公など何でもよいが、町が取り組んでいる鬼に関するものも。また、仮装に必要な衣装やグッズなどを販売・貸し出す店舗も必要。人は、潜在的に心の中では映画や漫画の主人公・英雄や他のものに変身したいという欲望というか、そういうものがあると思う。そこで、誰かが背中を押したり環境を整えれば、大半の人が迷わず乗ってくると思う。まとまりのない提案になりましたが、やり方を間違えなければ成功すると思います。これは一つの提案ですので実行する場合は、ぜひともこれから鬼北町を担っていく若い方に参加していただき検討していただきたい。（特に近永駅の利用等に取り組んでいる高校生も含めて。）（男性 70 歳代・三島地区）

- ・産業の発展、発達により、より高い生活水準を確保できるよう相応の技術の促進とそこに住む住民の意識で向上していく。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・いろいろなイベントを多くしてほしい。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・若い世代の働き場所があればいいと思います。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・私たちは高齢のために、農地の維持も限界を迎えました。頼りの後継者も死去して、困惑あるのみです。農家に夢と希望を与えられる施策はありませんか？このままの状況では農家は消滅の事態を想像して焦ります。私共先祖よりの田畑を荒廃させぬための努力を払っていますが、維持や管理ができない場合どんな道があるのでしょうか？あれば適切なご指導をお願いしたいです。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・鬼北町の人口も減っており、老人が施設にほとんど入っており、本当にさみしい町になって来ている。人口がもっともっと増える対策を考えてほしい。鬼北町に就職先の工場とか働ける場所がほしい。もっともっと有意義のある町にしてほしいと思う。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・将来を担ってくれる子どもたちが健全で勉学に励み、この地で生活ができる様に企業誘致に全力を尽くしてほしい。労働場所づくりが大切だと思います。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・近永から日吉までの間、コンビニが 1 件でもあれば良いと思う。田舎のスーパーはあるのですが、町中より値段が高くて品物も少ない。住宅から町までは遠く、不便に思っている。不用な品物まで、町へ出たついでにと思い買ってしまう。（女性 70 歳代・三島地区）
- ・松野町に比べたら鬼北町はつまりません。鬼・鬼ばかり言わないで、いろんなイベントをつくって賑やかな町にしてほしい。（女性 70 歳代・泉地区）
- ・鬼北町の人口が心配です。田舎での仕事が多くあれば、外に行くこともないでしょうが、鬼北町での仕事をつくることで、帰ってくる人たちが増えると思いますが、いかがでしょうか？（女性 70 歳代・日吉地区）
- ・「キジたき花見」「イモたき花見」「花見」などをキャッチフレーズにして行う。（男性 80 歳以上・近永地区）
- ・企業誘致し、若者の働く場所を確保してください。（男性 80 歳以上・近永地区）
- ・若者が働ける仕事の確保。（男性 80 歳以上・近永地区）
- ・鬼北町は自由に買物が出来るお店が無い。鬼北町成川ですが、宇和島で買物します。（女性 80 歳以上・近永地区）

- ・最近、鬼のイラストが町に増えていますが、鬼北のキャラクターの鬼は「きほくん」「きじの助」だという事をお忘れでは？近永駅の建て替えで、鬼を描くならＪＲの列車には「きほくん」「きじの助」が描かれているのだから、「鬼王丸」ではなく、「きほくん」「きじの助」の駅としてお願いしたい。正直、こわい顔ばかりで楽しく見られない・・・。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・若い人の職場誘致。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・外食できるお店をもっと充実してほしい。（女性 80 歳以上・泉地区）
- ・国体の民泊の取組のように、地域の有志、特に元気な 60 代、70 代の人が気軽に集まって、特産品（ひがしやま、干し柿など）をつくって道の駅やインターネットで販売する。うまく生産のサイクルを整え、ふるさと納税の返礼品として種類を増やし、財源を確保する。田舎ならではの自然、食材をもっとアピールして、鬼北町の魅力を多くの人に伝えたい。アマゾン、楽天、じゃらんなど、口コミのあるインターネット販売、SNSでの発信。「きほくん&きじの助」のキャラクターがとても可愛いので、もっとロゴを使ってほしい。LINE スタンプにしてほしいと子どもたちが言っている。（女性 80 歳以上・泉地区）

2 「美しい自然を守り活かす」に関する意見

- ・奈良川の整備。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・SDGs を主としたスマートかつ、自然を活かした町づくりに。（男性 40 歳代・泉地区）
- ・災害などの影響で広見川に土砂、石など多いので、なんとかしてほしい。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・奈良川、三間川をきれいにする事、家庭排水の処理。川底を見るとひどい汚れ。三間川は、増水すると必ず泥にゴリになる。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・地球温暖化に伴う、気候変動がとても心配です。今後とも、資源循環型社会の形成を念頭に、取り組まれることを願っています。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・昔みたいに貴重な川や山で遊べる自然環境を取り戻せたらという願望があります。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・山に関しては（サル、シカ、イノシシ）の駆除をお願いしたいです。（男性 60 歳代・日吉地区）
- ・自然豊かな地域の利用、活用。山や川の観光を守る活動。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・現在、土砂置き場ができて毎日のように大型トラックが 15 台程入り、道路も傷み、現在、8 か所修理のマークがついています。河川も影響し、川底が上がり、不安な日々が続いています。蛍の里も失われ、自然に戻すには億単位の金額がいるとの事、自然に勝る物はないです。一人一人の意見を真剣に受け止めていただきますように願うばかりです。人の涙を踏み台にして、きれいな花が咲きません。（男性 70 歳代・泉地区）
- ・町内の自然を活かした町づくりを工夫してほしい。（男性 80 歳以上・泉地区）
- ・川の草や木などの景観が悪い。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・自然を活かした遊び場。他県でも広まってきている「フィールドアスレチック」や「フォレストアドベンチャー」など、市外、県外からも遊びに来てもらえるようになるのでは。（女性 40 歳代・近永地区）

- ・山や畑（空き地や未使用の田んぼ）などのソーラー電気の設置の制限をしてほしい。（女性 50 歳代・近永地区）
- ・エネルギーの地産地消の推進。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・ごみ処理について、小型家電回収については、役場に直接持ち込むことが必要とされているが、老人や車の無い者にとっては難しい方もおられると聞いている。年に何回か回収日を決めて実施することはできないでしょうか。実現を期待します。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・毎年、盆前に道路沿いの草刈りを業者の方をお願いされ、とても気持ちが良いです。年 1 回だけでなく、2 回位にしてもらうのはどうですか。職の無い方を募集して、やっていただくという案はどうでしょうか。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・川の汚さが目につきます。もう少し綺麗になればいいかと常日頃感じています。（女性 70 歳代・好藤地区）
- ・成川から中島へ流れている川、あまりにも葦が広がって、一昨年大雨で川底が上がっているの、大雨対策をしてほしい。水害で困らないよう、川の掃除をしてほしい。（女性 70 歳代・泉地区）

3 「福祉の充実で安心生活を確保する」に関する意見

- ・全世代が安心して生活できる事。（男性 20 歳代・三島地区）
- ・地域とのつながりとか言う前に、住みやすく子育てをしやすい町や、環境を全体でつくっていく事が、人を増やす要になると考えています。（男性 30 歳代・近永地区）
- ・病院内に外科。老人支援や施設を増やす。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・提案ではないのですが、子どもの年齢により保育費が無償なのは、納得がいかない。（男性 40 歳代・愛治地区）
- ・若者を重点とした政策が目にかかり、40 代、50 代、60 代の年齢には、何もないような気がする。（男性 40 歳代・愛治地区）
- ・日吉は 20 代・30 代の働き盛りの方々が少なく、これからが心配です。子どもを授かっても、高校通学のバス代など 1 か月で 2 万 5 千円などをかけて、日吉から通学しています。日吉分校もなくなり大変です。町の方から援助など少しでもかまいません。考えてください。何か手を打っていただかないと、日吉から若者がいなくなります。どうぞよろしくお願いいたします。（男性 40 歳代・日吉地区）
- ・兵頭町長にはいつもお世話になっております。今後、ますます高齢化が進み、免許返納された方の足の確保（病院、買物など）は急務です。タクシー補助券だけでは補えきれないと思います。年金だけの老人も数多くいます。医療、福祉は最重点課題かなと思いますが・・・。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・民間企業は、明日のために必死に頑張っています。町職員の給料の話などを聞くと、愕然とします。低所得者に対する補助をお願いします。水洗トイレにしたいのですが、工事資金がありません。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・身体・知的・精神障害者のバス便は半額でまかなえていた事を考え、障害者の負担を考えてほしい。老人もそのように考えてほしい。（男性 50 歳代・愛治地区）
- ・高齢者が多くなるので、老人ホームなどの施設の推進。（男性 50 歳代・三島地区）

- ・人口を増やす事が将来の鬼北町に必要な事だと思います。そのために、医療の充実などが望めます。若い人が集まる町にしてほしいです。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・免許返納してタクシーチケットで少し助かっていますが、もう少し増額してほしい。（男性 50 歳代・泉地区）
- ・見えない存在となっている中高年層のひきこもり支援が必要である。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・町内に透析ができる病院が無く、宇和島まで行っている。不便でしょうがない。週に 3 回も行っている。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・高齢者が長生きして良かったと、笑顔で暮らせるような町であってほしい。そして経験を重ねられた能力をもっと活用して、人に役立てる喜び、楽しさを感じられるよう、おいに利用して活性化に役立てばと思う。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・老人介護問題。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・高齢化に伴い、今後交通弱者や買物難民が増加してきます。山間地域での対策を充実してほしい。（男性 60 歳代・日吉地区）
- ・高齢者の免許返納の推進のために、タクシー代を通常価格の半額を行政が負担してはどうか。（男性 60 歳代・日吉地区）
- ・近頃、高齢者への支援対策についてはあまり言われなくなっていると感じている。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・老後、誰もが安心して暮らせる町にしてほしい。若い人たちが、楽に子育てをできる町にしてください。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・若い世代の人たちが町内や宇和島圏域で安心して子育てができる環境が一番大事だと思います。ただ人口の増減に一喜一憂するのではなく、バランス（子ども、青壮年、高齢者）のとれた人口構成が大切なように思います。私の住む地域でも、高齢者世帯が多くなり、久しく子どもの姿や声すらも聞かれなくなっています。寂しい限りです。働く場が限られて若い世代が少なくなり、子育て世代がほとんど見られません。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・安心して住める町づくりを目指して、人口は少なくとも町内には病院 2 つ、他各個人医院が多くあり、更に広域施設があり、将来的に安定した運営ができるよう、北宇和病院に対し努力してほしい。1. 北宇和病院と広域施設（広薬荘、愛児園乳児園）の協同運営を目指す。2. 鬼北町の取組「福祉と医療の町」の P R をする。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・鬼北町が他のどこよりも優れた行政のあり方で、子育て支援に目覚めた地域であってほしい。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・福祉、医療の発展に目覚めた推進の育成に努力してほしい。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・高齢になり、日々安心して生活できる事のみを思って毎日を過ごしております。北宇和病院の療養型の廃止が残念です。夜間の救急時の受付を是非、お願いしたいと思っております。（男性 80 歳以上・愛治地区）
- ・若者の結婚が第一、出産を望む。（男性 80 歳以上・愛治地区）
- ・鬼北町は自然豊かな町です。しかし、子育て支援、医療、福祉、介護に対するサービスが近隣の町や市と比べると不十分だと思います。（女性 20 歳代・近永地区）

- ・医療・介護系の人手が不足していると感じます。それに激務で更に働き手が町外に流れていっているのを、他の町や県からも医療系の人材が集まるような工夫が必要な気がします。（まず、鬼北町に働ける場所があることを知らない人が多く、就職の際に鬼北町が選択肢から完全に外れてしまっています・・・。）今後もできれば鬼北町で仕事をしたいので、どうにか人手不足を少しでも改善できればと思います。（女性 20 歳代・近永地区）
- ・保育士の給料の見直し。（女性 20 歳代・愛治地区）
- ・子どもから大人までがのんびりくつろげる複合施設があるといい。宇和島のパフィオのような図書館、全天候型の児童館、多目的ホールなどの入った施設がほしい。雰囲気的には、ゆすはらの図書館のように、おしゃべり、飲食可のほのぼのした感じ。小中学生や高校生が集う。自習室や、お年寄りの方が集ういきいきサロンのような場所や、子どもの一時預かりを受け入れてもらえる場所があると思う。場所はアルコール工場跡地がいいのでは？ 中途半端なものはいらない。町外からも来たいと思える施設を。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・子どもの一時預かり。地方からの移住を増やすためにも。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・障害者雇用に力を入れてください。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・将来のことは分かりませんが、（高齢になった時）今現在小さい子どもがいて、働きながら思うことは、もう一人は無理だということです。自営業のため、雇用保険がない。なので 1 か月の育休しかとれず、復帰する。保健師さんや助産師さんは「無理はしないで」と言うが、無理をしないと生活できない。せめて、一度でも雇用保険をかけていたら、助成がある。どこかの行政がフォローするなどしてほしい。小泉さんは男の育休を主張しているが、まず母親の育休をきちんと取れるようにしてほしい。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・子育て支援に力を入れてもらっているため鬼北町で子育てできることに、すごくありがたいと思っています。さらに病児保育があれば心強いですし、他の町からの転入もあるのではないかと思います。（女性 30 歳代・泉地区）
- ・子どもの一時預かり保育を実施してほしい。（女性 30 歳代・泉地区）
- ・障害者の働く場所を増やしてほしい。（女性 30 歳代・泉地区）
- ・国もそうですが、老人や 65 歳以上の方への保障は UP しているのに若者や、子どもの支援が充実していない。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・対外的な施策よりも、町内で町民が生き生きできる町づくりに一貫すべきだと思います。未来を担う子どもたちの保育現場が活力あるものになるよう支援をしてほしいです。「子ども」に視点をおいた町づくりで、特色ある鬼北町になれば、子育て世代は転入してきます。（女性 40 歳代・愛治地区）
- ・鬼北町に住んでいる一人一人に支援が行き届くようにしてほしい。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・子育てが安心して行える。高齢者の在宅生活を支援するサービスが充実している。障害者や病気の人が生き辛さを感じない。目標、理想はありますが、人、財源など具体的にどのように工夫すべきか分かりません。（女性 50 歳代・近永地区）
- ・高齢化が進む中、近くに信頼できる医療機関があると心強い。北宇和病院の存続と充実をお願いしたい。（女性 50 歳代・三島地区）

- ・鬼北町がこれから先、人口減少、農林業が衰退していくのではないかと危惧しています。若者に魅力のある町づくりを目指して頑張ってください。（子育てが楽しい地域づくり、年寄りが安心して暮らせる町づくり。現実はなかなか厳しいでしょうか・・・。）（女性 50 歳代・三島地区）
- ・一人親家庭の支援の充実を含め、教育・介護など家族の問題に対応する家族支援課をつくり、縦割りではなく、横串を刺した総合的な家族への支援をしてほしい。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・北宇和病院の廃止も耳にしておりますが、旭川荘より建物も新しく、バスもどこから行っても病院の前で止まるので、旭川荘を廃止し北宇和病院を継続していただきたいと思います。いろいろ書き申し訳ございません。「鬼のまち鬼北町」大好きです。今後ともよろしくお願いいたします。（女性 50 歳代・泉地区）
- ・高齢者の車の事故も増え、車の運転ができない人も多くなり、通院、買物の足が無くて困ります。行政に甘えていると思われるかもしれませんが、役場の方々と商工会の方々に連携をとっていただき、鬼北町全体にタクシーより安値で通院の送迎をしてもらったり、移動販売車を走らせてもらえたら良いのにと 생각합니다。私が住んでいる所は、パン一個買えません。そういう所、そういう人がますます増えてくると 생각합니다。（女性 50 歳代・泉地区）
- ・鬼北町と言えば「鬼の町」、これも良いとは思いますが、鬼だけではなく老若男女どんな人でも集える所。例えば四季折々の花を植えて遊歩道なんかもつくって散歩を楽しんだり、お弁当も持って行けるような所。中心地からあまり遠く無いところ。気軽に車でではなく歩いたり、自転車で行ける所がいいなあと 생각합니다。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・仕方のない事ではあるが、介護が必要な家族がいると、いろいろな活動等は継続的にはできない。福祉の大切さを感じる。古い考え方（嫁が介護をしないとイケない）等の家族のあり方を考えられる場（家族全てが対象）があれば・・・とも思う。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・少子高齢化が進んでいる鬼北町は元気で意欲のある高齢者を活用したら良いと思います。やりがいを感じることができれば、積極的に参加できるのではないかと 생각합니다。社会とのつながりがなくなっているので、あまり情報が入ってこない現状です。年齢的に体力がいるとか長時間は無理ですが、短時間ならできる高齢者もおられると思います。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・保育所の子ども的人数が年々少なくなっていますが、合併についてはどう考えてますか？ 内々では、決めていると聞いていますが・・・。早めに町民に教えてほしいです。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・現在、経済的にも生活面でも不安なく日々が送れているのは、病気を持ちながらも仕事ができたと、家族がいて子育てを担ってくれたことです。家族が健康でいられることが財産です。そのための環境づくりが充実していることが、幸せにつながると思います。この先高齢となり、現在の活動ができなくなった時、どうして行けばよいか不安はぬぐえません。障害者、現在、高齢者の方々は現実として、今、問題を抱えていらっしゃるのではないのでしょうか。その方々の不安をなるべく少なくしていくことが、大切ではないのでしょうか。（女性 60 歳代・泉地区）

- ・高齢者、弱者の住みよい町になるようにお願いします。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・宇和島の人には恵まれていると思う。鬼北は自分が、本人が動かないと何も見えない。病人しか目がいけない。元気な老人が楽しめる場所、楽しめる事が無い。職員が少ないので無理なのでしょう。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・運転免許の返納について返納した場合、買物に行ったり病院に行くのに不便な人とか役場の方で返納しても不便のないような方法を努力してほしい。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・北宇和病院に優秀な医師の雇用を切に希望します。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・高齢者が最後まで自宅で生活するための支援と環境。行政のサポート、地域のサポートが大事。また、家族制度が（昔の）復活し、親を看るのに必要な金銭的、行政などの支援が充実した町であってほしい。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・婚活について力を入れていただきたいです。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・北宇和病院の維持と介護施設をもっとつくってほしい。（女性 70 歳代・好藤地区）
- ・今は車の運転ができますが、将来、できなくなった時に不安があります。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・過疎化が進み大変でしょうが老人がいつまでも暮らしていたい町にしてください。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・鬼北町の人口も減っており、老人が施設にほとんど入っており、本当にさみしい町になってきている。人口がもっともっと増える対策を考えてほしい。子どもの育成。もっともって有意義のある町にしてほしいと思う。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・私の周りには、独身の男性、女性が沢山いらっしゃいます。男性に比べて、最近の女性は生活力もあり、結婚する意志があまり無いように思います。これでは、人口も増えないと思います。何か良い方法は無いでしょうか。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・今の奈良の里を小さくしたような施設を、あと 1～2 か所程つくり、動きにくくなった人たちを、1 か所に集めてもらって世話をしてもらう所、民間は数があります。民間の施設よりもう少し安い費用でみてもらう場所が増えれば、今後ますます増えてくる要介護者の人が助かり、安心して暮らせるのではないのでしょうか。（女性 70 歳代・泉地区）
- ・今のままでは、地域に住む高齢者は病院通い等の乗り物が不便です。町で用意した車、またはタクシー等を割安で行き来できる回数券等を発行してもらい、年に一人何回までとかを決めて利用させてもらう等、本当に困っている人の交通の手助けができればいいと思います。（女性 70 歳代・泉地区）
- ・周りを見ても高齢者が大変多く、若者が少ない時代ですが、できるだけ若者にも迷惑をかけないように過ごしたいものです。希望としては、高齢者が集まり、意見交換（おしゃべり）とか運動とか散歩ができるような公園のような場所があれば嬉しいと思います。（女性 70 歳代・泉地区）
- ・私の暮らす地域は、高齢者がほとんどで、車の運転免許の返納の必要な方ばかりです。通院など、毎日不安な思いでハンドルを持っています。いろいろ難しいことと思いますが、行政のお力添えをいただいて、交通の心配のない暮らしを願っています。（女性 70 歳代・日吉地区）

- ・人口減少、高齢化は避けて通れない現実です。高齢者が生きていくために心にゆとりの持てる日常が無いものかと、すぐ来るであろう自分に置き換えて考えております。（女性 70 歳代・日吉地区）
- ・「鬼北町の中心には、公園が無く安全な散歩コース、ちょっとした癒しの場所、語らい合える場所、ベンチ、木陰すらない。子どもを連れ出しても行く所が無い」と、道で会った都会より里帰りされていた若い人の声でした。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・（病院）週 1 回か 2 回でもいいが、ぜひ、皮膚科を置いてほしいです。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・私たちも高齢になり、免許返納の時が迫りつつあります。鬼北町でも近永の中心より一番端になり（水分）、近永のスーパーの近くでは町のバスを見かけますが、町中よりも遠くの方に来ていただきたいです。ご検討ください。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・最高齢者になっていますので、町政に対してアレコレ言うことはありません。ただ、町政の病院と、個人の病院では個人の病院のほうが全体的に優しく感じると思います。この件は、何十年も前から思っています。ひがみ根性でしょうか、言葉遣いに優しさが少なく思います。（女性 80 歳以上・三島地区）
- ・私は 88 才の老人です。思うのは若者がいない、子どもの声が聞こえない。見渡せば老人ばかり。これでは町はさびれる。若者が定着して安心な子育てができる環境になれば良いと思う。鬼北町のますますの発展を祈る。（女性 80 歳以上・三島地区）
- ・夏になると草刈りが大変です。高齢者に対して、援助をお願いします。（女性 80 歳以上・泉地区）
- ・若者の子育て支援の充実。（性別不明 50 歳代・近永地区）

4 「整った生活インフラで快適生活を守る」に関する意見

- ・若い人たちが住める場所が増えてほしいです。住みたいけれど住宅や土地が無い（若い人が住みたいと思う）、あったとしてもそれが分かりにくいのではないかと思います。一方的で身勝手な意見ではあると思いますが、ご一考ください。（男性 20 歳代・近永地区）
- ・近永アルコール工場の跡地をまた住宅地として販売してほしいです。知人が鬼北町に住みたいとのことで、住宅地を求めています。（男性 20 歳代・好藤地区）
- ・バスを小型化してでも便を増やしていただきたいです。（男性 20 歳代・日吉地区）
- ・街灯の増加。空き家の整理。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・四万十川の支流域である町として、下水処理がキチンとできていないことは誠に恥ずかしいことだと思う。生活排水がそのまま河川に流れている家庭もあり、下水処理の環境を整え、美しい河川を守っていきたい。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・現在は現役世代であり移動に支障はないが、そのうち自家用車でも運転が困難な場合が考えられる。よって、巡回バスを近永や愛治のみではなく、今からでも全地区で行っていただけたら通院や買物にありがたいと考える。また、鬼北町の独特な取組があればと考える。（男性 40 歳代・三島地区）
- ・町独自の交通網の充実が急務。（男性 40 歳代・地区不明）

- ・何かの事情で防災無線に入れず、連絡が取れない家がある。後で付けようにも、8万円と高額で付けられない。もう一度、全ての家に防災無線の有無を確認して対応すべき。
（男性 50 歳代・好藤地区）
- ・宇和島自動車のバス便の路線廃止等によって、コミュニティバスの重要度が増すので、より重い位置付けとしてネットワーク化してほしい。（男性 50 歳代・愛治地区）
- ・田んぼ、田んぼに行く農道など傷んでいるので、行政でもっと何とかしてほしい。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・病院とスーパーへ行く時のバスを増便してほしい。（男性 50 歳代・泉地区）
- ・鬼北町の人口についての質問がありましたが、10 年後、20 年後と考える時、今の人口の半数になるのではないかと危惧しております。財政的にも大変厳しい状況になるのではないかと考えております。また、子どもたちも減少していくため、早急に保育所などもアルコール跡地に統合し、親子で遊べる芝生の公園をつくる。そうすることによって建物の維持管理、人件費なども激減する。体力のあるうちにしなければならない。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・生活に必要なものは、全て揃っている町です。長期的に見ると近永駅～商店街～役場～北宇和病院の一带を魅力ある場所に再開発できないものでしょうか。コンパクトにまとめて歩いて交流できる環境になればいいと思います。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・近永地区を中心に町営バスを好藤地区の各部落を巡回するようにしてほしい。予土線の利用の今後について心配です。客が増える対策を望みます。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・町営住宅を建ててほしいです。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・約 45 年、宇和島で仕事をしてきましたが、宇和島市合併時（宇和島・津島・吉田）92,000 人が 10 年後 82,000 人と、10,000 人、人口が減少しています。これは、鬼北町人口が流出してしまったことになります。人口流出問題をどうするかが問われます。住宅整理（宇和島より立地条件が良く、交通、通勤に適している所から）による居住推進など、思うところを書いてみました。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・早期の企業誘致をし、町営団地の建設（5 階くらい）での人口増加を考えます。（男性 60 歳代・愛治地区）
- ・安全で安心して住める町づくりをお願いします。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・災害に関しての危機感が低い。昨年に県防災訓練をされたが、町民の参加が少なく避難所の簡易ベルトとか間仕切り段ボール等、備蓄が全くなかった。訓練後の各種団体での反省会の結果報告、反省点が知らされてもいいのでは……。数字だけの満足では防災力向上にはならない。もっと各地域での訓練が必要。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・老人の免許返納による、バス利用の不便さ。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・下水道を直してほしい。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・災害工事の際の迅速な対応、ありがとうございました。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・ますます高齢者が多くなっていく中で、事故を防ぐ上でも交通環境充実を望む。バス路線の再編と利便性の向上について。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・各地区内の道路、用排水路整備に大変な格差があると感じる。改善を申請する。要求する策も分からない。（男性 70 歳代・好藤地区）

- ・空き家対策について、好藤地区も年々空き家が増え住人も減り、部落によっては1/3が住人の居ない状況です。また、町道そばに大木や木が町道を塞ぐ状態に近い家がある。近い将来、住人が不在になれば管理者がいなくなる。町道管理部署はもっと管理指導すべきではないのか。（男性 70 歳代・好藤地区）
- ・災害が発生し、道がストップし、動きが取れなくなることの無いように迂回路があるのか？無いのか？確認をお願いします。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・道路整備により、鬼北町内または高速道に継ぐ必要がある。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・正月のバスの運休は、車の運転を中止した後の生活への不安を考える事となった。長男夫婦とこれからの協議となる。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・2018 年の豪雨で愛治地区のみならず、他の地区にも甚大な被害が出ました。災害復旧を早期に終わらせるだけではなく、防災、減災のための公共工事を町民のためによりしくお願いします。（男性 80 歳以上・愛治地区）
- ・私が住む愛治地区には、危険で崩れそうな空き家が複数あり、これらの撤去を早急にお願いします。景観に悪いだけでなく、古びた空き家のガラス片などが風で飛ぶこともあり、とても危険です。（男性 80 歳以上・愛治地区）
- ・近永地区では公営バスが運行しているが、他の地区で運行できないものか。（男性 80 歳以上・三島地区）
- ・非常変災時、自給自足のできる町であってほしい。（男性 80 歳以上・泉地区）
- ・交通の便の見直し。（女性 19 歳以下・近永地区）
- ・町営バスについて、土日運休なのが困る時がある。しかし、使用者が少ないのに便を増やすというのも難しいと思うので、予約制にして使用者がいるときだけ動かすようにするなどしたらいいと思う。（女性 19 歳以下・愛治地区）
- ・バスや汽車の便を増やしてほしい。（女性 19 歳以下・三島地区）
- ・廃屋などを利用し、住んでもらえるように努力してほしい。（女性 20 歳代・愛治地区）
- ・高齢の方がたくさん住んでいる町なので、もう少し交通の便を良くした方が良いと思う。（女性 20 歳代・三島地区）
- ・5 年程県外で過ごし鬼北町に戻ってきましたが、穏やかで過ごしやすいと思う反面、交通や買物は不便です。（女性 20 歳代・泉地区）
- ・鬼北町循環バスの拡大。（もっと遠い所の方が困ってて利用したい。）（女性 30 歳代・近永地区）
- ・近永駅周辺の活性化実現。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・賃貸住居の数が少ないと思う。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・防犯カメラの設置を増やしてほしい。（ゴミのポイ捨て、不法投棄、犬の糞の不始末などのマナー違反への対策。）（女性 30 歳代・近永地区）
- ・若い世代が住みやすい宅地、住環境の整備。（女性 30 歳代・好藤地区）
- ・自然もあり、ゆったりとしていて子育てにはいい自然環境なので住み続けたいなと思ってたりもしています。家を探してみたりはするのですが古い建物が多く、リフォームするにもすごくお金もかかりそうです。壊すのもお金がかかるし・・・と、住む家ですごくひっかかります。空き家は多いので住む所はあるけど、空き家の整備（更地にするなど）をもっとできないのかなと思ったりします。若い人向けのおしゃれなセンスある物件にしてみたりしてはどうでしょうか・・・。（女性 30 歳代・三島地区）

- ・小さい子どもが遊べる全天候型の公園をつくってほしい。（女性 30 歳代・泉地区）
- ・耕作放棄地がたくさん見られるのに、新たな担い手が見つかる訳でも宅地になる訳でもなく、廃れていくだけである。宅地にするにしても、いろいろ条例が邪魔をし、担い手も様々な条件が出されて……。結局、何の術もなく、イノシシなどに好き放題され農村が荒れていくだけ。こうした状況を打破しないと、農村に魅力は無い。これだけ土地があるのに宅地が無いと、若い世代が移り住むこともできない。そこを行政がまとめていってほしい。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・高速道へのアクセス。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・近永駅が寂しすぎる。いろいろな取組、ありがたいです。頑張ってください。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・空き家の活用は、ベースを町で整備し、若い人に起業を勧める形で支援すれば、転入者増が望めるかもしれません。鬼にこだわる必要は無いと思います。PRの前に、町民の満足度をUPさせるべきです。（女性 40 歳代・愛治地区）
- ・防災、障害者、高齢対策として、より具体的な、実用的な対応策を立ててほしい。避難所では高齢者、障害者は過ごせません。避難しない、避難できない現実があります。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・個人所有の土地（危険箇所）の整備、経済的支援。防犯セキュリティー。（カメラ設置など。）（女性 40 歳代・泉地区）
- ・生活するのに車が無いと困る。これから先、もっと高齢化していく中で、とても不安です。「鬼」だけでなく……。宇和島で仕事をしていますが、マイホーム購入を考えている人が言っていました。市内は高いけど、三間、鬼北は安く建てられる。でも、通勤するのに必ず車を使うから、車の維持費、ガソリン代を考えると、長い目で見たら市内のマイホームが安くつく。小さな事です、参考になれば。私は、生まれ育った広見町、鬼北町が大好きです。（女性 40 歳代・泉地区）
- ・町内巡回バスの逆回りはありますか？ 町外への出張などで、公共交通機関の利用をされていますか？ 月一回か週一回程度、自家用車通勤を中止して公共交通機関を利用されてはどうでしょうか。高校での自転車のヘルメット着用と同じにヘルメット着用されては？（女性 50 歳代・近永地区）
- ・ITを使う事。（女性 50 歳代・好藤地区）
- ・近年、様々な災害が起きているので、それに備えて災害に強い町であってほしい。豪雨や南海トラフ地震など、避難所などの充実に力を入れてほしい。（女性 50 歳代・好藤地区）
- ・現在、近永地区内のバスが運行されているが、買物をした後、フジやしんばしなど、そこから家までに帰る乗り物が近永以外、三島など不便である。将来、町内の至る所に小型のバスを今の愛治便のように時間や曜日を決めて運行してもらえれば、車の運転ができなくなった時にありがたいと思う。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・今後、将来に向けて、交通の便がとても気になっております。源氏、役場（町）から出ておりますバスですが、もう少し範囲を広げていただけたら、安心して病院、買物など利用できると思いますが……。ご検討ください。（女性 60 歳代・近永地区）

- ・町営バスについて、愛治、日吉も動いているのか？すごく大切な事であり、良い政策だとは思いますが、町内公平でなくてはいけないと思う。（女性 60 歳代・近永地区）
- ・「安全で住みやすい町だね」と、思える町づくりを期待します。（女性 60 歳代・好藤地区）
- ・近永商店街、駅周り、周辺をもっと人が集まる活気のある町にしたいと思います。（女性 60 歳代・好藤地区）
- ・移動手段を充実してほしいと思います。（女性 60 歳代・愛治地区）
- ・交通も便が悪いので良くしてほしいです。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・空き家対策について力を入れていただきたいです。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・交通弱者に対して、町内の移動について（買物、病院など）の取組は、評価できるが JR・高速バスとの連携が悪く、宇和島に到着してから、日吉、近永方面へ帰るバスの便を一時間以上待たなければならない。不便をいつも感じている。また、松山行き、大阪行きについても連絡が悪く不便を感じている。行政と交通機関で協議して不便の解消をお願いしたい。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・町政のことが分かりにくい。係以外のことに対して、責任ある返答が聞けない事が多い。
「係ではないから知らない」と、言われる。身近な事、例えば住宅の件、入居者募集が多いのに、新住宅建設があるのは理解に苦しむ。町道の件、火災、病人が出た場合、車が入れるのか？避難できるのか？下水道の件、水洗トイレができるのかどうか。漠然としたアンケートでなく、分かりやすい具体的なことを調べて、誰が見ても分かる町の全体図がほしいです。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・町営バスの運行を町を中心だけでなく、僻地にも導入してほしい。（女性 70 歳代・好藤地区）
- ・鬼北町の人口も減っており、老人が施設にほとんど入っており、本当にさみしい町になってきている。人口がもっともって増える対策を考えてほしい。私は病院に行くのに国道に出るまで歩いて出かけなければいけない。町営バスも家の近くまで来てほしい。もっともって有意義な町にしてほしいと思う。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・道路沿いは、地域に住まわれている方がナイロン袋を下げて、ゴミ拾いをされている姿をよく見かけます。（ゴミを捨てる者がいるから迷惑をかけている。）私たちは車の中にクズ入れを積んで走行していますので、小さなゴミも全て持ち帰り家庭で処分しております。地域住民、行政で協力され、いつも道路が美しく保たれている事をありがたく思います。（特に鬼北町は）町を出るともうあちこちにゴミが目立ち、腹が立ちます。宇和町～大洲間も沢山のゴミが散らかっており、主人と二人で不満を言いながら走っております。この事は、鬼北町に住み始めてから感じました。しかし、道路がきれいなので、バイク、特に県外ナンバー車等スピードを上げ、後続 2～3 台後から追い越しをするので、怖い思いをした事も多々ありました。鬼北の警察にも行って話をしましたが、取り締まりをされているパトカーは殆ど見た事ありません。注意をしても聞かないから困っていますと言われましたが、どうなのでしょう。大した意見でもなく、高齢の私たちが日頃思っていることを書かせてもらいました。特に参考にならないと思いますが、すみません。乱筆で失礼いたします。（女性 70 歳代・三島地区）

- ・中心となる地域では、発展も見られるし利便性も高まっているように思うが、山間部では交通の便が悪く車に乗れなくなったらどうしようと不安です。バスも汽車も利用したくても時間が合わず、残念に思う事が度々です。いくら便利になったといっても電話やスマホではできない事が多々あります。お店と提携して、買物、送迎バスなどあれば良いと思います。（女性 70 歳代・三島地区）
- ・交通の便が悪い。（列車、バスの便数が少ない。）（女性 70 歳代・泉地区）
- ・夜街灯が少ない。近永のほうは明るいですが、岩谷方面が暗いです。自転車に乗るには、夜は暗いです。（女性 70 歳代・泉地区）
- ・空き家に困っています。何か良い利用法をお願いします。（女性 80 歳以上・泉地区）
- ・重要行事等、開催にあたって中央ばかりで行わず、少しは地方で行ってはいかがですか。若い人は、運転免許を持っています。高齢で免許証が無くても、バスの便が良ければどこへでも行けたが、今ではバスもまばらにしかないので、中央まで行くのは不便です。（女性 80 歳以上・日吉地区）
- ・道路の修理等していただく時には、住民にも説明していただくことをお願いいたします。（女性 80 歳以上・三島地区）
- ・田植え、稲刈り時期の交通安全について、田植えの時期は（鬼北町は）ゴールデンウィークに多いと思うのですが、交通量も増えています。作業をするのにとても気をつかいます。こちらが気を付けるのは当然ですが、町をあげて農繁期の交通安全について取り組んでもらえたら嬉しいです。例えば、「この時期町内は、田植えの作業を行っております。お通りになられる方は、安全運転ゆずり合いの気持ちでお通りくださいませ」私事ですが、去年の 5 月、苗箱を積んで、道路の端に止めていましたが、車に追突されました。けが人はいませんでした。車と苗はダメになりました。「作業中ですよという目印になるようなものも、よいかなと思います。」こちらでも努力しますので、よろしくお願いします。（性別不明 50 歳代・泉地区）
- ・町内の歩道について、新田地区や小松地区などの歩道は車道より高くつくられていて、車の進入する場所では、シニアカーや電動車椅子が斜めに傾いてしまって不安定になります。歩道を車道と同じ高さにし、今より幅の広い歩道に変えてほしいと思っています。よろしくお願いします。（性別不明 50 歳代・泉地区）
- ・近永駅周辺開発に期待しています。喫茶店があればよいです。休憩したり、話したりする場所がほしいです。（性別年齢、地区不明）
- ・防災無線、光ファイバー等の設置に関して、町当局では数年前に無償で工事に着工したが、それ以降は工事費等、自己負担となったがために未設置の家庭も多く、新たに鬼北町に転入した世帯もあり、防災無線等未設置の家庭に新たに設置依頼のアンケートや必要性を模索してはどうかと思う。補助金のあり方、設置共用の明細等、公表提示する。（性別年齢、地区不明）

5 「充実した教育環境で心豊かな人を育む」に関する意見

- ・海外研修にお金を使うべき（小・中学生）。（男性 19 歳以下・近永地区）
- ・良い人材を確保するためには、それなりの出費が必要。財源確保するためにも、人口を増やす必要があると思う（若い人口）。町が発展するためには大学や専門学校のような場所ができる事でも、変化するように思う。経費を少なくするためにも、小・中学校の統合も必要に思う。無駄を削減し、必要な場所につかってほしい。いい町になっていくことを願っています。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・スポーツ活動の活発化。中学校、北宇和高校、部活動支援など、町をあげて取り組んでほしい。（男性 40 歳代・好藤地区）
- ・町内の歩道づくりをして、ウォーキングしやすい町に！ 医療費を削減するために、高齢者の運動施設づくり、運動器具の導入、コミュニケーション場づくり、運動不足にしない取組。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・鬼北町では、中高生の塾が無く、宇和島に行ける人は少ない。ケーブルテレビや無料塾が必要ではないか。もっと、豊後高田市等の取組を調査して本町に活かしてほしい。（男性 50 歳代・好藤地区）
- ・公共施設（学校など）再編、見直しによる効率化。（男性 50 歳代・泉地区）
- ・鬼北町の人口についての質問がありましたが、10 年後、20 年後と考える時、今の人口の半数になるのではないかと危惧しております。財政的にも大変厳しい状況になるのではないかと考えております。また、広見中学校を新築し、鬼北町の小中学校を統廃合し、小中の義務教育にする。そうすることによって建物の維持管理、人件費なども激減する。体力のあるうちにしなければならない。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・小・中学校の統合。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・日吉小学校と日吉中学校は、平成 25 年度から愛媛県初のコミュニティ・スクールとなって、地域とともにある小中一貫教育を行い成果をあげている。小中一貫教育を一步進めたセカンドステージでもある義務教育学校になることで、さらに充実した教育活動が行えるようになる。ぜひとも、子どもたちや保護者のために日吉小学校と日吉中学校の義務教育学校化を強く望みます。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・子どもの人数減少の中で、学校統合問題。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・健康増進、医療費低減のため、ウォーキングを推奨する施策。（男性 70 歳代・好藤地区）
- ・小学校の統合について、近小を除きほとんどの小学校が数十人の児童数なのに、一学校の維持費は年間数千万円（10 年程前）と記憶している。一年でも早く統合して町民の税金の有効な使途ができないものか。（男性 70 歳代・好藤地区）
- ・保育所、小学校の統合の実現。子どもたちの将来のためにも、少数での教育が良いとは言えない。各人件費の削減にも通じると思う。（男性 70 歳代・愛治地区）
- ・教育環境の整備で、小学校統合について、早く目標を設定することが大切。地域の文化、行事、自然の大切さを学ぶ環境づくりも必要と思う。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・鬼北町が他のどこよりも優れた行政のあり方で、教育の充実に目覚めた地域であってほしい。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・教育の公平性を進めてください。（男性 80 歳以上・日吉地区）

- ・教育・文化・芸術・生涯教育の充実を目指し、宇和島市や西予市のような図書館があればいいと思います。（女性 30 歳代・近永地区）
- ・年中利用できる温水プールがほしい。（B G プールを利用できないか。）（女性 30 歳代・近永地区）
- ・子どもの個性を伸ばし、それぞれの才能が活かされる教育環境。（女性 30 歳代・好藤地区）
- ・アリーナをもっと使いやすい施設にしてください。小・中・高生は、特に高校生は、ジムは無料でいいのではと思います。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・学校教育に関して、発達障害の子どもが 1 クラスに少なくない人数いる中で、40 人学級の教育活動を行うのには限界がきています。早期に鬼北町は 35 人または 30 人学級を示し、教育に高い関心を出してほしい。支援員を増やしても変わりません。教員を増やすことで、学校教育はより一層深みを増すのではないのでしょうか。資格試験にお金を使ったりするのではなく、コアな部分を強めてください。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・対外的な施策よりも、町内で町民が生き生きできる町づくりに一貫すべきと思います。未来を担う子どもたちの教育のあり方が活力あるものになるよう支援をしてほしいです。「子ども」に視点をおいた町づくりで、特色ある鬼北町になれば、子育て世代は転入してきます。（女性 40 歳代・愛治地区）
- ・小・中学校の教育について、学校の先生の熱意が低下しているように感じる。運動能力、学力の向上に力を入れてほしい。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・スポーツ、文化の促進について、ドイツでは、K i d s ← J u n i o r ← 中学生 ← 高校生 ← 指導者という流れがあると聞きました。鬼北町単独でできることではないと思いますが、一貫したスポーツ、文化交流、教育があるといいと思います。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・充実した設備の図書館を建設してほしい。（女性 50 歳代・近永地区）
- ・知り合いの先生も「鬼北に家を建ててもいいんやけど、広中にはなあ〜」と言われ、広中の何が？と聞けば、県下でテストが下から 2 番目だとのこと。教育力が低いと言われることはあります。素敵な先生たちも多くいらっしゃいます。しかし、先生たちからも「勉強せんのよな〜」と聞き、はて、どうしたものかと思います。地域活性化に教育力は不可欠だと、私自身も考えます。（女性 50 歳代・好藤地区）
- ・児童生徒数の現状を考えると、鬼北町内の小中学校も統合に向けて準備を進めた方が良くと思う。教員にとっても、児童生徒にとっても、広見中と近永小以外の小中学校は規模が小さすぎて、デメリットが大きい。（女性 50 歳代・三島地区）
- ・例えば、町内に一つ「鬼北小中義務教育学校」を設立し、木材（町産の）をふんだんに使った校舎を建て、日吉小中が目指していけるようなスタイルの学校にすればどうか？（旧広見町と旧日吉村で、教育環境を変える必要を感じない。1 学年の人数が 10 人に満たない現実をもっとしっかりと捉えるべきだ。）（女性 50 歳代・三島地区）
- ・日吉地区、日吉小・日吉中の存続を望みます。（女性 50 歳代・日吉地区）
- ・小学校の統合化。（女性 60 歳代・愛治地区）

- ・すでに取り組まれていて、当方の存じていない事かもしれませんが、文化財の保護活用面で各種の資料（有形、無形）を一堂に収蔵するとともに、成人も利用する図書館も併設した施設があればと思います。そこに行けば鬼北町の歴史文化が一度に分かるとともに、また、読書も楽しめるかなと思います。北宇和高校との提携は、とても大切だと思います。（女性 80 歳以上・愛治地区）

6 「人々のつながりを深め、ともに行動する」に関する意見

- ・皆が皆を見守る町。（男性 20 歳代・三島地区）
- ・嫌々での人集め、強制参加の運動会や清掃などの奉仕作業など、共働きの核家族世帯からすると苦情以外のなにものでもありません。（男性 30 歳代・近永地区）
- ・組活動等は、U・I ターンの人には重荷でしかなく、必要性を感じない。（男性 30 歳代・日吉地区）
- ・私は消防団員ですが、団員を確保する事が非常に困難な時代になってきています。少子化の影響や、若い人が地元に残らない状況を考えると、団員の不足を解消するためには、団員に長く勤めてもらえるような制度に変えていく事が今後は重要になってくると思います。例として、退職報奨金は、30 年以上になると金額が変わりません。20 歳で入団した人が 30 年後には 50 歳ですが、まだまだ活躍できる年齢です。金額が変わらないなら、多くの人は退団を考えます。その団員を確保するには、制度を変え、長く団員として活躍できるようにする事で、団員確保につながると思います。この例に限らず、今の時代に適していない制度は変えていく事によって、子どもたちの未来にとって、より良い町づくりになると思っています。（男性 40 歳代・三島地区）
- ・住民からの自由な意見・要望を収集するため、各公民館等に「目安箱」を設置し、それを基本として、地域の活性化に役立てる。学校、特に小中学、高校生を主として意見を募る。将来の担い手からの意見も重要視して町政に役立てて、働きやすく住みやすく、安全で安心な町づくりを推進することで、町が発展することにつながると思う。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・地域活性化といっても一部地域、一部住人だけであり、町全体でのプランが無い。近永の町中の活性化を図ることは不可能であり、もっと活性化できる場所があるのではないか。（男性 50 歳代・好藤地区）
- ・人口が減っているので、今までと同じ地区の行事などには無理があると思う。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・公共施設再編、見直しによる効率化。（男性 50 歳代・泉地区）
- ・高齢者よりも若い人に金を使うこと。（男性 60 歳代・愛治地区）
- ・無駄な施設の整備。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・森の三角ぼうしの駐車場の拡張整備。（男性 70 歳代・好藤地区）
- ・自由に話合える場の設定等、よろしく。（男性 70 歳代・三島地区）
- ・町の職員が地域活動に先になって参加すべきだ。町の職員の参加が少ない。（男性 70 歳代・泉地区）
- ・敬老会、運動会のアイデア不足、運動会に高齢者の出番が少ない。80 歳以上の方が、応援に出てこない。種目が若者中心。75 歳以上の老人の出る種目が無いからだ。交通関係に老人の出る種目がないからだ。交通関係に工夫が必要と思う。（男性 80 歳以上・愛治地区）

- ・鬼北町をPRするための取組が大切ですが、一時的に人を呼ぶだけでは鬼北町が今よりもっと良い町になるとは思えません。人口減少によって住民に負担がかかってしまうことは、少しは仕方ないことだと思いますが、今回の2,000人の意見を参考に今より良い鬼北町になることを願っています。高齢者が多い町ですが、私たち若い世代が少しでも明るいつくりに参加できるといいと思っています。行政と町民が協力できると素晴らしい町になるので、一人一人がもっと町に興味、関心を示し、過ごせる町づくりを目指して大変だと思いますが、よろしくお願いします。（女性20歳代・近永地区）
- ・愛治地区住民です。子どもがとて少なく保育所の園児数、小学校の児童数には危機感をずーっと感じます。愛治地区という小さな枠でなく、鬼北町として考えなくてはいいと思います。愛治、三島、日吉・・・といった近永地区を囲む周囲の鬼北町の地区の元気（勢い）は、鬼北町全体の元気につながっていると思います。その地区その地区のよさをアピールして、各地区に住もう人暮らす人（住民）を増やしていきたい、増やせられればいいなと思います。（女性50歳代・愛治地区）
- ・部落の中での交流がもう少し持てるといいなと思っています。（女性60歳代・好藤地区）
- ・行政にばかりに頼るのではなく、住民パワーがある町になる事がベストだと思います。しかし、若い人が少なく年寄りばかりの地域が多くなっています。年寄りの考え方と若い人たちの思いには差もあります。沢山の地域活動に目を向けるのではなく、少しずつ底上げをし、また、山の奥のほうに居住されている人たち（独居の方たち）の生活の便等。住民同士の協力のできる町になったら素晴らしいと思います。（女性60歳代・三島地区）
- ・異年齢との交流の場がなく、若い人たちの考えが分からない。同世代の交流はあるが、異世代間の交流の場があってもいいのではないですか。（女性70歳代・近永地区）
- ・公の施設をこれ以上、無くさないでください。（女性70歳代・愛治地区）
- ・一人ではなく、周りに協力できる事があれば、輪をもって流れをつくっていければと思います。最後まで笑顔で生活できれば幸いです。（女性70歳代・日吉地区）
- ・皆、仲良く、若者・老人と手をつなぎ助け合い、活動に協力する。（女性80歳以上・好藤地区）

7 その他の意見

- ・社会問題を議論する機会が少ない。町民一人一人の意識が低い。（男性19歳以下・近永地区）
- ・法人税を下げ、特別感を。情報技術産業に精通している者の登用。（特に20代が望ましい。）（男性19歳以下・近永地区）
- ・隣接している松野町とも近年のうちに合併し、よりよい町づくりができるかと思っています。正直難しいことだと分かっていますが、町民が協力することにより実現に近づけるのではないかと思います。私自身、鬼北町の発展には興味があります。これからも鬼北町のために頑張ってください。応援しています。（男性20歳代・近永地区）
- ・役場の職員の働く態度、サービス業であることを今一度考えてください！（男性30歳代・近永地区）

- ・人を住ませたいなら、若い世代にうける町にしたらいいと思うし、アンケートをしても取り入れないからする意味がない。鬼北町の考え、町長の考えが分からない。今いる人が一番だと思うし、今いる人が良い町だと思っていける事で、人につたわると思うのですが。（男性 30 歳代・近永地区）
- ・町の予算活用の見直し、イベントのやり方をもう少し考える。（男性 30 歳代・日吉地区）
- ・出張等で、日本中のあちこちの市町村を見てきたが、鬼北町は本当に不便で魅力が全くない。もっと情報を発信するなどして若者に来てもらおう努力が必要だと思う。町に活気がない！ 鬼にこだわるのもいいが、もっと大事な事があるはず！本気で考えないと、鬼北町はなくなりますよ！ 他の市町村から来た人間から見ると、すごく住みにくい町です。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・もっと若い世代（20～40 代）の声を聞いて町づくりに活かしてほしいです。（男性 40 歳代・近永地区）
- ・悪弊や因習を打破し、最新の技術を導入、活用し、柔軟な思考を持つ人材を登用すべし。（男性 40 歳代・好藤地区）
- ・今後、政策を行うことにより、税金が高くなっていくのかと不安。（男性 40 歳代・愛治地区）
- ・合併後、日吉地区が取り残されていていっている気がします。いろいろな面で。（男性 40 歳代・日吉地区）
- ・役場職員の町内個人商店へのお金の使い方が低い。ならば、給与を 1 割減らして、町独自の交通網の充実としっかりとした雇用対策にあてれば未来は明るい。（男性 40 歳代・地区不明）
- ・解答の中に分からない、不明の選択肢が必要だと思う。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・職員の髪色、メイク等の乱れ。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・問 27 の⑥役場職員の能力や資質の向上について、町民に対して上から目線で物言いする人が多い。町職員の賞与の削減、退職金の削減など、必要以上に多いと考える。（男性 50 歳代・近永地区）
- ・人口減少を止めないと、将来は無いのでここが踏ん張りどころです。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・日頃から鬼北行政のために尽力いただきありがとうございます。隠岐のように町外れからも住みたくなるような町になればいいのになと思います。また、近永から遠くになればなるほど不便になるので、何か方法はないのかなと思います。これからもよろしく願いいたします。（男性 50 歳代・三島地区）
- ・「役場の職員も、一人一人が町の活性化につながる何らかのアイデアを一人が一年間に一つは、ひねり出すこと！！」役場内でのルーチンのワークは、やって当たり前です。町の活性化につながるアイデアをひねり出すのが役場の職員の本来の仕事というか、そういうことをする時こそ腕の見せどころです。「役場の職員も頭を使うのです！」（男性 50 歳代・泉地区）
- ・人口減少が止まらないのが気になる。（男性 50 歳代・日吉地区）
- ・人口減少により町をコンパクト化にすること。（男性 60 歳代・近永地区）

- ・人口の増加が見込めない時点で、取組を行えば行うほど、その結果は地域にマイナス効果しか残さないで終わることになるのは、自明の理です。効を狙って大きな事をすればするほど、破滅を早めてしまいます。また、その利権にタカッて来る輩だけが増えて、田舎が食い散らかされてしまう恐れが出て来ます。桂作蔵さんのような、豪胆な決断力とそれがうまくハマるような時代背景はもう来ないのではないのでしょうか。残念です。
（男性 60 歳代・近永地区）
- ・町議会の様子をユーチューブ等で見られるようにすれば、町政にもっと関心を持つ人が増えると思います。難しいことじゃないので、是非やってほしい。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・日本全国の問題、地方活性化、少子高齢化、人口減少。まず、人口増加、田舎暮らし→地方移住者を増やす。（男性 60 歳代・近永地区）
- ・空き家、荒れた墓地（無縁墓地）、相続権とか相続上の縛りを開放、緩めてほしい。戸籍など早急に解放してはどうか（閲覧）。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・現状では、何か中途半端な感じがするので、特化したものに絞って町全体が活性化の方向に進んで行くことを期待したい。（男性 60 歳代・好藤地区）
- ・夫婦で同じ役場で働くのは、町民に対して不公平だと思います。（男性 60 歳代・三島地区）
- ・このアンケート、質問が重複していて分かりにくい。同じような事を問われていると思いますが・・・。（男性 60 歳代・泉地区）
- ・人口減少に少しでも歯止めをかけるため、若い都市住民や I ターン者の受け入れ対策の強化。（梶原町のように）これ以上日吉地区の子どもの数が減らないように。（男性 60 歳代・日吉地区）
- ・車が通る、家にいても落ち着かない。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・高齢化、少子化が進む中、5 年先、10 年先を見据えて地域、住民が活性化できる政策を講じてほしい。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・質の良い行政職員が多くいれば行政は発展する事と思います。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・“住めば都”です。ご苦労様です。今後もよろしくお願いいたします。（男性 70 歳代・近永地区）
- ・問 26 行政サービスのサービスとはどのようなサービスなのか自分には分かりません。
（男性 70 歳代・近永地区）
- ・鬼北町議会の定数を少なくしてもらいたい。2 名、3 名少なくしてはどうか？伊方原発の廃止をしてほしい。大きな地震が発生したら、困るのは鬼北町だけじゃない。（男性 70 歳代・好藤地区）
- ・窓口、受付業務は、ベテラン職員による対応にしていきたい。臨時職員では納得する案内、説明に乏しいことがある。（男性 70 歳代・好藤地区）
- ・公平、公正な町づくりをしてほしい。（コネがまかり通るような事が多いような気がする。）町職員の採用や補助金の決定なども。（男性 70 歳代・愛治地区）
- ・地域に住む町職員が町長等トップの意識と同じような言動があれば、町に対する信頼は高まるのではないか。（男性 70 歳代・三島地区）

- ・行政の窓口の対応が非常に悪い。その場限りの対応をしている。全体的に大きな問題も重要ですが、もう少し細かいところの充実を願いたい。たとえば、生ゴミステーションが少なすぎる。（ビン、缶）これから高齢者になり遠くまで行くのは無理！（男性 70 歳代・泉地区）
- ・後期高齢者となり、子ども家族は他の県も含め、県庁所在地にて生活を送っている。軽い障害のある孫のサポートの充実を知り、親の老後より、これからの孫の成長への支援を見守りたい。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・高齢化が進み、整地された農地が荒れ、また免許証の返納と田舎に住んでいて大変寂しい思いです。希望を持ち、明るい鬼北町を期待しております。よろしくお願いします。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・住民が活気を持てる町づくり。農業、林業の仕事をして経営ができるか、行政の指導を願う。（男性 70 歳代・日吉地区）
- ・いつもお世話様になり、ありがとうございます。高齢者にとっては難しい質問に四苦八苦でした。いい加減ですみません。もっと若い人たちの意見を役立ててください。（男性 80 歳以上・近永地区）
- ・問 29 について、この質問は父に質問しても分からないとしか答えないので、パスしました。（このアンケートは父の代理で書いています）（男性 80 歳以上・近永地区）
- ・「笑顔とあいさつの町」を町のスローガンとして、家庭でも職場でも取り組んではどうでしょうか。笑顔とあいさつは、自分自身も明るくなり、相手の気持ちまで明るく社会生活を円滑にする基となると考えます。（男性 80 歳以上・好藤地区）
- ・役場職員のマナーが少しずつ向上してきたが、まだまだ理想とまではいってない。笑顔の対応。あいさつ先取りを望む。公民館主事の研修が不足。マンネリ化しているのではないか。（男性 80 歳以上・愛治地区）
- ・高齢者のため、町の厄介者にすぎません。なので、多くは望みません。小生は、若い頃は 40 年近く阪神方面へ出稼ぎをして部落の皆様にはご迷惑をかけたものです。しかし、町には収入が少し他の人より多く稼いだので、何年か税金も多く払っています。今は収入もなく、時折、宇和島へ出てパチンコをするくらいが唯一の楽しみです。よって御開山より大富まで道路をいつも往路しており、道路の整備をしていただき感謝しています。これからも、よろしくお願いします。（男性 80 歳以上・三島地区）
- ・町長さんはじめ、町役場職員の方々、一生懸命頑張っていただいていると思います。これからも前向きによろしくお願いします。（男性 80 歳以上・三島地区）
- ・年齢的に何を考え答えようにも、自分自身にその活動能力がなく、書く事もできず、明日へ生きる事があるのみです。（男性 80 歳以上・三島地区）
- ・国・県とのパイプを持ち、安定した町にしてほしい。（男性 80 歳以上・泉地区）
- ・高齢者の知識と若者の力の合成を進め、新しい町づくりをしてほしい。（男性 80 歳以上・泉地区）
- ・町民の困った事の相談を自由にできる課をつくってほしい。（男性 80 歳以上・泉地区）
- ・歴史、文化、宗教を通して共同生活の大切さを知らせてほしい。（男性 80 歳以上・泉地区）
- ・町合併後、疎かになるようだ。活気ある地方政治を望みたい。また、人口の増える事を願う。（男性 80 歳以上・日吉地区）

- ・今後、鬼北町が活性化していくためには、若者の多い町づくりを行ってほしいです。たとえば、公民館などで流行しているもの（食べ物）を月に1度販売したり、公園の遊具を充実させていったらいいと思います。（女性 19 歳以下・近永地区）
- ・水道料金の見直し。税金の見直し。（女性 19 歳以下・近永地区）
- ・近永地区の盆踊り大会など、他の地区は5曲くらい踊りがあるため盆踊りらしいが、ゲストの方がメインのような感じがある。（女性 19 歳以下・近永地区）
- ・ゴミの分別が分かりにくい。（女性 20 歳代・愛治地区）
- ・人口を増やしてほしい。（女性 20 歳代・愛治地区）
- ・問 29 から難しく感じました。普段こういったことを考えず過ごすことが多いので。また、このアンケートを答えるにあたり、質問数の多さに、なかなか答える気が進まなかったです。調査のために必要な量なのでしょうが、改善していただけると、返答数も増えるのではないのでしょうか。（女性 20 歳代・泉地区）
- ・若者が地元、鬼北町を活性化させに帰って来ます。（女性 20 歳代・日吉地区）
- ・このままだと、将来の鬼北町はだいたい想像できるので、思い切った取組をしてほしい！（女性 30 歳代・近永地区）
- ・大人も子どもも楽しめるような娯楽施設をつくってほしい。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・休日も、行政が利用できる状況であれば便利だと思います。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・もっともっと住みやすい町になるといいですね。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・役場の職員は、少し活動的に動き、取り組んでいただきたい。どんどん高齢化が進み、今後が不安です。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・40 年鬼北町に住んでいます。とても住みやすい町です。商店街がさびしくなったと感じますが、後継者問題もあり、仕方がないことだと思います。今後くる“多死社会”に直面した時、若い人たちがどれだけ頑張れるか、町がそれを支えられるかが課題だと思います。（女性 40 歳代・近永地区）
- ・新しい技術等の導入を積極的に行ってほしい。民間主導の導入ではなく、町が最新技術をどんどん取り入れる。採用していく事を望みます。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・全国には小さい町でも潤っている所はあります。視察して報告するだけではなく、鬼北町だと何が実現できるのかということをお、具体的に実用的に考えてほしいです。税金は、人のお金ではありません。皆の大事なお金です。より良いものに使ってほしいです。民間の人にしっかり見てもらって、無駄な予算は削ってほしい。当たり前を当たり前と思わない目がほしいです。（女性 40 歳代・三島地区）
- ・アンケートに回答できるほどの鬼北町に対する知識の無いことが分かりました。申し訳ありません。（女性 50 歳代・近永地区）
- ・鬼アピールだけにならないでください。今回のようなアンケートは、とても良いです。またお願いします。（もっと簡単でも良いです。）（女性 50 歳代・近永地区）
- ・高齢者がますます増え、買物難民も今後増える。子どもは減っていき、学校も保育園も人数が減ってしまう。それ以外の者は、高齢者、子どもたちをいかに幸せに過ごせるか、手助けの負担が大きくなる。町民が笑顔でワクワクする日々を過ごせるような町づくりが必要です。子どもたち、大人、高齢者の意見をどんどん聞いて、少しでも夢のかなうように広く意見を聞いてほしい。（女性 50 歳代・近永地区）

- ・とても難しいアンケートで何が何なのか分からない事ばかりで答えようがなかった。(女性 50 歳代・近永地区)
- ・私は、鬼北町に生まれ、育ち、大学・仕事と鬼北町から離れましたが、実家に家を建てました。鬼北町が大好きです。鬼北町民のどの年代の方も暮らしやすい町にと私自身も思いますが、何もお役に立てないのが現状です。若い人がいない。外に出て帰ってこない。この沢山のお年寄りはどうなるのだろう・・・などと勝手に心配しています。(女性 50 歳代・好藤地区)
- ・鬼北の町の中心部分は、便利さが増してきたようですが、もっと山奥の不便な場所があります。そのような所こそ、もっと便利に皆が不自由しないよう考えてほしい。(女性 50 歳代・三島地区)
- ・今までは元気だったのであまり行政の事など気にも留めませんでした。自分が重い病気になって、父に介護がいるようになり役場関係にお世話になるようになって、はじめて知りました。行政は助けてはくれないのだと言う事を・・・これから将来に向けて考えるとしたら、もっと職員の教育をしてほしいと思います。真面目な人やちゃんと税金を納めている人、コツコツ働いている人たちの一面だけではなく多面的なところもちゃんと見極める力を職員の方々には持っていただきたいと思います。要領のいい人は、いくらでもあります。それに惑わされる事なく、本当に困っている人たちを助けてあげてください。力になってあげてください。それだけが私の希望です。なかなか、難しいとは思いますがご理解いただけると嬉しいです。生意気を言ってすみません。(5 年経って、私が生きているとは限りませんが、書いてみました。)(女性 50 歳代・泉地区)
- ・今現在、行政に望む事も特別にありません。鬼北町は良い町です。これからも今まで以上、立派な行政、住みよい町づくりを行ってください。(女性 60 歳代・近永地区)
- ・行政の無駄の多い事に気付いていない。町民への委託には、鉛筆 1 本、袋 1 つ、不用なものがある。当たり前のように「あげます」というのは、自分のお金で買っていないから！！「税金」をもっと考えてほしい。窓口対応も、人によって違いが大きい。研修の必要あり！アンケートも大事だが、職員の意識改革ができていないと無理！アンケートにシッカリ考えて回答する人が何人いるのだろうか？(女性 60 歳代・近永地区)
- ・質問の答えを探しているうちに、あまり考えていない事に気づき反省しています。もっと真剣に考えなくてはダメなんだと思っています。気付くのが遅いとも思っています。(女性 60 歳代・近永地区)
- ・前に役場で障害者がいるので相談に行くと、冷たい言葉と対応だった。福祉、障害者、高齢者の対応は、人間味のある優しい人、痛みの分かる人を窓口に置いてほしいものです。町長も机にいただけでなく、役場の中、職員も観察してほしいものです。まず、町職員の教育をすべきです。(女性 60 歳代・近永地区)
- ・町の特質として、何を大切にしていくか、みんな今度、しっかりと把握し真剣に見つめてほしい。せっかくの田畑や山が荒れ地となり、すさんでいくのがとても悲しいです。(女性 60 歳代・近永地区)
- ・行政について知らないことが多く、アンケートになったかしら？と思います。(女性 60 歳代・好藤地区)
- ・問 11 の「鬼北町が住みやすい町かどうか」が分からない。(女性 60 歳代・好藤地区)
- ・縦と横のつながりを持って住民サービスをしてほしい。(女性 60 歳代・愛治地区)

- ・努力されていると思います。このまま続けてください。限界のある事柄は切り捨てる事も大切です。何事にも勇気を持って望んでください。（女性 60 歳代・愛治地区）
- ・「今」も大切ですが、5 年、10 年先のことを考えていただきたい。元気な高齢者が頑張って助け合うのも限界がある。一時的に町に来る人でなく、ずっと町に住む人が増えるにはどうしたら良いのか。町の魅力とは何なののでしょうか。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・議員定数の削減。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・住んでいる周囲が人気が無く真っ暗なので、将来的にどうなるんだろうと思う。活気がほしいが・・・。（女性 60 歳代・三島地区）
- ・問 26 の①「サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない」について、個々人の要求が多様化している現状があるため。（女性 60 歳代・泉地区）
- ・町が合併しても、宇和島のように行政人員が減る訳でもなく、町民が減ってもその人たちの給料を払うために、また税金が何らかの形で上がるのならば、町議員、町役場の人員を削減すべきだと思います（人口と比較して）。景気によって、上がり下がりのある緊張感のある一般の人と近いものに変えた方が良いと思います。町議も多すぎる。宇和島と比較してみるべきです。町長に期待しています。（女性 60 歳代・泉地区）
- ・現代の政治、経済、社会状況はめまぐるしく変化していますが、いくら頑張っても人間には限界があるということです。でも、日々町民のために努力していただいていることに、心から感謝申し上げます。（女性 60 歳代・日吉地区）
- ・行政と住民の関係が重要視されていないのか、何においても行政から出向く事が無い。高齢者が多い中、交通手段や身体的な事も含め、親切心がない。現在ある資源をもっと活用して外からの入り口を増やし、活性化、他からプロを登用しなければ鬼北町は無くなると思う。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・個人的な事ですが、退院時のアンケートのため、きちんとした答えができなかったように思います。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・昨年、高月温泉が休業していた時、町外の友人からいつになれば利用できるようになるか尋ねられました。ネットでも出ていないとのこと。役場に行く用事があり、入り口に座っておられた女性の方に聞くと、「えーっ、知らない」と言って電話でどこかに聞かれていました。せめて案内の人くらい、すぐ返答してほしいです。粗大ゴミを出しに行くとき、外から環境課を訪れますが、鳥の糞はどうにかなりませんか？（女性 70 歳代・近永地区）
- ・調査（本人）は高齢の為、あまり外へ出る事もなく、町政の事は分かりません。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・町政への関わりが薄いので、評価ができないことが多く、満足度が正しく記入されていない。町政への関わりを深めることが一番大事なことだと思う。（女性 70 歳代・近永地区）
- ・役場職員の中に、自転車、歩きの人で、朝・夕のあいさつができない人と出くわします。何も知らぬ顔で通り過ぎなくても良いのでは・・・。（小さな事ですみません。）（女性 70 歳代・近永地区）
- ・私自身は鬼北町の生活に満足しております。ただ、周りに若者や子どもがいないのが心配です。（女性 70 歳代・好藤地区）

- ・多くの事を望んでも、時代の流れには逆らえない。自分が生まれて育ったこの町で一生を終えたい。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・人口減少を食い止め、活気ある鬼北町へ。頑張れ、鬼北町！！（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・問 29 については、よく分かりません。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・年取って、いろいろ考えることが難しくなっています。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・元、行政職員による地区の支配を無くす。（女性 70 歳代・愛治地区）
- ・環境（人的・物的）が人を育てるを頭において、事あるごとに小さなところ（自分の周囲）から反省して生活している。優しさのある町でありたい！（女性 70 歳代・三島地区）
- ・町民が、毎日笑顔で生きていけるようになれば、一番良い事です。（女性 70 歳代・三島地区）
- ・役場の人たちはただ座っているだけではないと思います。町長から動いて、皆でいろいろ回っていかなければダメです。（女性 70 歳代・泉地区）
- ・老いてこそ分かる生活の出来事があります。今の自分をもっと正しく表現し、話のできる人になりたいと思います。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・高齢者によるアンケートは、無意味である。もっと若い人たちにアンケートを取るべきである。（女性 80 歳以上・近永地区）
- ・保健課について、専門職？なのか移動（職員）が少ないと思いますが。それならば、より町民の心に寄り添う人間性がほしい。（女性 80 歳以上・好藤地区）
- ・過疎化する地域の山積する課題に日夜奔走されている行政の方々の姿勢に敬意を表します。（女性 80 歳以上・愛治地区）
- ・100 歳近い年寄りにアンケートを送られても……。もう少し調べてアンケートを送られるよう、お願いします。（女性 80 歳以上・愛治地区）
- ・アンケートの対象者をきちんと絞り込んではどうですか？ 高齢で認知症を有する人にアンケートを送っても意味はないのではないのでしょうか。このアンケート自体は、今後の町づくりに必要かもしれませんが、誰かれかまわず送ったのでは、何の意味も無いのではないのでしょうか？ たとえば、60 歳以下の人にアンケートを取るなど。（女性 80 歳以上・三島地区）
- ・アンケートの対象年齢として 80 歳を越える者に対しては、理解しがたくとても難しいものでした。（女性 80 歳以上・三島地区）
- ・調査は大変なことと思いますが、無作為とはいえ同家に調査依頼はいかなものかと思います。お疲れ様です。（女性 80 歳以上・三島地区）
- ・鬼北町や町長さんに直接意見や希望を気軽にメールできるようにしてほしい。（女性 80 歳以上・泉地区）
- ・すみません。ヘルパーさんにお世話になっていて車椅子なので、何もできません。（女性 80 歳以上・泉地区）
- ・アンケートが細かすぎて、難しかった。（女性 80 歳以上・日吉地区）
- ・元、日吉村の者ですが、いろいろな行事が近永の本社になり、出席するのに便があまりなくて欠席ばかりしていますが、できるだけ夢産地や支所を利用してくださると有難いと思います。（性別年齢、地区不明）

鬼北町 まちづくりアンケート

【ご協力のお願い】

町民の皆様には、日頃から町政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

鬼北町では、「第2次鬼北町長期総合計画」及び「鬼北町人口ビジョン・総合戦略」に基づき、まちづくりに取り組んでいます。

この調査は、18歳以上の町民の皆様の中から無作為に抽出した2,000人の方に、今後のまちづくりに関する意識やご意見等をお伺いし、計画の見直しに向けての基礎的な資料とさせていただくことを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2（2020）年2月

鬼北町長 兵頭 誠亀

記入に当たってのお願い

- 1 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して、無理のない範囲で代筆してください。
 - 2 この調査票は黒の鉛筆またはボールペンで記入してください。
 - 3 回答は、あてはまると思う番号を○で囲んでください。また、各設問文にある（○は1つ）（あてはまるものすべてに○）などに注意して記入してください。
- ※ 回答は無記名であり、統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、本調査の目的以外に利用することはありません。

【調査に関する問合せ先】

鬼北町 企画振興課 地域活力創出係
〒798-1395 愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永 800 番地 1
TEL（0895）45-1111 FAX（0895）45-1119

この調査票は、**2月20日（木曜日）**までに、同封の返信用封筒に入れて、無記名で返送してください（切手は不要です）。

● あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたがお住まいの地域はどちらですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 近永地区 | 3 愛治地区 | 5 泉地区 |
| 2 好藤地区 | 4 三島地区 | 6 日吉地区 |

問2 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 あなたの年齢をお答えください。（○は1つ）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 19歳以下 | 3 30～39歳 | 5 50～59歳 | 7 70～79歳 |
| 2 20～29歳 | 4 40～49歳 | 6 60～69歳 | 8 80歳以上 |

問4 あなたの主たる職業をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 会社員・公務員等 | 5 学生 |
| 2 自営業（農林水産業） | 6 家事専業 |
| 3 自営業（その他） | 7 無職 |
| 4 パート・アルバイト・派遣社員など | 8 その他（ ） |

問5 あなたの通勤先または通学先はどこですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|-------|---------------|
| 1 鬼北町内 | 4 西予市 | 7 その他県内の市町 |
| 2 宇和島市 | 5 大洲市 | 8 県外 |
| 3 松野町 | 6 松山市 | 9 通勤・通学はしていない |

問6 あなたは、今後、新たに職に就く、又は転職の希望はありますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 鬼北町内で就職又は転職したい | 3 就職又は転職の希望はない |
| 2 鬼北町外で就職又は転職したい | 4 わからない |

問7 あなたの同居家族の構成をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 祖父母と親と子（三世代世帯） |
| 2 夫婦二人暮らし | 5 その他（ ） |
| 3 親と子（二世帯世帯） | |

問 8 あなたは、鬼北町に住んで通算何年になりますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 3 年未満 | 4 10 年以上 20 年未満 |
| 2 3 年以上 5 年未満 | 5 20 年以上 30 年未満 |
| 3 5 年以上 10 年未満 | 6 30 年以上 |

問 9 あなたの居住歴をお答えください。（○は1つ）

- | |
|---------------------------------|
| 1 鬼北町に生まれてからずっと住んでいる → 次は問 11 へ |
| 2 鬼北町出身だが、町外での居住経験があり戻ってきた |
| 3 県内の他の市町から転入してきた |
| 4 県外から転入してきた |

問 10 【問 9 で「2 ～ 4」と答えた方におたずねします】鬼北町を居住先として選んだ理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 通勤先があるから | 13 学校などの教育環境が良いから |
| 2 通学先があるから | 14 文化、スポーツ施設を利用しやすいから |
| 3 自分や家族の持ち家があるから | 15 福祉・医療施設が利用しやすいから |
| 4 寮や社宅に住むから | 16 気候が良いから |
| 5 親や子、友人・知人がいるから | 17 自然環境が豊かだから |
| 6 生まれ育ったまちだから | 18 町並みや景観が良いから |
| 7 地域の人に魅力があるから | 19 災害が少なく安全だから |
| 8 価格や広さなど住宅事情が良いから | 20 治安が良いから |
| 9 農業や家庭菜園ができるから | 21 行政サービスが充実しているから |
| 10 交通機関の利便性が良いから | 22 その他（ ） |
| 11 日常の買物などが便利だから | 23 特にない |
| 12 保育所や公園などの子育て環境が良いから | |

● 鬼北町の住みやすさなどについておたずねします

問 11 あなたは、鬼北町が「住みやすいまち」だと感じますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 4 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらともいえない | |

問 12 あなたは、鬼北町に愛着を感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 感じている | 4 あまり感じていない |
| 2 やや感じている | 5 感じていない |
| 3 どちらともいえない | |

問 13 あなたは、これからも鬼北町に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 住み続けたい → 次は問 15 へ
- 2 どちらかといえば住み続けたい → 次は問 15 へ
- 3 どちらかといえば住み続けたくない
- 4 住み続けたくない

問 14 【問 13 で「3～4」と答えた方におたずねします】 住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。（○は5つまで）

- | | | | |
|----|---------------------|----|-------------------|
| 1 | 交通の便がよいくない | 11 | 福祉サービスが整っていない |
| 2 | 買物など日常生活が不便 | 12 | 子育て・教育環境が整っていない |
| 3 | 働く場所が少ない | 13 | 自然や空気などの環境がよいくない |
| 4 | 町に対して愛着があまりない | 14 | 保健・医療サービスが整っていない |
| 5 | 近所付き合いがしにくい | 15 | 文化・スポーツ環境が整っていない |
| 6 | 活力ある産業がない | 16 | 公園や緑地が少ない |
| 7 | 行政サービスが充実していない | 17 | 消防・防災・防犯体制が整っていない |
| 8 | 地域の連帯感が乏しい | 18 | 歴史・文化資源が充実していない |
| 9 | 上・下水道などの生活環境が整っていない | 19 | その他（ ） |
| 10 | 情報通信網が整っていない | | |

問 15 今後、「住み続けたい鬼北町」を実現していくために、どのような取組が必要だと思いますか。
(○は5つまで)

- | | | | |
|---|------------|----|-------------------|
| 1 | 子育て支援の充実 | 10 | 交通利便環境の充実 |
| 2 | 医療・福祉の充実 | 11 | 地域活動や住民活動の活性化 |
| 3 | 観光・交流の振興 | 12 | 学校教育の充実 |
| 4 | 農林業の振興 | 13 | 学校以外での生涯学習機会の充実 |
| 5 | 商工業の振興 | 14 | まちの魅力発信 |
| 6 | 雇用の創出・確保 | 15 | 環境保護・景観保全等の取組の充実 |
| 7 | 起業・就労支援の充実 | 16 | U・J・Iターン※支援に向けた取組 |
| 8 | 防災・減災対策の充実 | 17 | 文化・芸術の振興 |
| 9 | 住宅整備 | 18 | その他（ |

※【Uターン】地方から都市部へ移住した方が再び地方の生まれ故郷に戻ることを指す。

【Ｊターン】地方から大都市へ移住した方が、生まれ故郷の近くの(元の移住先よりも)規模の小さい地方大都市圏や、中規模な都市に戻り定住すること。

【ターン】出身地とは別の地方に移り住む、特に都市部から田舎に移り住むこと。

● 鬼北町の人口についておたずねします

問 16 鬼北町の人口は令和元（2019）年 12 月末日時点で 10,179 人です。平成 21（2009）年 12 月末日時点の 12,025 人から 1,800 人あまり減少しています。あなたは鬼北町の人口について、どのように思いますか。（○は 1 つ）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 人口は多ければ多いほど良いと思う | 4 現状より少ない方が良いと思う |
| 2 現状より多い方が良いと思う | 5 わからない |
| 3 現状程度で良いと思う | |

問 17 鬼北町は、今後、人口減少対策としてどのようなことに取り組むことが重要だと思いますか。（○は 5 つまで）

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 転入者に対する経済的支援や相談支援 | 10 空き家の有効活用 |
| 2 若い世代への就職や結婚への支援 | 11 企業誘致などによる雇用の創出や地域産業の活性化 |
| 3 仕事と家庭の両立支援 | 12 外国人材の活用を促進する取組 |
| 4 子育て支援の充実 | 13 交通・移動手段の確保など交通環境の充実 |
| 5 母子保健・小児医療の充実 | 14 学校教育や生涯学習の充実 |
| 6 高齢者や障害者などの雇用促進、就労支援 | 15 町のイメージアップ・PR |
| 7 福祉と医療の充実 | 16 その他（ ） |
| 8 住民による自主的な地域活動の活性化 | 17 わからない |
| 9 住宅の整備や宅地の開発 | |

問 18 若い世代の U・J・I ターンを増やすためには、鬼北町内にどのような仕事が充実すればよいと思いますか。（○は 3 つまで）

- | | |
|--------------|------------|
| 1 農林業 | 6 IT 関連 |
| 2 製造業（主に事務職） | 7 公務員・公的機関 |
| 3 製造業（主に技術職） | 8 その他（ ） |
| 4 卸・小売業 | 9 業種を問わない |
| 5 サービス業 | |

● 結婚についておたずねします

問 19 あなたは結婚をしていますか（事実婚・パートナーを含む）。（○は1つ）

- 1 結婚している → 次は問 22 へ
- 2 結婚していたが、離別・死別した
- 3 結婚していない

問 20 【問 19 で「2～3」と答えた方におたずねします】今後の結婚について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

- 1 いずれ結婚するつもり
- 2 結婚するつもりはない → 次は問 22 へ
- 3 わからない → 次は問 22 へ

問 21 【問 20 で「1」と答えた方におたずねします】あなたは、結婚した後も鬼北町に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 住み続けたい
- 2 住み続けたくない
- 3 わからない

問 22 未婚者への結婚支援事業として、鬼北町はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 安定した雇用の支援 | 6 若い世代に向けた結婚に関する講習会 |
| 2 若い夫婦への住まいの支援 | 7 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 3 結婚祝い金などの経済的支援 | 8 結婚を推奨する P R |
| 4 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 | 9 その他（ ） |
| 5 結婚相談窓口（仲介） | 10 行政が取り組む必要はない |

● これからの町づくりについておたずねします

問 23 あなたは、地域での活動に参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 自治会の活動 | 9 生涯学習活動（公民館活動など） |
| 2 お祭り・盆踊りなど | 10 子育て支援活動※ ² |
| 3 女性会の活動 | 11 障害者支援活動※ ³ |
| 4 老人クラブ活動 | 12 まちづくり活動 |
| 5 高齢者支援活動※ ¹ | 13 子どもや青少年の育成活動 |
| 6 子ども会や P T A 活動 | 14 神社・仏閣等の宗教行事 |
| 7 防犯活動・防災活動・交通安全活動 | 15 その他（ ） |
| 8 文化・スポーツ活動 | 16 参加していない |

※1【高齢者支援活動】外出の付添いや食事の準備、簡単な家事など。

※2【子育て支援活動】短時間の子どもの預かりや子育てサークルなどの活動。

※3【障害者支援活動】身体介助や手話通訳などの活動。

問 24 あなたは、鬼北町の農林業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 後継者の育成 | 6 農産物の流通システムの改善 |
| 2 新規就農者の積極的な受入れ | 7 農産物のブランド力の強化 |
| 3 法人化・機械の共同化の推進 | 8 加工・特産品の開発 |
| 4 農地の保全・整備 | 9 直営店・直売所の整備 |
| 5 先進的な技術の導入 | 10 その他（ ） |

問 25 鬼北町では、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。（○は1つ）

- 1 思う
2 まあまあ思う
3 どちらともいえない
- 4 あまり思わない
5 わからない

問 26 これからの町づくりは、限られた財源をより効果的に配分し活用していくことが求められています。鬼北町においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

- 1 サービスの種類や水準を維持するためには、利用者の負担増はやむを得ない
2 利用者の負担を増やすことなく、サービスの重点化を図り、種類や水準を見直す
3 サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持する
4 サービスの水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持する
5 サービスの種類が減り、水準も低下するのは仕方がない
6 その他（
7 わからない

問 27 あなたは、鬼北町の行政運営について、今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。
(○は3つまで)

- | | | | |
|---|---------------|----|-----------------|
| 1 | 町の組織のスリム化 | 7 | 民間で実績を持つ人の登用・活用 |
| 2 | 窓口対応サービスの向上 | 8 | 民間委託の推進 |
| 3 | 公共事業の見直し | 9 | 町政運営への町民の参加促進 |
| 4 | 行政情報の積極的な公開 | 10 | その他（ ） |
| 5 | 公共施設の効率的な活用 | 11 | 特になし |
| 6 | 役場職員の能力や資質の向上 | | |

問 28 あなたは、今後、鬼北町はどのような町づくりに取り組むべきだと思いますか。

(○は5つまで)

- | | |
|----|---|
| 1 | 美しい自然環境や景観が誇れる町 |
| 2 | 安全・安心な住環境の整備を優先する町 |
| 3 | 農業や農村環境を大切に守り育てる町 |
| 4 | 商業の振興を推進する町 |
| 5 | 産業の振興や製造業の発展を後押しする町 |
| 6 | 観光や交流事業を進める町 |
| 7 | 保健・医療・福祉の充実した町 |
| 8 | 子育て支援が充実した町 |
| 9 | 児童・生徒の教育環境が充実した町 |
| 10 | 生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な町 |
| 11 | 住民と行政が協働してまちづくりを進める町 |
| 12 | 5G ^{※1} や光ファイバ、AI・IoT ^{※2} 等の導入など先進的な取組を進める町 (Society 5.0 ^{※3}) |
| 13 | SDGs ^{※4} を見据えた取組を進める町 |
| 14 | その他() |
| 15 | わからない |

※1【5G】スマートフォン等で、高速・大容量のデータ通信を可能とする第5世代移動通信システムのこと。

※2【AI】Artificial Intelligence の略で人工知能と訳される。コンピュータが大量・多様なデータを分析し、推論や判断、学習等、人間の脳にしかできなかったような高度で知的な作業を、プログラムなどの人工的なシステムにより行えるようにした技術。

【IoT】Internet of Things の略で情報通信技術の概念を指す言葉。パソコンやスマートフォンなどの情報機器が接続しているインターネットに、産業用機器から自動車、家電製品等の「モノ」をつなげることにより、機器の遠隔操作など多様な付加価値を生む技術。

※3【Society 5.0】狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、AIやIoTなどの最新テクノロジーを活用した便利な社会のこと。

※4【SDGs】SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成 27(2015)年9月の国連サミットにおいて採択された、2030年までに全ての国が取り組むべき 17 のゴールから成る国際目標で、あらゆる格差と不平等を解消して行くことを根本理念としている。

● 町づくりの満足度と重要度についておたずねします

問 29 次にあげる鬼北町の各施策についておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どのくらい満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。

(○はそれぞれ1つつつ)

項 目	評 価	満足度					重要度				
		満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【基本目標1】特色ある産業を創り育てる

(1) 農業の振興	担い手の育成・確保、農地の利用調整と維持保全、生産基盤の整備、生産・経営体制の強化、流通・販路の拡大、農業の6次産業化※1	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 林業の振興	担い手の育成・確保、森林業の推進、生産基盤の整備、林業振興体制の強化、特用林産物の生産促進、森林の公益的機能の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 商工業の振興	商業の活性化、起業支援、経営基盤の強化支援、買物弱者の解消、企業誘致の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 観光・物産の振興	鬼にちなんだ観光・物産の振興、交流拠点施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 雇用の創出	働く場の創出、求人企業と求職者のマッチング、就農支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 女性の活躍推進	女性の就業環境の向上、農業分野での女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【基本目標2】美しい自然を守り活かす

(1) 資源循環型社会の推進	3R事業※2の推進、資源循環型社会づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 環境保全の推進	景観の保全、河川環境の保全、地域環境保全活動の推進、環境保全意識の啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※1【6次産業化】1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。

※2【3R事業】「REDUCE(リデュース＝発生抑制)」「REUSE(リユース＝再使用)」「RECYCLE(リサイクル＝再利用)」の頭文字をとった環境運動のことで「循環型社会」を目指した国の方針に採用された考え方。

項 目	評 価	満足度					重要度				
		満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(3) グリーン・ツーリズムの推進	グリーン・ツーリズム※の促進、四万十川流域自治体との広域連携による観光ネットワーク化の推進、受入れ体制の充実とおもてなしの向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) エネルギー対策の推進	再生可能エネルギーの研究・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※【グリーン・ツーリズム】農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。（例えば、ブドウ狩り、いも掘り、農産物加工体験、農作業体験、農家民泊など。）

【基本目標３】福祉の充実で安心生活を確保する											
(1) 地域保健・医療体制の充実	地域医療体制の整備、医療施設・設備の充実、保健・医療・福祉の連携、町民一人ひとりの健康支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 子育て支援策の充実	保育施設・サービスの充実、経済的支援の実施、子育て環境の向上、子どもの健康づくり支援、子育て相談支援の実施、子どもの人権の尊重	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 高齢者福祉の充実	日常生活の支援、生きがいづくりの支援、介護予防の推進、介護サービスの充実、推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 障害者福祉の充実	地域自立支援協議会の開催、地域生活支援、社会参加の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 地域福祉の推進	地域活動団体及び人材の育成支援、地域活動への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【基本目標４】整った生活インフラで快適生活を守る											
(1) 防災・減災対策	防災意識の向上、消防団、自主防災組織の強化、情報伝達体制の強化、避難体制の整備、地域消防力の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 情報基盤の整備・活用	小中学校におけるICT（情報通信技術）活用、光ケーブル網を活用した就労環境の整備、ICT活用による生活関連サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目 評価	満足度					重要度				
	満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(3) 都市計画の推進	近永駅周辺開発の実施、近永アルコール工場跡地未利用地の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 交通環境の充実	バス路線の再編と利便性の向上、鉄道の利用促進、公共交通機関のバリアフリー化、道路・橋りょうの整備・保守	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 空き家対策	危険空き家撤去の推進、空き家の現状調査と空き家バンクの設置、空き家の改築による事業所活用支援、古民家等再生の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 住宅・公園の整備	公営住宅の改修・建替え、公園施設の整備、公園・広場の利用促進、安全で快適な住環境の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 上下水道の整備・保守	水道施設の整備・更新、水道事業の効率化、生活排水処理施設の整備・更新	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 交通安全・防犯対策	生活安全意識の向上、地域安全活動の活性化、交通安全設備の整備、消費者教育、防犯意識の啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【基本目標5】充実した教育環境で心豊かな人を育む											
(1) 学校教育の充実	学力の向上、特色ある学校づくりの推進、ICTを活用した教育の充実、健全育成と安全確保、教育施設・設備の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 生涯学習・生涯スポーツの充実	多様なプログラムの提供、自主的な活動の活性化、学習・スポーツ施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 伝統文化の継承・発展	伝統文化の継承、郷土イベントの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 文化財の保護・活用	埋蔵文化財の調査・保存整備・活用、歴史・文化施設の充実、文化・文化財の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 人権尊重・男女共同参画	人権教育の推進、職場における男女共同参画の推進、地域社会における男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目 評価	満足度					重要度				
	満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【基本目標6】人々のつながりを深め、ともに行動する											
(1) 町民による地域活動の活性化	住民参加の促進、民間活力の導入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 効果的・効率的な行財政運営	公共施設等の総合的かつ計画的な管理、適正な社会保障制度の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 30 あなたが将来に向けて鬼北町の行政に望むことや、町づくりに関するご意見、ご提案などがありましたら、自由にご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

鬼北町 まちづくりアンケート
報告書

発 行／令和2（2020）年4月

発 行 者／愛媛県 鬼北町

問 合 せ 先／鬼北町 企画振興課

〒798-1395 愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永 800 番地 1

TEL（0895）45－1111

FAX（0895）45－1119
